

生涯学習に関するアンケート調査報告書

平成28年12月

春日井市

目 次

1 アンケート調査の概要	1
(1)調査目的	1
(2)調査対象	1
(3)調査方法	1
(4)調査期間	1
(5)回収状況	1
(6)調査結果の見方	1
2 市民アンケート調査結果	2
(1)回答者の特性	2
(2)生涯学習について	3
(3)市の生涯学習への取り組みについて	30
(4)自由意見	45
3 団体アンケート調査結果	64
(1)生涯学習について	64
(2)自由意見	75

1. アンケート調査の概要

(1) 調査目的

- ・生涯学習に関する市民意識を把握することで、生涯学習推進計画を改定する際の基礎資料とするものです。
- ・公民館等登録団体についても、今後の生涯学習に関するニーズを把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

- ・市民アンケート
⇒市内在住の男女（16歳以上）を無作為に抽出した3,500人を対象としました。
- ・団体アンケート
⇒公民館等で定期的に活動している団体500団体を対象としました。

(3) 調査方法

- ・郵送調査法
(調査票を使って回答する以外に、パソコンやスマートフォンによる回答が可能)

(4) 調査期間

- ・平成28年10月1日～平成28年10月21日

(5) 回収状況

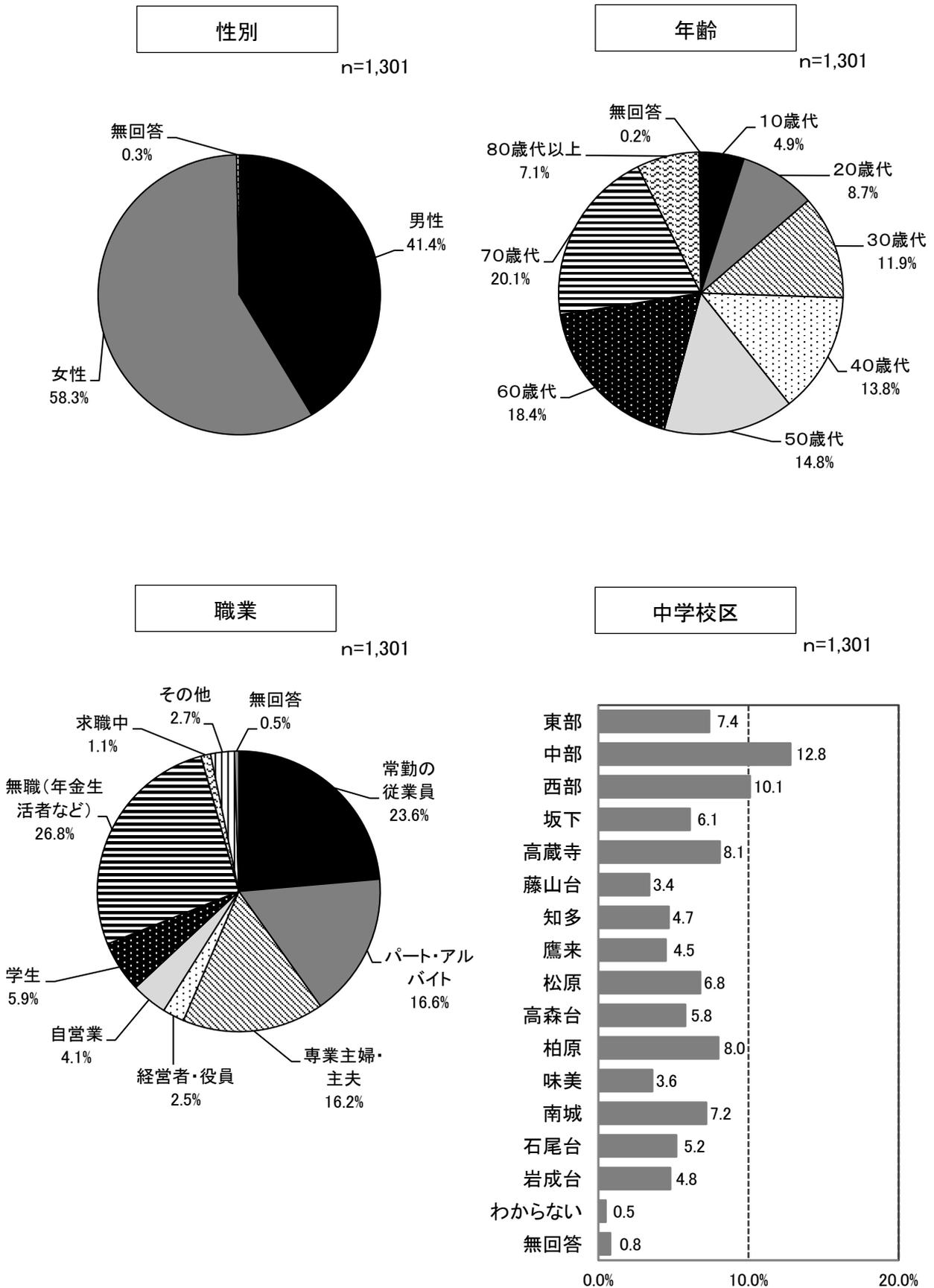
	市民アンケート	団体アンケート
配布数	3,500	500
回収数	1,301	426
回収率	37.2%	85.2%

(6) 調査結果の見方

- ・無回答を含めたサンプル数に対する比率を基本としています。
- ・図表の数値は小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、比率の数値の合計が100%にならない場合があります。
- ・回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100%を超える項目もあります。
- ・グラフ中の「n」は、各設問の母数を表します。

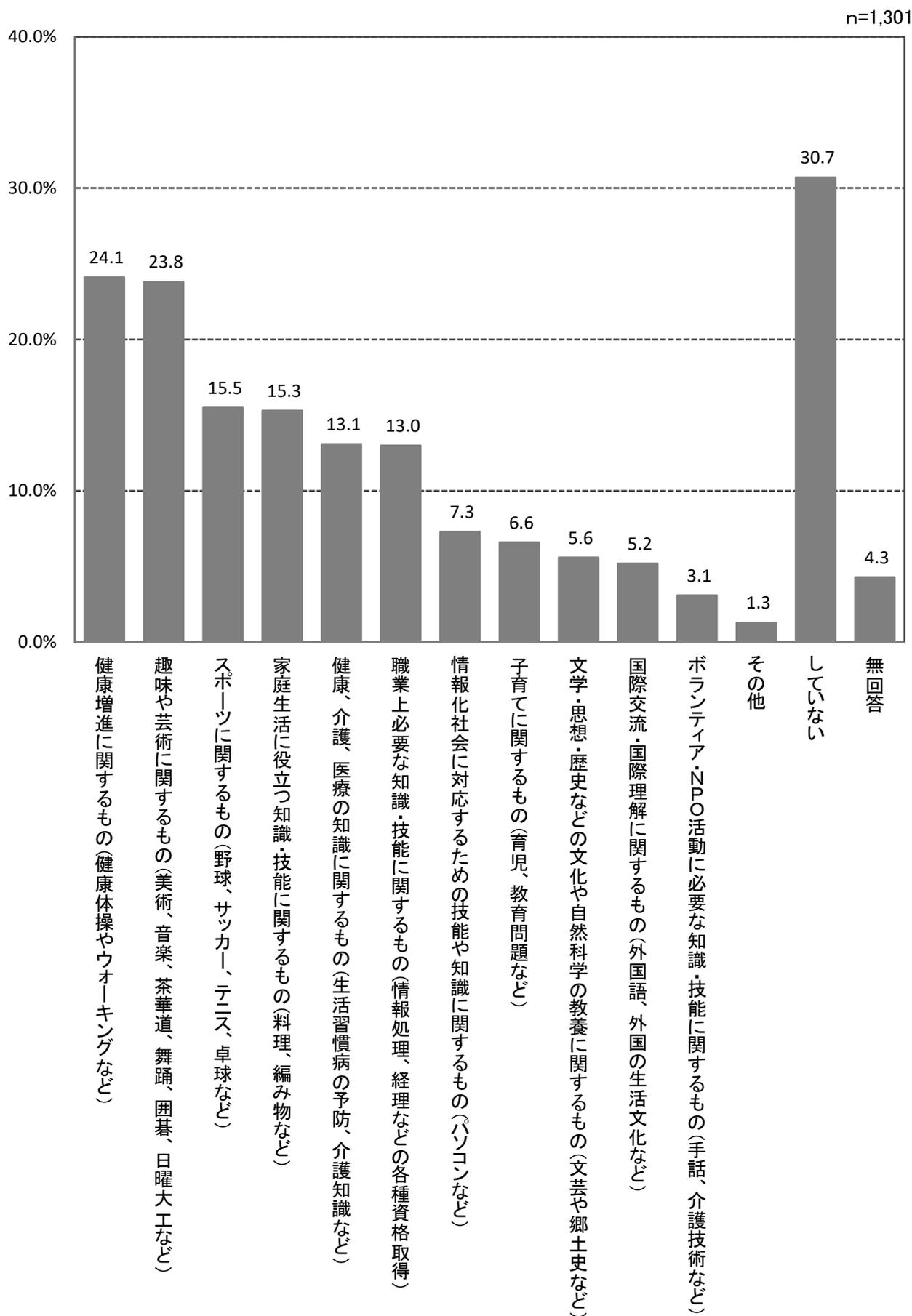
2. 市民アンケート調査結果

(1) 回答者の特性

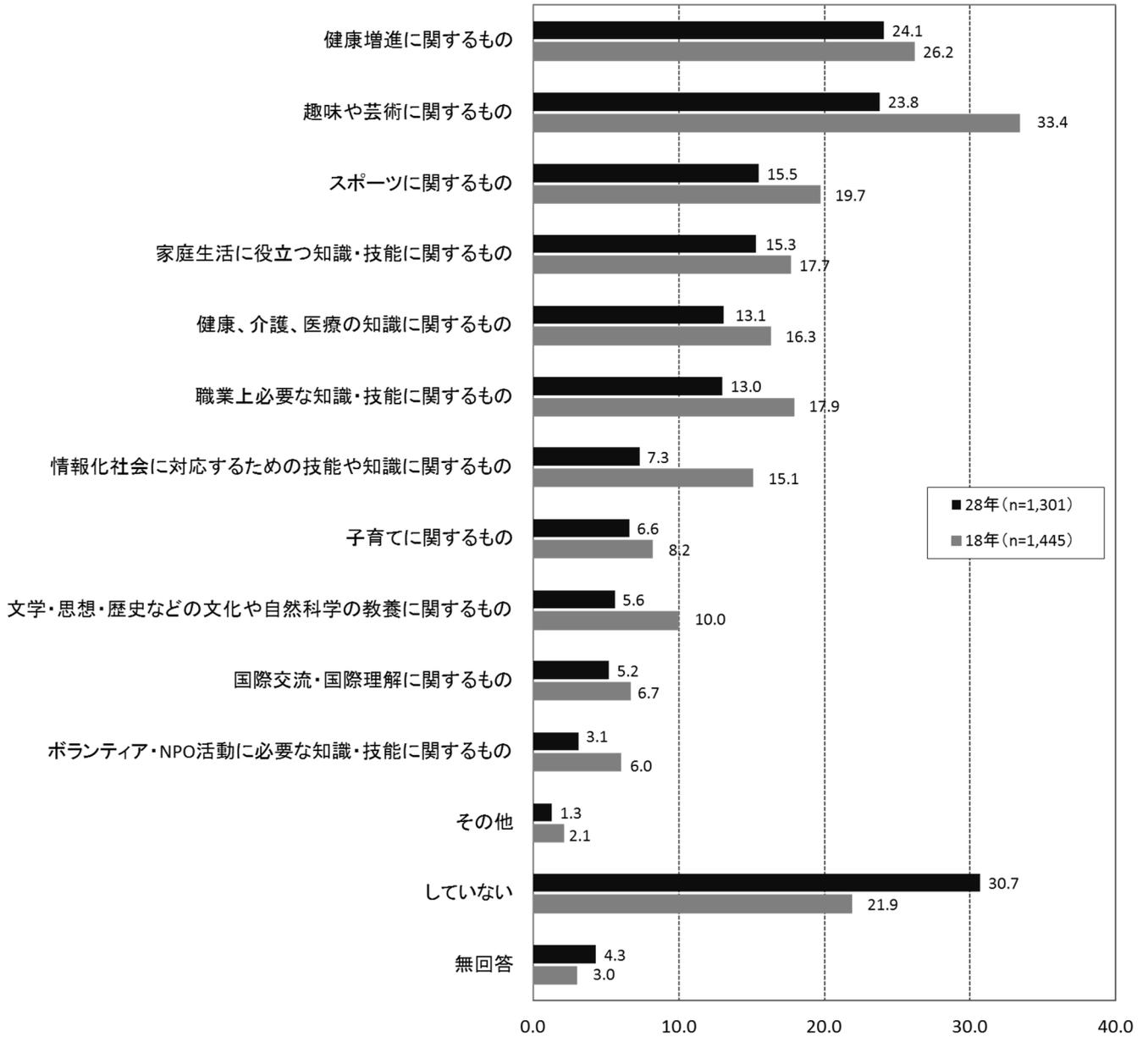


(2)生涯学習について

問1 あなたが、学校以外で取り組んでいる生涯学習の内容は何ですか。【複数回答】



■ 前回調査(平成 18 年)と今回調査(平成 28 年)との比較



■性別、年齢別にみた「学校以外で取り組んでいる生涯学習の内容」

単位:割合(%)

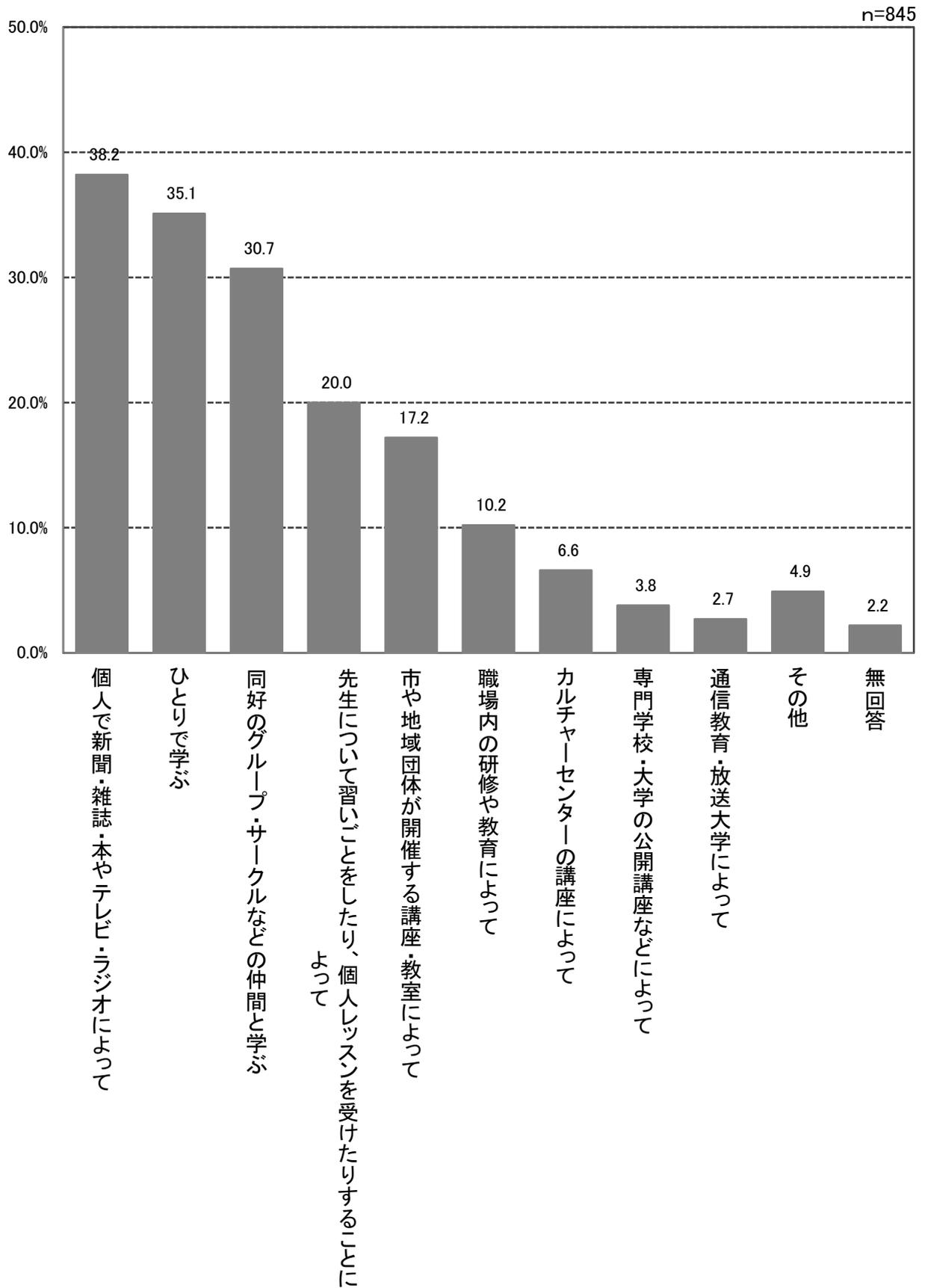
	有効回答数(件)	健康増進に関するもの	趣味や芸術に関するもの	スポーツに関するもの	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの	健康、介護、医療の知識に関するもの	職業上必要な知識・技能に関するもの	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの	子育てに関するもの	自然科学の教養に関するもの	文学・思想・歴史などの文化や	国際交流・国際理解に関するもの	ボランティア・NPO活動に必要な知識・技能に関するもの	その他	していない	無回答
男性	538	24.0	23.4	22.1	6.5	10.2	17.1	10.6	2.8	8.2	5.2	2.2	2.2	31.0	3.7	
10歳代	29	10.3	31.0	27.6	6.9	0.0	17.2	10.3	0.0	6.9	10.3	6.9	0.0	17.2	0.0	
20歳代	35	14.3	14.3	31.4	5.7	5.7	22.9	8.6	0.0	2.9	2.9	8.6	0.0	34.3	0.0	
30歳代	45	11.1	15.6	40.0	6.7	8.9	33.3	8.9	8.9	6.7	6.7	0.0	0.0	33.3	0.0	
40歳代	62	24.2	24.2	21.0	4.8	3.2	41.9	11.3	11.3	3.2	4.8	0.0	1.6	33.9	1.6	
50歳代	81	21.0	24.7	19.8	12.3	13.6	25.9	11.1	1.2	11.1	7.4	1.2	0.0	39.5	1.2	
60歳代	111	32.4	25.2	26.1	6.3	11.7	11.7	12.6	1.8	7.2	4.5	1.8	1.8	34.2	2.7	
70歳代	129	28.7	22.5	16.3	3.1	11.6	3.1	10.9	0.8	12.4	5.4	3.1	6.2	24.8	6.2	
80歳代以上	46	23.9	28.3	6.5	8.7	17.4	0.0	6.5	0.0	6.5	0.0	0.0	2.2	26.1	15.2	
女性	759	24.0	24.2	10.8	21.6	15.3	10.1	5.0	9.4	3.8	5.3	3.7	0.7	30.6	4.6	
10歳代	35	2.9	34.3	22.9	17.1	11.4	8.6	5.7	8.6	0.0	8.6	5.7	0.0	34.3	0.0	
20歳代	78	10.3	25.6	7.7	25.6	6.4	21.8	6.4	15.4	1.3	14.1	1.3	0.0	28.2	0.0	
30歳代	110	12.7	20.0	8.2	33.6	13.6	20.9	8.2	29.1	6.4	6.4	4.5	0.9	32.7	0.9	
40歳代	118	22.0	15.3	16.9	24.6	7.6	12.7	2.5	10.2	5.9	3.4	2.5	1.7	34.7	1.7	
50歳代	112	25.9	23.2	10.7	19.6	18.8	11.6	5.4	4.5	1.8	6.3	3.6	0.0	36.6	0.0	
60歳代	128	35.2	27.3	11.7	18.0	17.2	1.6	3.9	3.1	3.9	2.3	4.7	0.8	29.7	3.9	
70歳代	132	37.1	30.3	7.6	17.4	23.5	3.0	4.5	1.5	4.5	3.8	5.3	0.8	20.5	15.2	
80歳代以上	46	21.7	23.9	4.3	8.7	19.6	0.0	4.3	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	32.6	15.2	

(結果の概要)

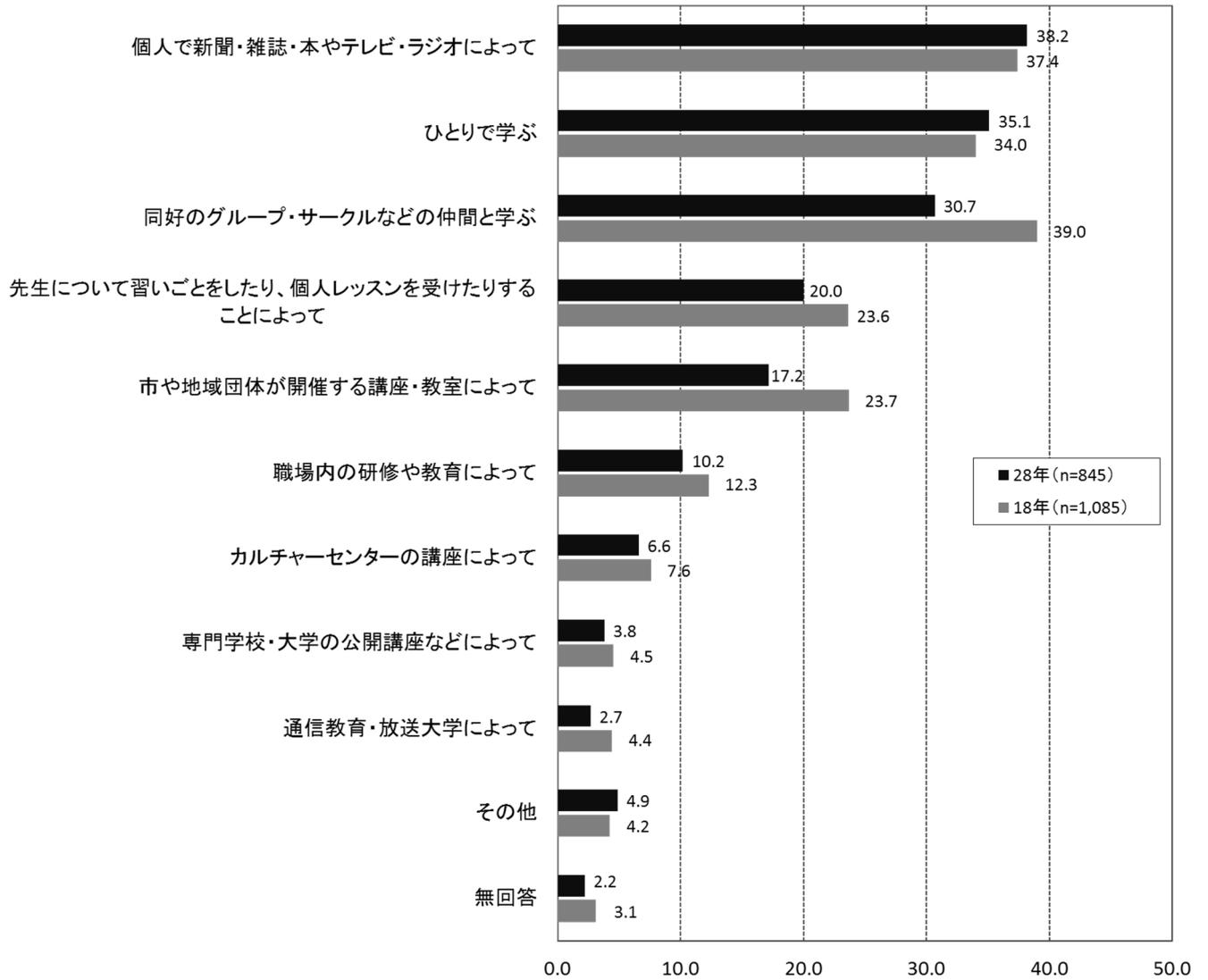
- ・あなたが、学校以外で取り組んでいる生涯学習の内容は何かとの問いに対して、「していない」と答えた人の割合が最も高く30.7%となっています。2番目は「健康増進に関するもの」で24.1%、3番目は「趣味や芸術に関するもの」で23.8%となっています。
- ・前回調査(平成18年)では、「趣味や芸術に関するもの」と答えた人の割合が最も高く33.4%、2番目は「健康増進に関するもの」で26.2%、3番目は「していない」で21.9%でした。前回調査と比較して「していない」が21.9%から30.7%に上昇し、「趣味や芸術に関するもの」が33.4%から23.8%に低下する結果となっています。
- ・性別にみると、男性は回答割合の高い方から「していない」「健康増進に関するもの」「趣味や芸術に関するもの」の順となっています。女性は「していない」「趣味や芸術にかんするもの」「健康増進に関するもの」の順となっています。

【問1で1～12と答えられた方にお聞きします。】

問1-1 どんな方法で学んでおられますか。【複数回答】



■ 前回調査(平成 18 年)と今回調査(平成 28 年)との比較



■性別、年齢別にみた「学び方」について

単位：割合(%)

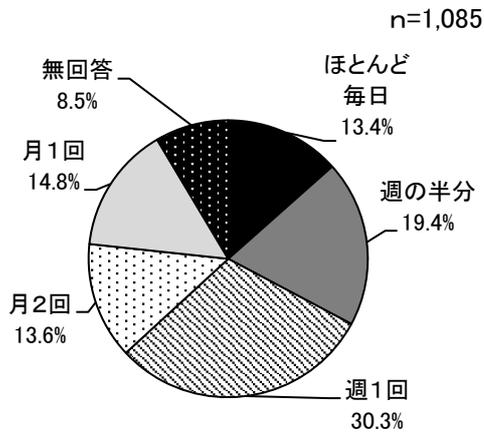
	有効回答数 (件)	よや個人 ってレで ビ新 ・聞 ラ・雑 ジ誌 オに ・本	ひとり で学 ぶ	同好の グル ー プ ・ サ ー ク ル な ど の 仲 間 と 学 ぶ	先生に ついて 習い ごと を し た り 個 人 レ ッ ス を 受 け た り す る こ と	市や地 域団 体 が 開 催 す る 講 座 ・ 教 室 に よ っ て	職場 内 の 研 修 や 教 育 に よ っ て	講 座 に よ っ て	講 座 な ど に よ っ て	専 門 学 校 ・ 大 学 の 公 開	通 信 教 育 ・ 放 送 大 学 に よ っ て	そ の 他	無 回 答
男性	351	42.2	43.3	30.5	10.5	12.8	11.7	3.4	4.3	3.1	4.0	1.1	
10歳代	24	25.0	50.0	29.2	12.5	4.2	4.2	0.0	8.3	4.2	8.3	0.0	
20歳代	23	30.4	47.8	43.5	13.0	0.0	13.0	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	
30歳代	30	30.0	56.7	23.3	16.7	6.7	30.0	3.3	3.3	6.7	0.0	0.0	
40歳代	40	45.0	52.5	25.0	2.5	7.5	35.0	0.0	2.5	7.5	5.0	0.0	
50歳代	48	45.8	47.9	22.9	8.3	6.3	18.8	2.1	2.1	4.2	2.1	2.1	
60歳代	70	47.1	47.1	30.0	5.7	17.1	5.7	4.3	4.3	2.9	5.7	0.0	
70歳代	89	44.9	30.3	36.0	16.9	24.7	1.1	5.6	6.7	0.0	3.4	1.1	
80歳代以上	27	48.1	29.6	33.3	7.4	7.4	0.0	3.7	3.7	3.7	3.7	7.4	
女性	492	35.6	29.3	30.5	26.6	20.3	9.1	8.9	3.5	2.4	5.5	3.0	
10歳代	23	13.0	26.1	39.1	39.1	0.0	4.3	0.0	8.7	0.0	0.0	4.3	
20歳代	56	51.8	39.3	17.9	17.9	8.9	17.9	1.8	5.4	5.4	14.3	0.0	
30歳代	73	47.9	49.3	19.2	21.9	16.4	17.8	2.7	1.4	4.1	5.5	2.7	
40歳代	75	28.0	42.7	18.7	32.0	17.3	10.7	9.3	2.7	5.3	4.0	0.0	
50歳代	71	39.4	32.4	22.5	22.5	21.1	14.1	14.1	5.6	2.8	4.2	0.0	
60歳代	85	31.8	17.6	44.7	25.9	28.2	1.2	16.5	3.5	0.0	2.4	3.5	
70歳代	85	31.8	9.4	45.9	31.8	29.4	2.4	9.4	1.2	0.0	3.5	8.2	
80歳代以上	24	20.8	8.3	41.7	29.2	25.0	0.0	8.3	4.2	0.0	16.7	8.3	

(結果の概要)

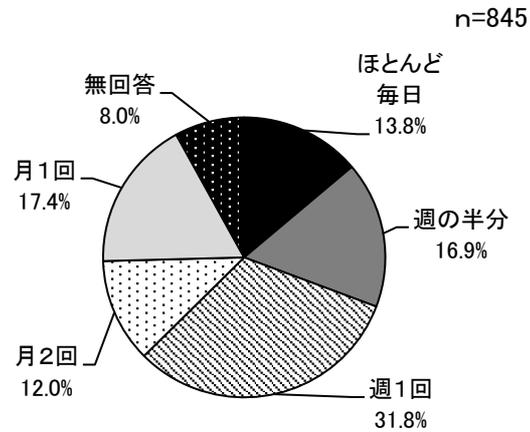
- ・どんな方法で学んでいるかとの問いに対して、「個人で新聞・雑誌・本やテレビ・ラジオによって」と答えた人の割合が最も高く38.2%となっています。2番目は「ひとりで学ぶ」で35.1%、3番目は「同好のグループ・サークルなどの仲間と学ぶ」で30.7%となっています。
- ・前回調査(平成18年)では、「動向のグループ・サークルなどの仲間と学ぶ」と答えた人の割合が最も高く39.0%、2番目は「個人で新聞・雑誌・本やテレビ・ラジオによって」で37.4%、3番目は「ひとりで学ぶ」で34.0%でした。前回調査と比較して「同好のグループ・サークルなどの仲間と学ぶ」が39.0%から30.7%に低下する結果となっています。
- ・性別にみると、男性は回答割合の高い方から「ひとりで学ぶ」「個人で新聞・雑誌・本やテレビ・ラジオによって」「同好のグループ・サークルなどの仲間と学ぶ」の順となっています。女性は「個人で新聞・雑誌・本やテレビ・ラジオによって」「同好のグループ・サークルなどの仲間と学ぶ」「ひとりで学ぶ」の順となっています。
- ・性別年齢別にみると、男性は10歳代から60歳代は「ひとりで学ぶ」、70歳代以上は「個人で新聞・雑誌・本やテレビ・ラジオによって」と答えた人の割合が最も高くなっています。女性は30歳代・40歳代は「ひとりで学ぶ」、60歳代以上は「同好のグループ・サークルなどの仲間と学ぶ」と答えた人の割合が最も高くなっています。

問1-2 取り組んでいるすべての活動回数は何回くらいですか。【単数回答】

【平成18年調査】

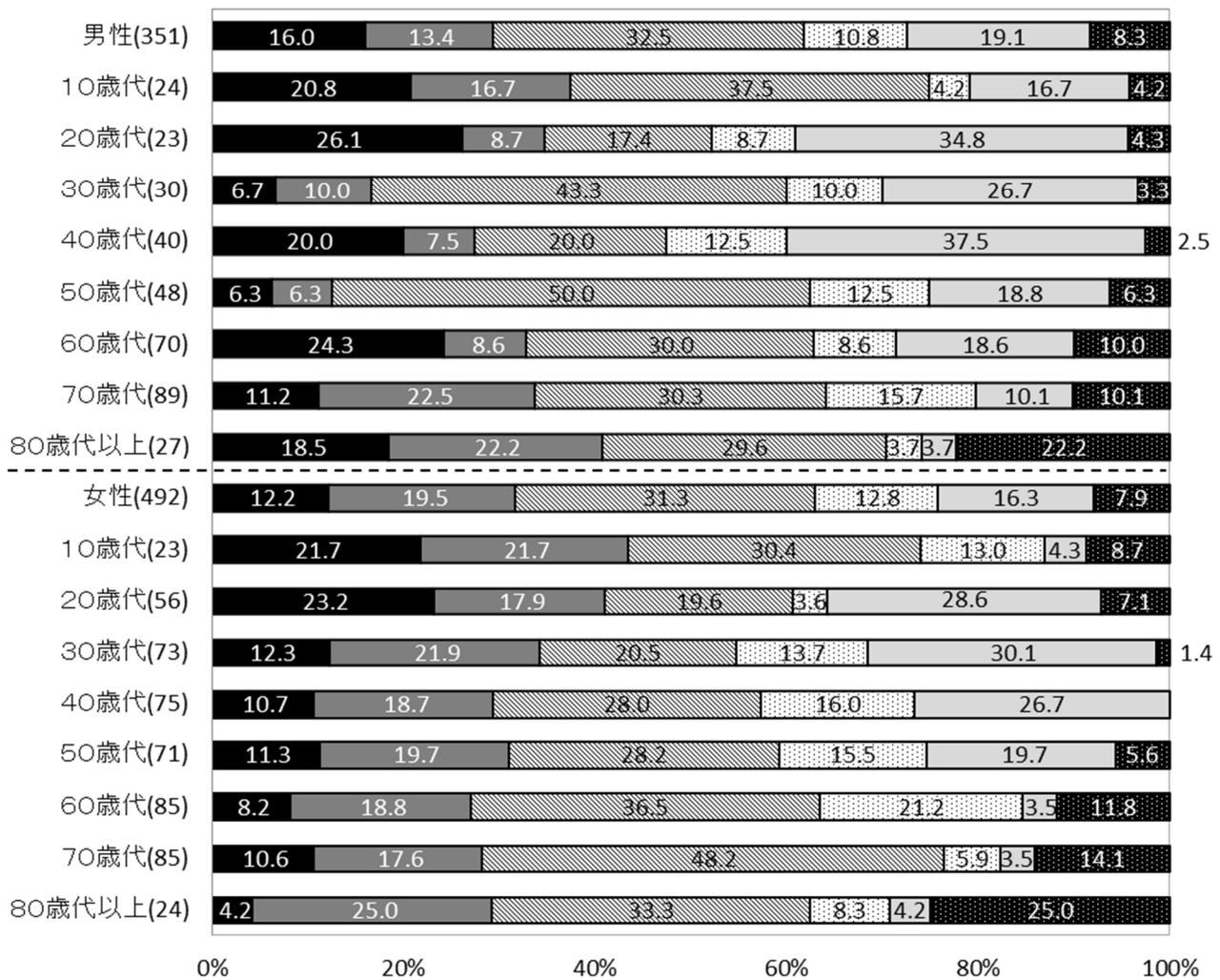


【平成28年調査】



■性別、年齢別にみた「活動回数」

■ほとんど毎日 ■週の半分 ■週1回 ■月2回 □月1回 ■無回答

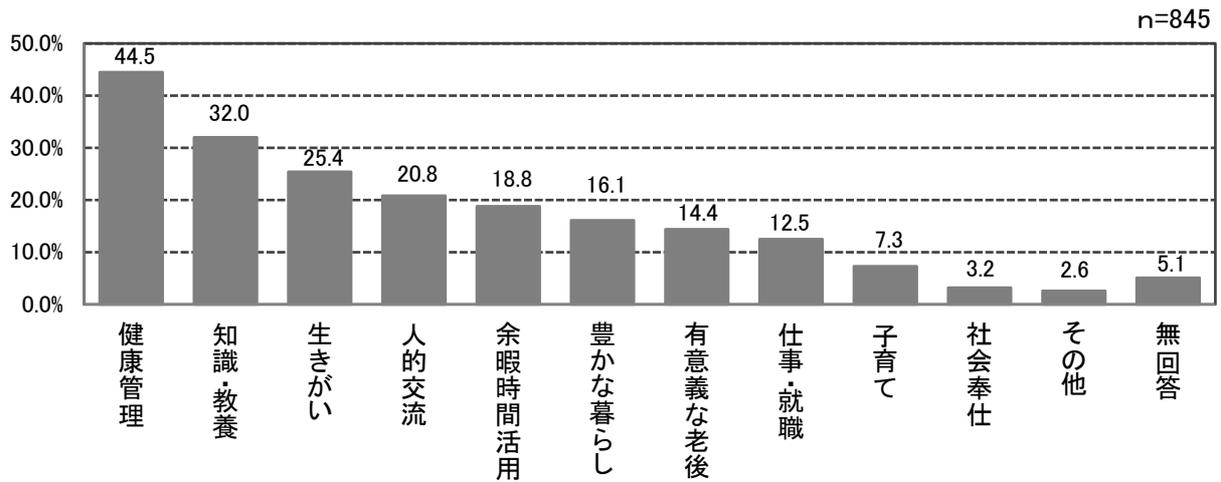


()は有効回答数

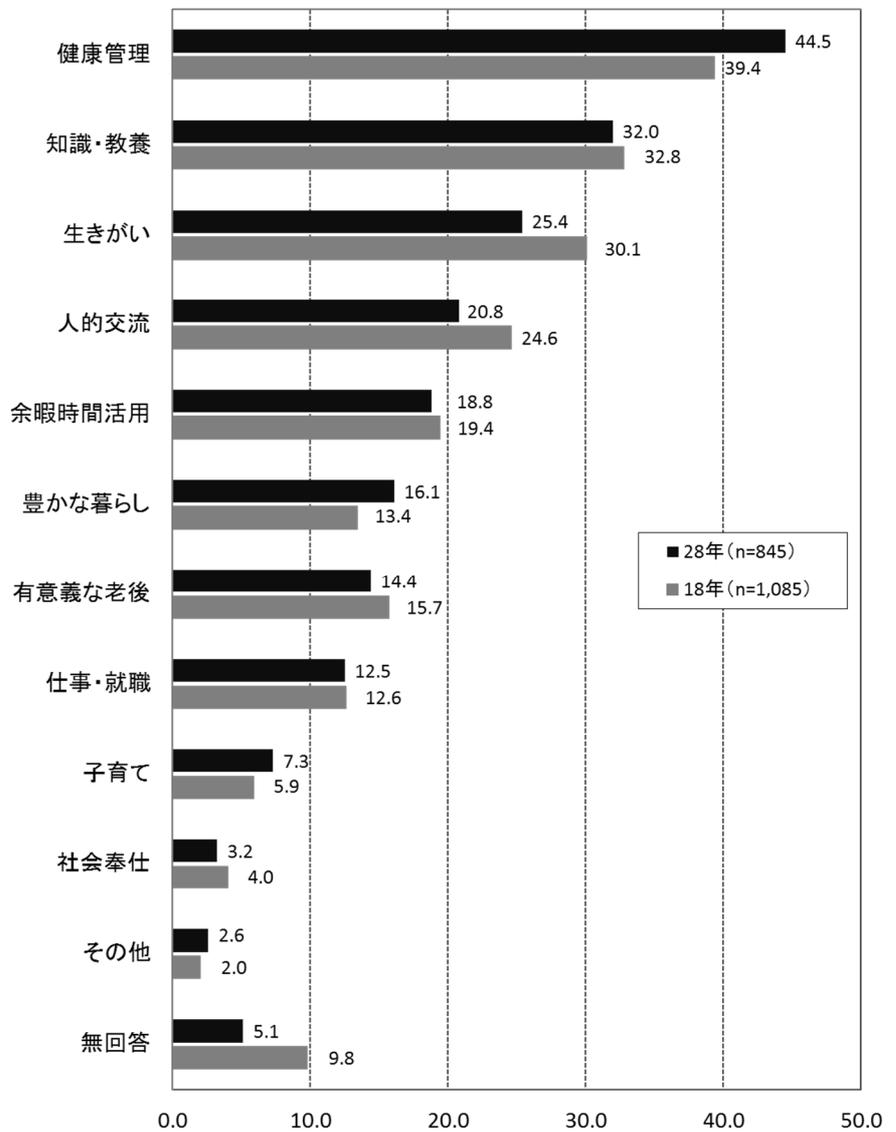
(結果の概要)

- ・取り組んでいるすべての活動回数はどれくらいかとの問いに対して、「週1回」と答えた人の割合が最も高く31.8%となっています。2番目は「月1回」で17.4%、3番目は「週の半分」で16.9%となっています。
- ・前回調査（平成18年）では、「週1回」と答えた人の割合が最も高く30.3%、2番目は「週の半分」で19.4%、3番目は「月1回」で14.8%でした。前回調査と比較して活動回数に大きな変化は見られません。

問1-3 活動している理由はなんですか。【複数回答：3つまで】



■ 前回調査(平成18年)と今回調査(平成28年)との比較



■性別、年齢別にみた「活動をしている理由」

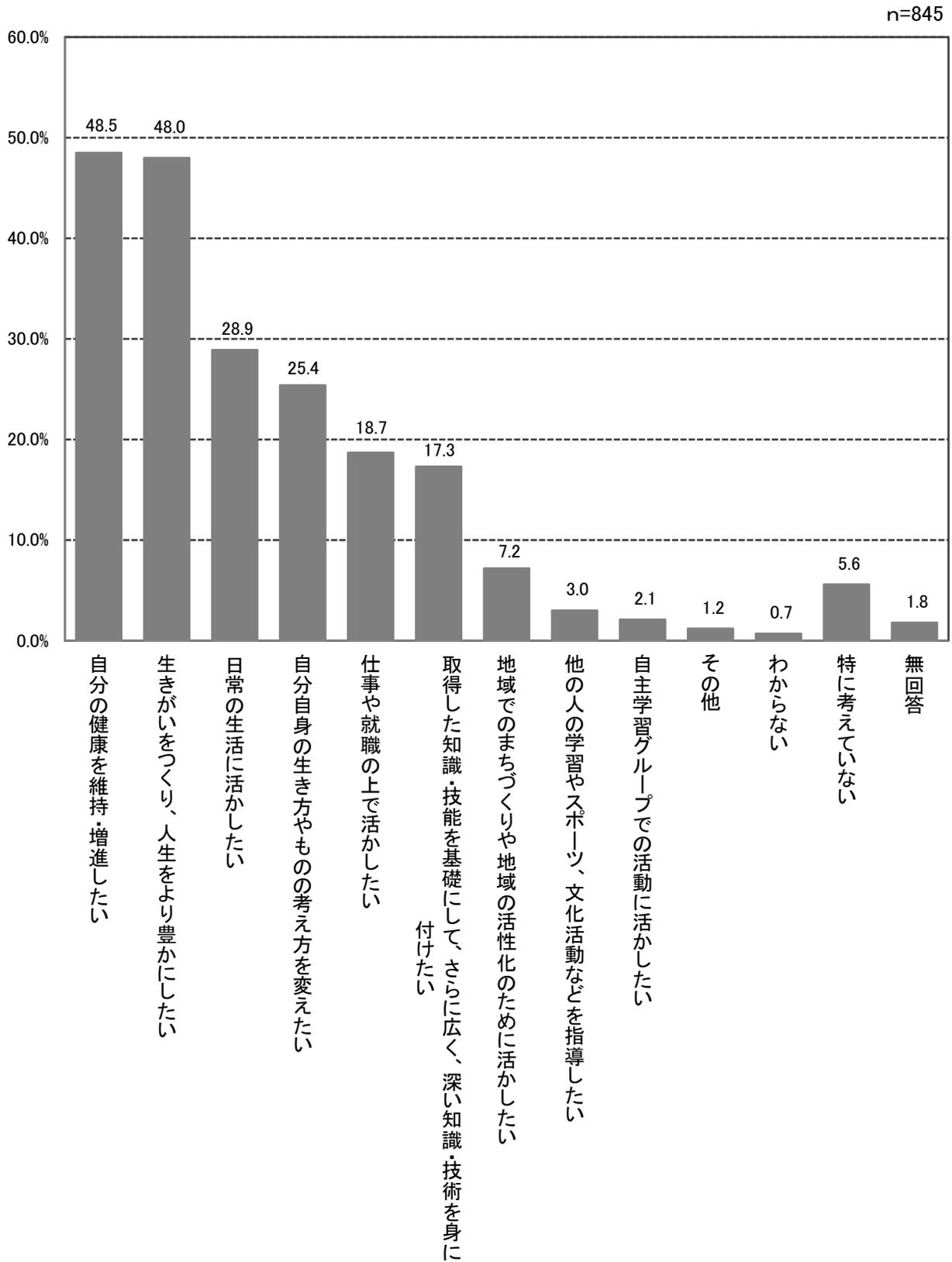
単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	健康管理	知識・教養	生きがい	人的交流	余暇時間活用	豊かな暮らし	有意義な老後	仕事・就職	子育て	社会奉仕	その他	無回答
男性	351	45.0	33.6	24.8	21.1	21.9	13.4	16.2	11.7	2.8	2.8	3.4	5.1
10歳代	24	12.5	33.3	29.2	33.3	12.5	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0
20歳代	23	26.1	43.5	39.1	21.7	30.4	17.4	4.3	26.1	0.0	0.0	4.3	0.0
30歳代	30	40.0	33.3	26.7	16.7	13.3	16.7	0.0	20.0	13.3	0.0	10.0	3.3
40歳代	40	37.5	50.0	20.0	12.5	20.0	5.0	2.5	30.0	12.5	0.0	5.0	0.0
50歳代	48	50.0	41.7	25.0	10.4	18.8	22.9	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0	8.3
60歳代	70	60.0	28.6	17.1	22.9	34.3	20.0	21.4	8.6	1.4	0.0	2.9	2.9
70歳代	89	49.4	27.0	22.5	29.2	21.3	6.7	33.7	1.1	0.0	7.9	2.2	7.9
80歳代以上	27	44.4	22.2	40.7	14.8	11.1	3.7	25.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8
女性	492	43.9	30.9	26.0	20.5	16.7	18.1	13.2	13.2	10.6	3.5	2.0	5.1
10歳代	23	17.4	39.1	26.1	17.4	4.3	4.3	4.3	21.7	0.0	4.3	13.0	8.7
20歳代	56	16.1	48.2	28.6	10.7	17.9	26.8	1.8	21.4	19.6	0.0	0.0	3.6
30歳代	73	15.1	49.3	24.7	17.8	16.4	24.7	0.0	30.1	41.1	1.4	4.1	1.4
40歳代	75	46.7	38.7	18.7	13.3	13.3	18.7	2.7	13.3	12.0	4.0	4.0	1.3
50歳代	71	52.1	36.6	19.7	21.1	22.5	22.5	7.0	19.7	2.8	2.8	0.0	2.8
60歳代	85	63.5	15.3	25.9	24.7	20.0	18.8	23.5	1.2	0.0	5.9	0.0	7.1
70歳代	85	64.7	10.6	36.5	29.4	15.3	9.4	29.4	1.2	0.0	4.7	0.0	9.4
80歳代以上	24	45.8	12.5	29.2	29.2	12.5	4.2	45.8	0.0	0.0	4.2	4.2	12.5

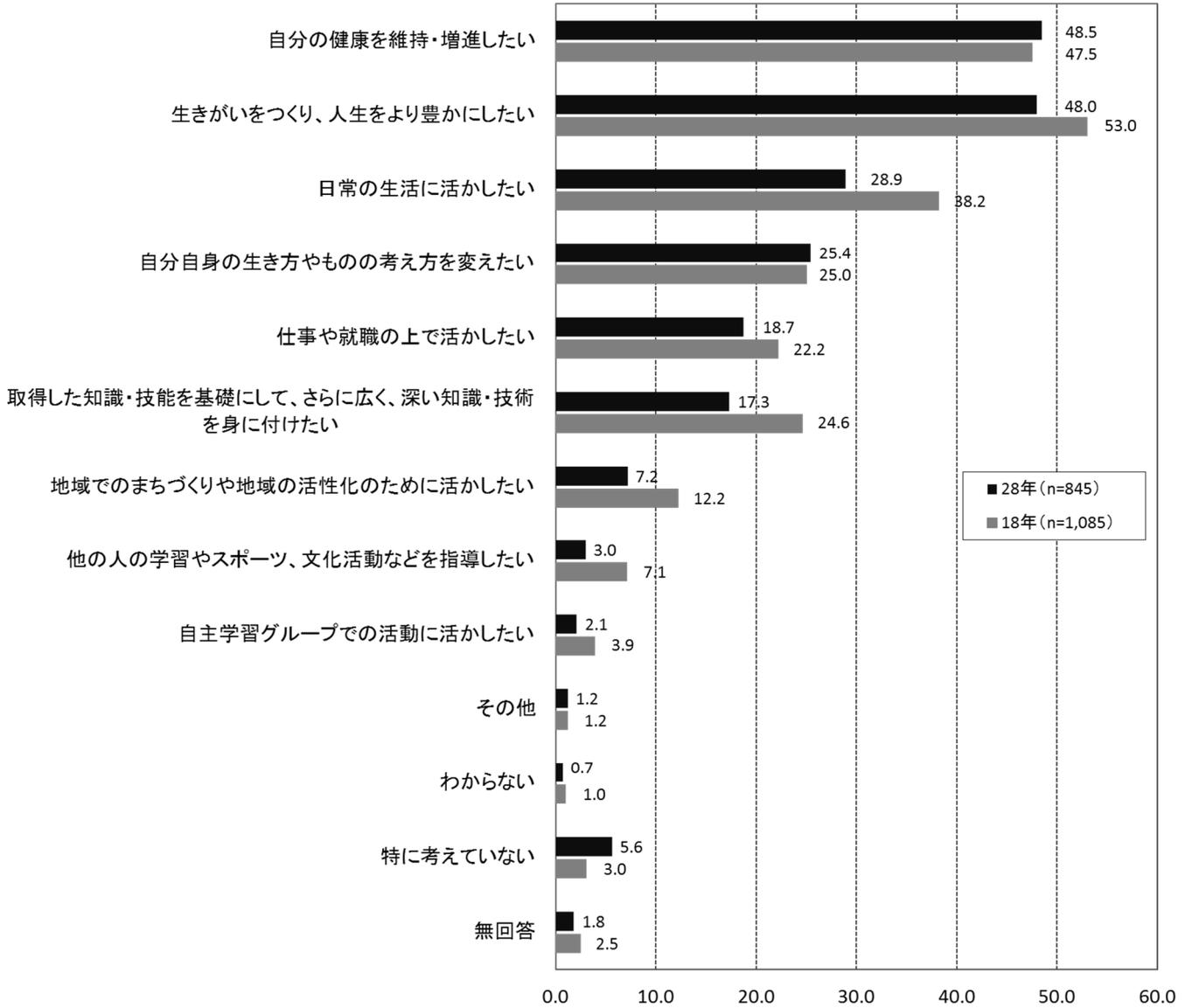
(結果の概要)

- ・活動している理由は何かとの問いに対して、「健康管理」と答えた人の割合が最も高く44.5%となっています。2番目は「知識・教養」で32.0%、3番目は「生きがい」で25.4%となっています。
- ・前回調査（平成18年）では、「健康管理」と答えた人の割合が最も高く39.4%、2番目は「知識・教養」で32.8%、3番目は「生きがい」で30.1%でした。前回調査と比較して活動している理由に大きな変化は見られません。
- ・性別にみると、男性・女性ともに回答割合の高い方から「健康管理」「知識・教養」「生きがい」の順となっています。
- ・性別年齢別にみると、男性・女性ともに若年層は「知識・教養」、中高年層は「健康管理」と答えた人の割合が高い傾向にあります。

問2 あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように活かしたいと思っていますか。【複数回答】



■ 前回調査(平成 18 年)と今回調査(平成 28 年)との比較



■性別、年齢別にみた「学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように活かしたいか」について

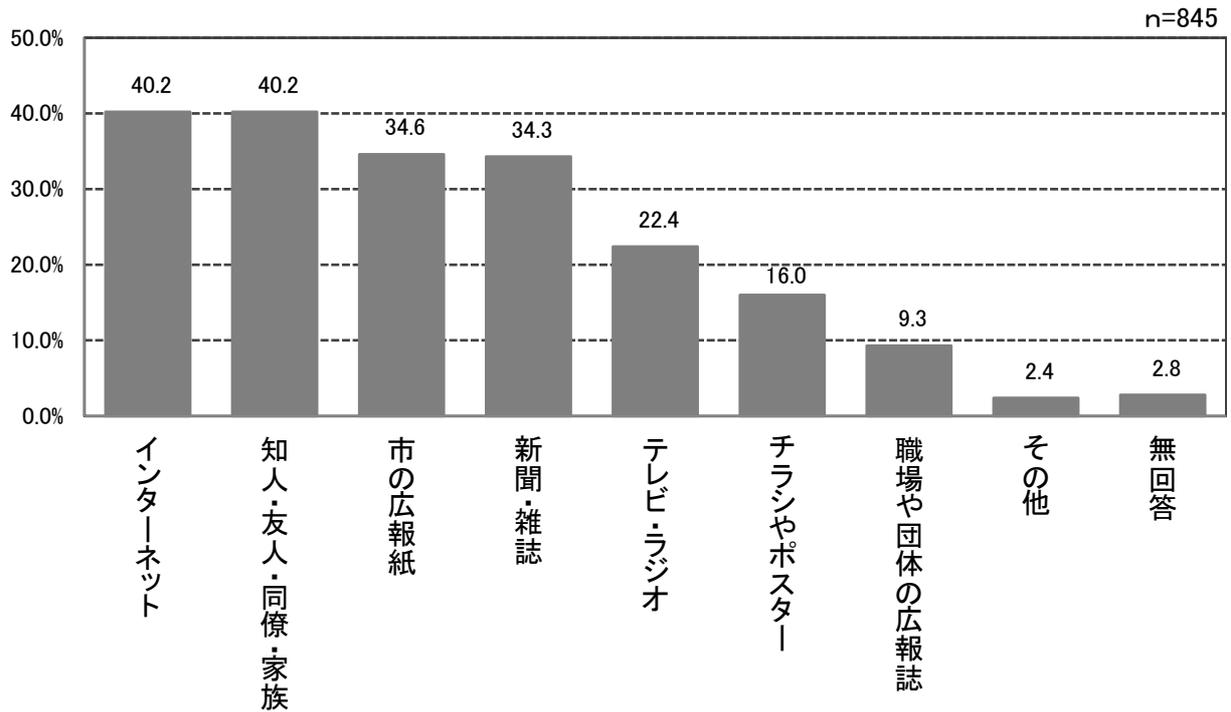
単位：割合(%)

	有効回答数(件)	自分の健康を維持・増進したい	生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい	日常生活に活かしたい	自分自身の生き方やものの考え方を变えたい	仕事や就職の上で活かしたい	知識・技術を身に付けた深い基礎に	取得した知識・技能を基礎に	地域でのまちづくりや地域の活性化のために活かしたい	他の人の学習やスポーツ、文化活動などを指導したい	自主学習グループでの活動に活かしたい	その他	わからない	特に考えていない	無回答
男性	351	51.6	45.6	21.4	22.8	17.4	19.7	8.0	3.7	1.1	1.7	0.6	6.0	1.7	
10歳代	24	20.8	45.8	12.5	29.2	33.3	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	
20歳代	23	17.4	43.5	21.7	43.5	30.4	30.4	4.3	17.4	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0	
30歳代	30	43.3	43.3	20.0	30.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	0.0	
40歳代	40	37.5	42.5	27.5	35.0	35.0	25.0	5.0	5.0	0.0	5.0	2.5	2.5	0.0	
50歳代	48	56.3	50.0	27.1	22.9	27.1	18.8	10.4	4.2	0.0	2.1	0.0	4.2	0.0	
60歳代	70	68.6	35.7	22.9	20.0	10.0	21.4	10.0	1.4	1.4	0.0	1.4	10.0	1.4	
70歳代	89	59.6	50.6	19.1	12.4	2.2	16.9	13.5	3.4	2.2	2.2	0.0	4.5	4.5	
80歳代以上	27	59.3	55.6	14.8	14.8	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	3.7	
女性	492	46.3	50.0	34.3	27.2	19.7	15.7	6.7	2.4	2.8	0.8	0.8	5.1	1.8	
10歳代	23	21.7	47.8	43.5	30.4	34.8	30.4	13.0	4.3	13.0	4.3	0.0	4.3	4.3	
20歳代	56	23.2	44.6	33.9	32.1	41.1	23.2	1.8	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	
30歳代	73	23.3	47.9	46.6	39.7	42.5	21.9	8.2	2.7	2.7	1.4	1.4	4.1	2.7	
40歳代	75	42.7	40.0	33.3	37.3	20.0	17.3	4.0	8.0	1.3	1.3	2.7	6.7	0.0	
50歳代	71	53.5	49.3	31.0	25.4	22.5	18.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	
60歳代	85	63.5	56.5	30.6	18.8	2.4	11.8	4.7	1.2	3.5	1.2	1.2	7.1	4.7	
70歳代	85	65.9	52.9	35.3	16.5	2.4	4.7	12.9	0.0	4.7	0.0	0.0	3.5	1.2	
80歳代以上	24	54.2	70.8	12.5	16.7	0.0	4.2	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	12.5	4.2	

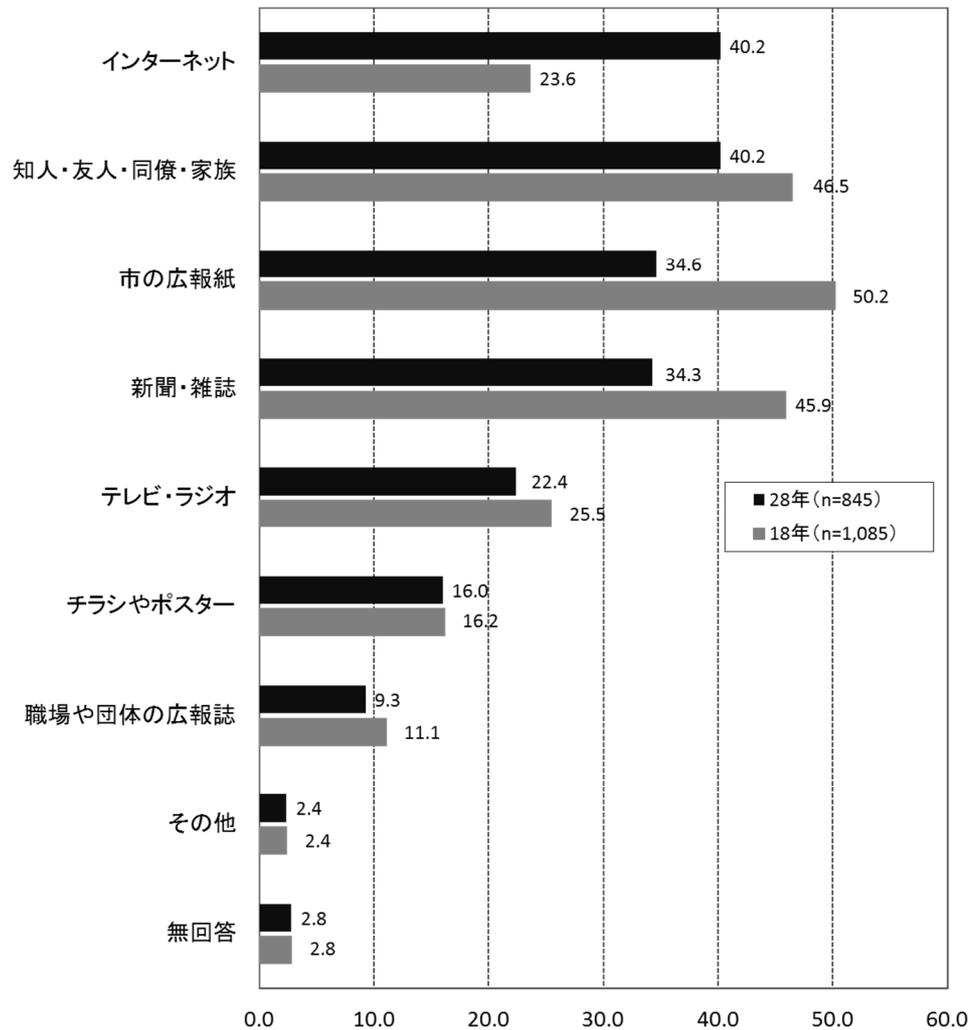
(結果の概要)

- ・学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように活かしたいと思うかとの問いに対して、「自分の健康を維持・増進したい」と答えた人の割合が最も高く48.5%となっています。2番目は「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」で48.0%、3番目は「日常生活に活かしたい」で28.9%となっています。
- ・前回調査(平成18年)では、「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」と答えた人の割合が最も高く53.0%、2番目は「自分の健康を維持・増進したい」で47.5%、3番目は「日常生活に活かしたい」で38.2%でした。前回調査と比較して「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」が53.0%から48.0%に、「日常生活に活かしたい」が38.2%から28.9%に低下する結果となっています。
- ・性別にみると、男性は回答割合の高い方から「自分の健康を維持・増進したい」「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」「自分自身の生き方やものの考え方を变えたい」の順となっています。女性は「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」「自分の健康を維持・増進したい」「日常生活に活かしたい」の順となっています。
- ・性別年齢別にみると、男性は10歳代から40歳代は「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」、50歳代以上は「自分の健康を維持・増進したい」と答えた人の割合が最も高くなっています。女性は10歳代から30歳代が「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」、40歳代から70歳代は「自分の健康を維持・増進したい」、80歳代以上は「生きがいをつくり、人生をより豊かにしたい」と答えた人の割合が最も高くなっています。

問3 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。【複数回答】



■ 前回調査(平成18年)と今回調査(平成28年)との比較



■性別、年齢別にみた「生涯学習の情報入手方法」

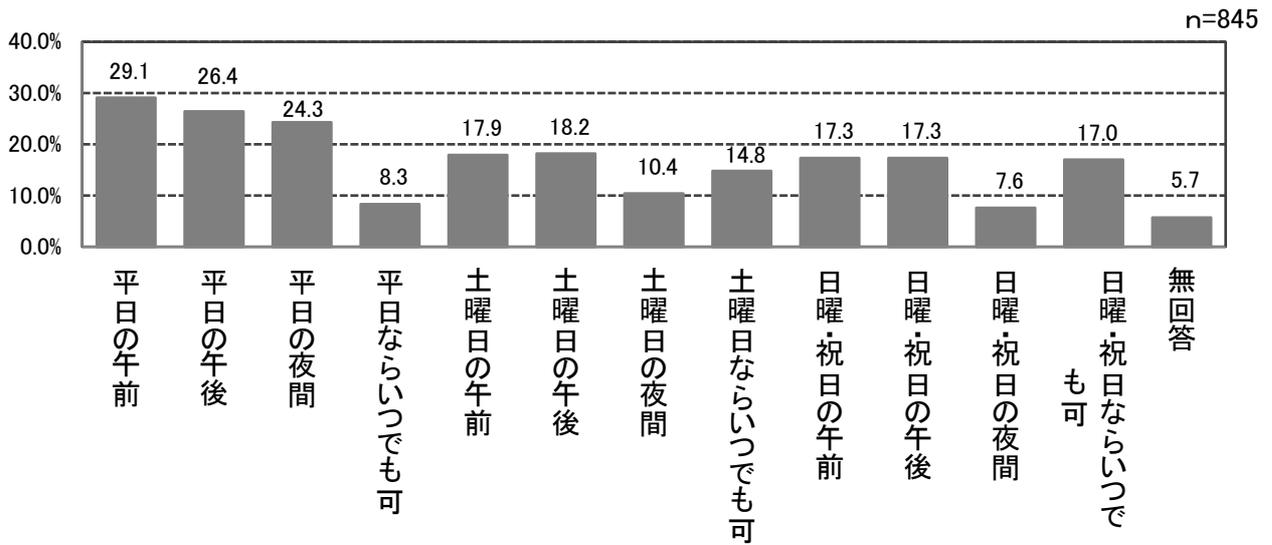
単位：割合（％）

	有効回答数 (件)	インターネット	知人・友人・同僚・家族	市の広報紙	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	チラシやポスター	職場や団体の広報誌	その他	無回答
男性	351	43.6	31.9	26.8	39.9	24.2	11.4	8.3	3.7	2.8
10歳代	24	62.5	29.2	8.3	12.5	25.0	8.3	4.2	0.0	0.0
20歳代	23	73.9	34.8	0.0	30.4	17.4	0.0	4.3	4.3	0.0
30歳代	30	76.7	26.7	3.3	30.0	10.0	3.3	16.7	13.3	0.0
40歳代	40	72.5	30.0	7.5	27.5	20.0	10.0	15.0	2.5	0.0
50歳代	48	70.8	31.3	16.7	39.6	31.3	6.3	16.7	2.1	0.0
60歳代	70	34.3	30.0	32.9	48.6	34.3	15.7	7.1	1.4	2.9
70歳代	89	10.1	36.0	48.3	47.2	20.2	16.9	3.4	5.6	6.7
80歳代以上	27	7.4	33.3	51.9	55.6	25.9	14.8	0.0	0.0	7.4
女性	492	37.8	46.1	40.0	30.3	21.1	19.3	10.2	1.4	2.8
10歳代	23	69.6	47.8	4.3	8.7	34.8	8.7	4.3	4.3	4.3
20歳代	56	62.5	37.5	25.0	16.1	21.4	12.5	16.1	3.6	1.8
30歳代	73	68.5	43.8	35.6	21.9	20.5	16.4	19.2	0.0	2.7
40歳代	75	50.7	44.0	28.0	26.7	18.7	18.7	9.3	2.7	1.3
50歳代	71	43.7	45.1	40.8	42.3	19.7	19.7	15.5	0.0	0.0
60歳代	85	12.9	47.1	47.1	37.6	21.2	28.2	4.7	1.2	8.2
70歳代	85	5.9	51.8	63.5	37.6	17.6	24.7	4.7	1.2	1.2
80歳代以上	24	0.0	58.3	50.0	33.3	33.3	4.2	0.0	0.0	4.2

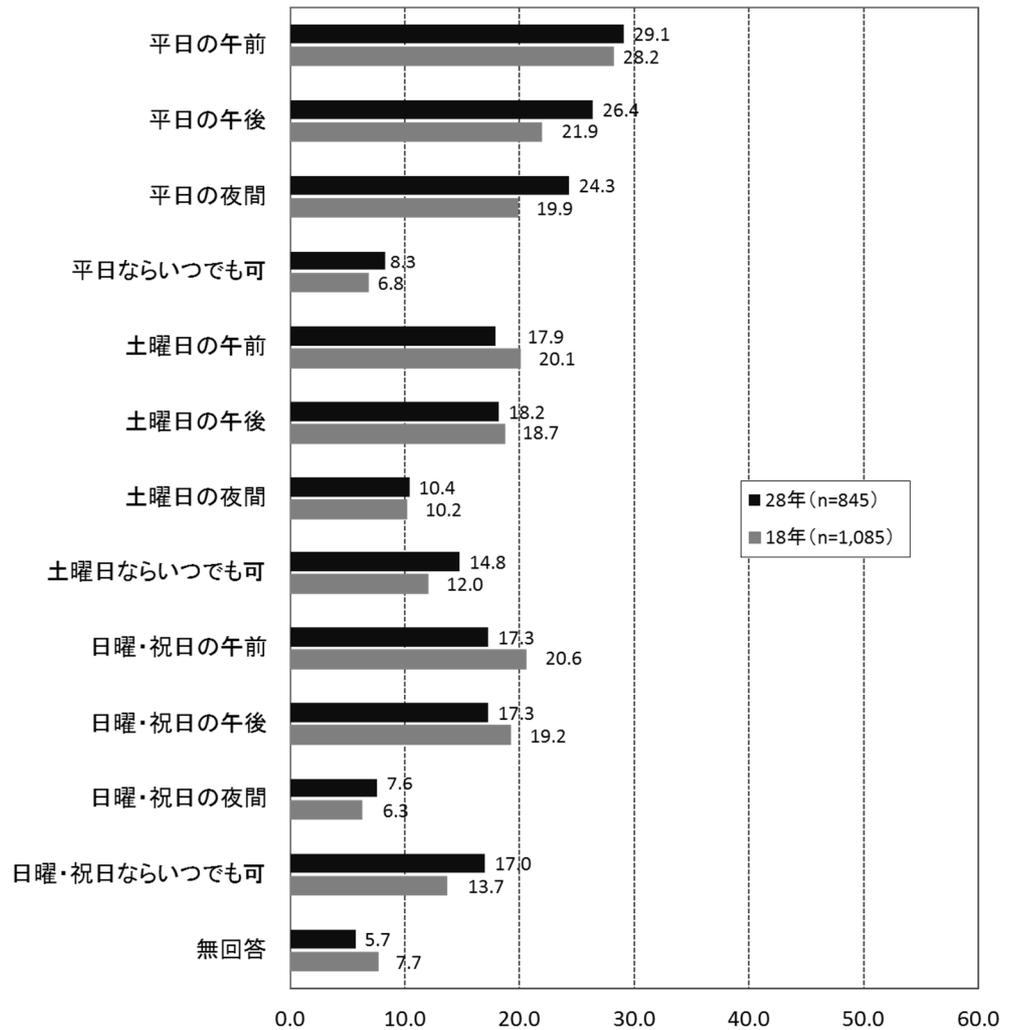
(結果の概要)

- ・生涯学習の情報をどこから得ているかとの問いに対して、「インターネット」「知人・友人・同僚・家族」と答えた人の割合が最も高く40.2%となっています。3番目は「市の広報紙」で34.6%となっています。
- ・前回調査（平成18年）では、「市の広報紙」と答えた人の割合が最も高く50.2%、2番目は「知人・友人・同僚・家族」で46.5%、3番目は「新聞・雑誌」で45.9%でした。前回調査と比較して「インターネット」が23.6%から40.2%に大幅に上昇した一方、「市の広報紙」が50.2%から34.6%、「新聞・雑誌」が45.9%から34.3%に大幅に低下する結果となっています。
- ・性別にみると、男性は回答割合の高い方から「インターネット」「新聞・雑誌」「知人・友人・同僚・家族」の順となっています。女性は「知人・友人・同僚・家族」「市の広報紙」「インターネット」の順となっています。
- ・性別年齢別にみると、男性は10歳代から50歳代は「インターネット」、50歳代以上は「新聞・雑誌」「市の広報紙」と答えた人の割合が最も高くなっています。女性は10歳代から40歳代が「インターネット」、50歳代以上は「市の広報紙」「知人・友人・同僚・家族」と答えた人の割合が最も高くなっています。

問4 あなたが生涯学習活動に参加しやすい曜日・時間帯についてお答えください。【複数回答】



■ 前回調査(平成 18 年)と今回調査(平成 28 年)との比較



■性別、年齢別にみた「生涯学習活動に参加しやすい時間帯」

単位：割合(%)

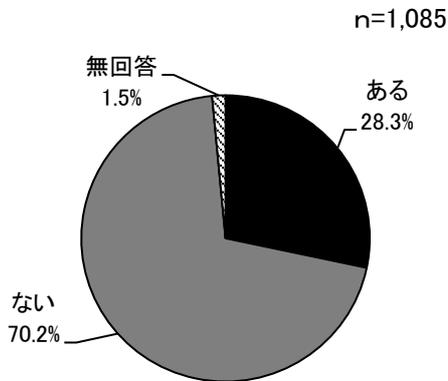
	有効回答数 (件)	平日の午前	平日の午後	平日の夜間	可平日ならいつでも	土曜日の午前	土曜日の午後	土曜日の夜間	も土曜日ならいつでも	日曜・祝日の午前	日曜・祝日の午後	日曜・祝日の夜間	つ日曜・祝日ならいつでも可	無回答
男性	351	18.2	20.2	27.9	12.3	17.4	15.4	11.7	20.8	17.4	13.1	8.0	25.4	5.7
10歳代	24	0.0	29.2	50.0	8.3	12.5	16.7	25.0	33.3	4.2	12.5	29.2	41.7	0.0
20歳代	23	0.0	4.3	60.9	0.0	13.0	21.7	30.4	17.4	17.4	30.4	13.0	34.8	0.0
30歳代	30	10.0	6.7	53.3	6.7	23.3	6.7	26.7	30.0	33.3	3.3	20.0	30.0	0.0
40歳代	40	5.0	7.5	50.0	2.5	22.5	25.0	12.5	17.5	22.5	20.0	5.0	25.0	2.5
50歳代	48	8.3	8.3	45.8	0.0	25.0	16.7	20.8	12.5	37.5	14.6	10.4	14.6	4.2
60歳代	70	24.3	27.1	11.4	15.7	15.7	17.1	4.3	24.3	15.7	11.4	4.3	30.0	5.7
70歳代	89	34.8	31.5	5.6	22.5	15.7	11.2	1.1	19.1	7.9	10.1	1.1	21.3	11.2
80歳代以上	27	25.9	25.9	3.7	25.9	7.4	11.1	3.7	18.5	3.7	11.1	3.7	18.5	11.1
女性	492	36.8	30.9	21.5	5.5	18.3	20.1	9.3	10.6	17.3	20.1	7.1	11.2	5.7
10歳代	23	8.7	21.7	60.9	4.3	26.1	30.4	30.4	8.7	34.8	26.1	21.7	13.0	4.3
20歳代	56	21.4	30.4	44.6	0.0	19.6	28.6	16.1	23.2	19.6	30.4	12.5	23.2	5.4
30歳代	73	30.1	16.4	32.9	0.0	19.2	21.9	15.1	12.3	16.4	23.3	9.6	15.1	5.5
40歳代	75	34.7	26.7	26.7	2.7	17.3	21.3	14.7	13.3	18.7	25.3	12.0	14.7	1.3
50歳代	71	32.4	23.9	19.7	8.5	21.1	18.3	5.6	9.9	26.8	18.3	4.2	11.3	2.8
60歳代	85	55.3	38.8	5.9	8.2	23.5	20.0	3.5	5.9	14.1	18.8	2.4	4.7	4.7
70歳代	85	48.2	42.4	4.7	9.4	9.4	12.9	1.2	4.7	8.2	9.4	2.4	3.5	9.4
80歳代以上	24	33.3	50.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	8.3	8.3	12.5	0.0	8.3	20.8

(結果の概要)

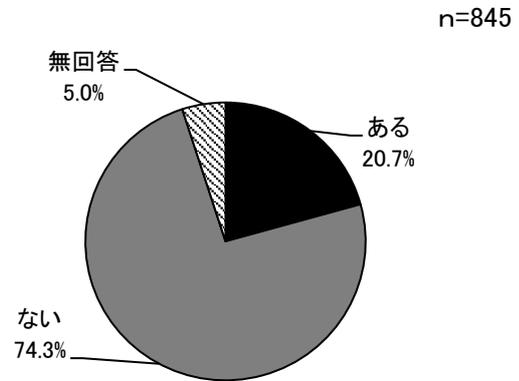
- ・生涯学習活動に参加しやすい時間帯についての問いに対して、「平日の午前」と答えた人の割合が最も高く29.1%となっています。2番目は「平日の午後」で26.4%、3番目は「平日の夜間」で24.3%となっています。
- ・前回調査（平成18年）では、「平日の午前」と答えた人の割合が最も高く28.2%、2番目は「平日の午後」で21.9%、3番目は「日曜・祝日の午前」で20.6%でした。前回調査と比較して「平日の午後」が21.9%から26.4%に、「平日の夜間」が19.9%から24.3%に上昇した一方、「日曜・祝日の午前」が20.6%から17.3%、「土曜日の午前」が20.1%から17.9%に低下する結果となっています。
- ・性別にみると、男性は回答割合の高い方から「平日の夜間」「日曜・祝日ならいつでも可」「土曜日ならいつでも可」の順となっています。女性は「平日の午前」「平日の午後」「平日の夜間」の順となっています。
- ・性別年齢別にみると、男性は10歳代から50歳代は「平日の夜間」と答えた人の割合が最も高くなっています。女性は10歳代から30歳代が「平日の夜間」、40歳代から70歳代は「平日の午前」と答えた人の割合が最も高くなっています。

問5 この1年間に公民館、ふれあいセンターなどで、市が行う講座、教室に参加したことがありますか。【単数回答】

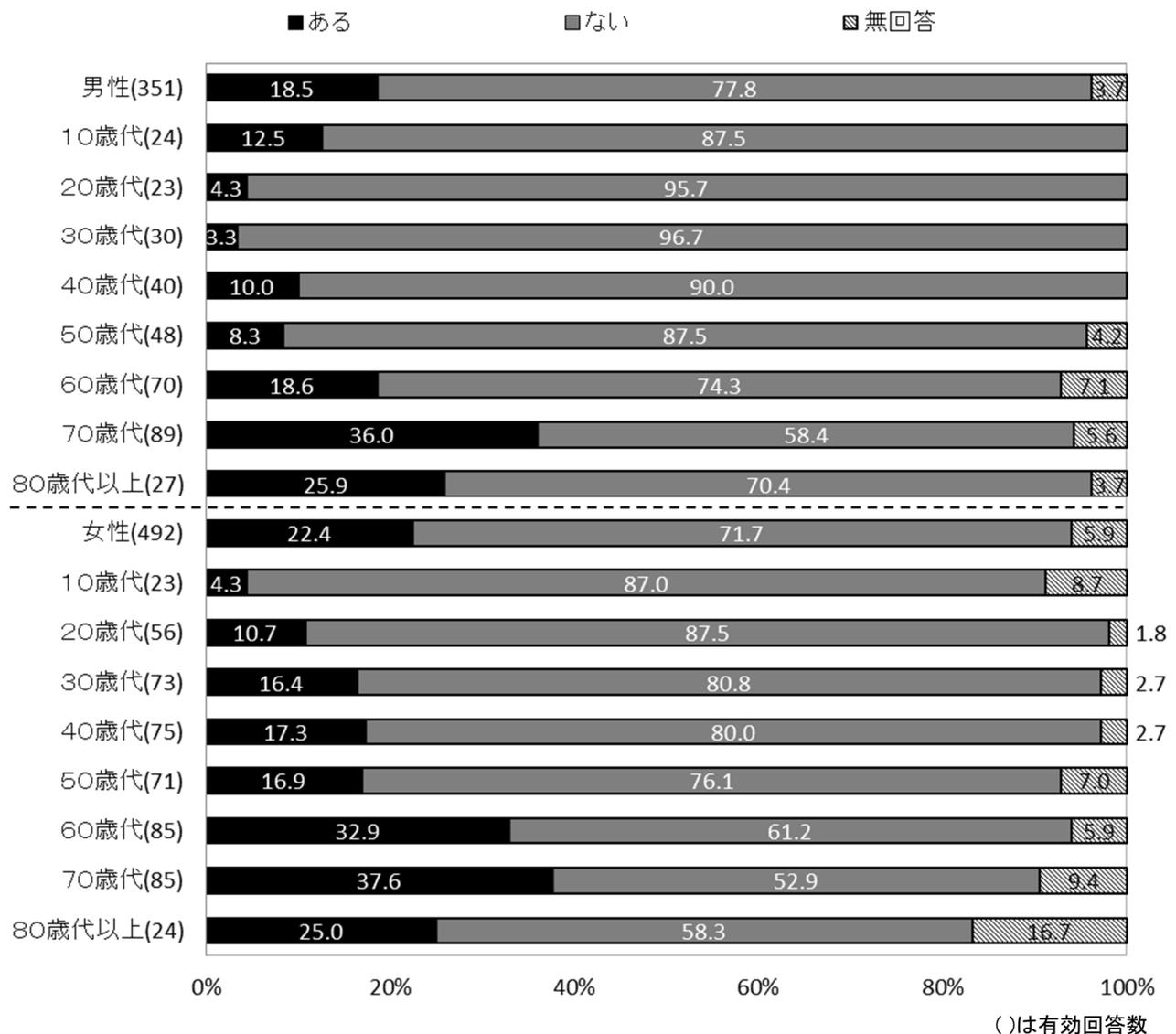
【平成18年調査】



【平成28年調査】



■性別、年齢別にみた「この1年間の市が行う講座、教室への参加状況」

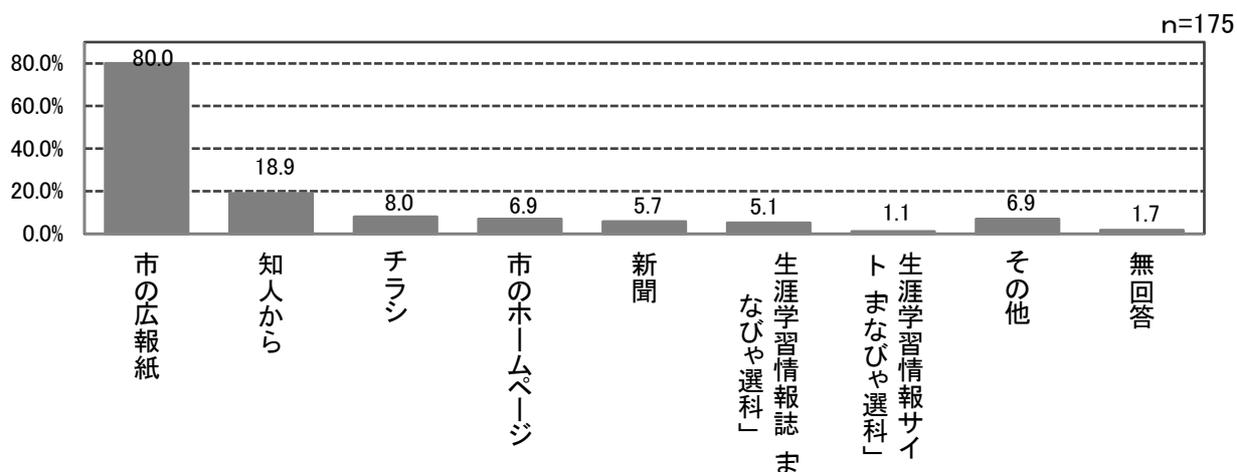


(結果の概要)

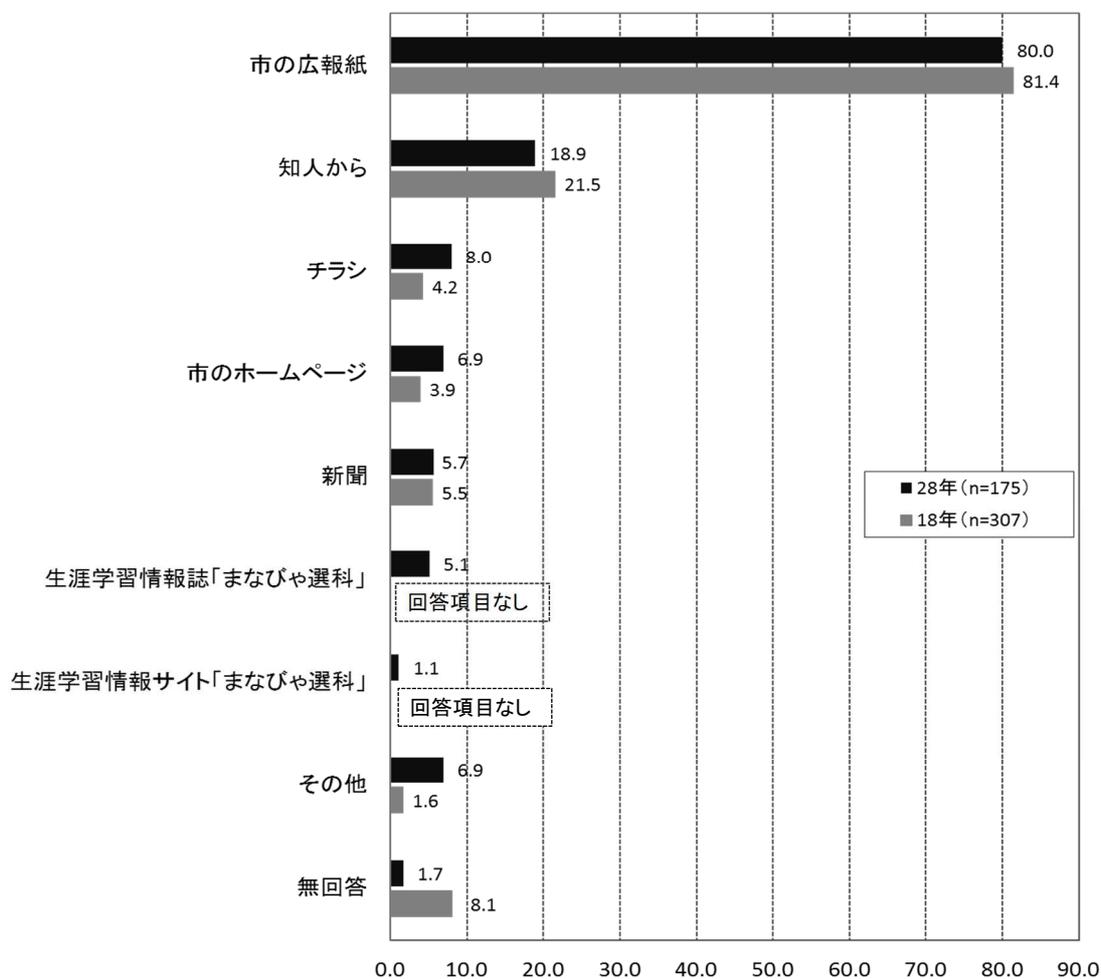
- ・この1年間に公民館、ふれあいセンターなどで、市が行う講座、教室に参加したことがあるかの問いに対して、「ある」と答えた人の割合は20.7%、「ない」と答えた人は74.3%となっています。
- ・前回調査（平成18年）では、「ある」と答えた人の割合は28.3%、「ない」と答えた人は70.2%でした。前回調査と比べ「ある」と答えた人の割合が低下し、「ない」と答えた人の割合が上昇した結果となっています。
- ・性別にみると、男性は「ある」と答えた人の割合は18.5%、「ない」と答えた人は77.8%となっています。女性は「ある」と答えた人の割合は22.4%、「ない」と答えた人は71.7%となっています。女性の方が参加したことが「ある」と答えた人の割合が高い結果となっています。
- ・性別年齢別にみると、男性・女性ともに60歳代以上で「ある」と答えた人の割合が他の年代に比べ高い結果となっています。

【問5で「1 ある」とお答えられた方にお聞きします。】

問5-1 講座等の案内をどのようなものでお知りになりましたか。【複数回答】



■ 前回調査(平成18年)と今回調査(平成28年)との比較

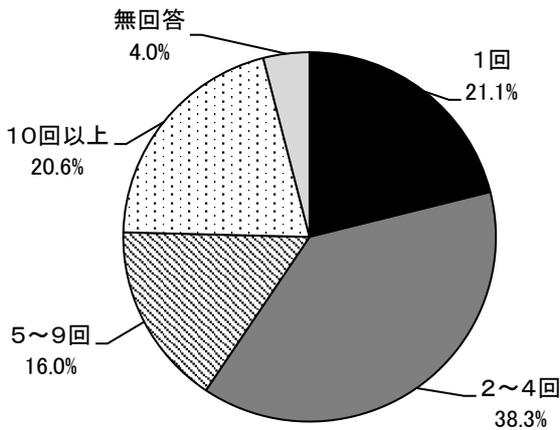


(結果の概要)

- ・ 講座等の案内をどのようなもので知ったかとの問いに対して、「市の広報紙」と答えた人の割合が圧倒的に高く 80.0%となっており、2番目は「知人から」で 18.9%となっています。
- ・ 前回調査(平成18年)でも、「市の広報紙」と答えた人の割合が高く 81.4%となっており、傾向に大きな変化はありません。

問5-2 この1年間に何回くらい参加しましたか。【単数回答】

n=175

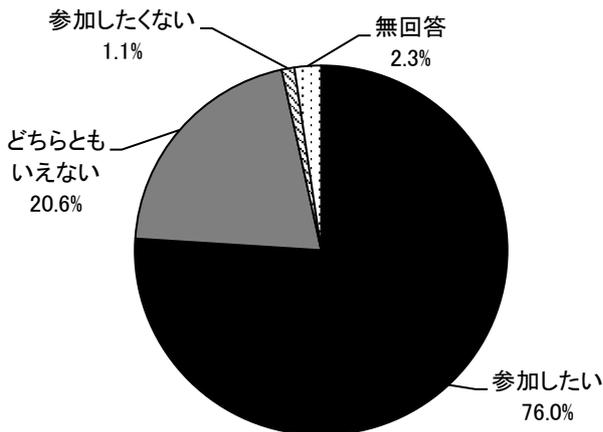


(結果の概要)

- ・この1年間に何回くらい参加したかとの問いに対して、「2~4回」と答えた人の割合が最も高く38.3%となっています。2番目は「1回」で21.1%、3番目は「10回以上」で20.6%となっています。

問5-3 公民館などの講座に今後も参加したいと思いますか。【単数回答】

n=175



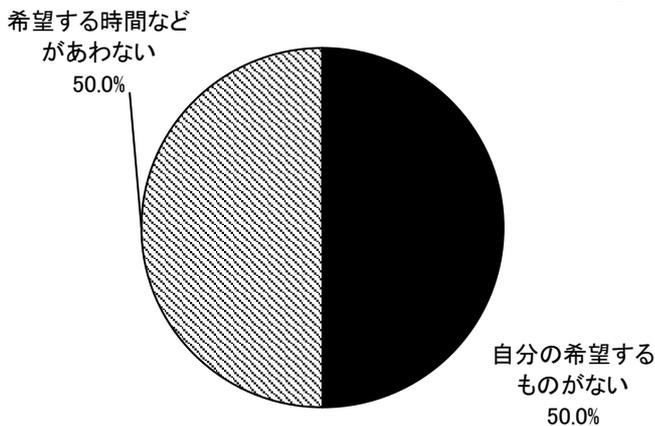
(結果の概要)

- ・公民館などの講座に今後も参加したいかとの問いに対して、「参加したい」と答えた人の割合は76.0%、「参加したくない」は1.1%、「どちらともいえない」は20.6%となっています。

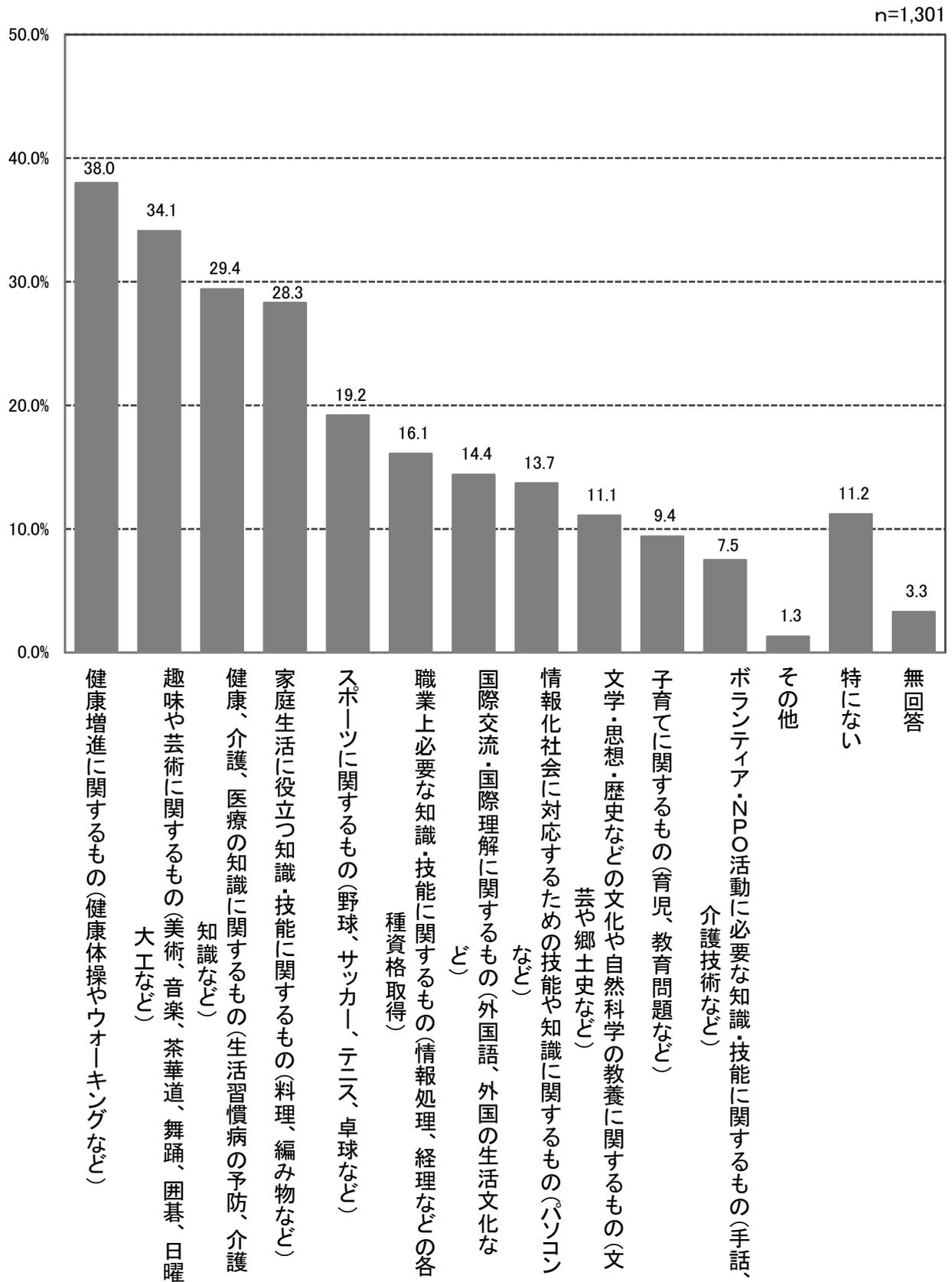
【問5-3で「3 参加したくない」と答えられた方にお聞きします。】

問5-4 その理由はなぜですか。【単数回答】

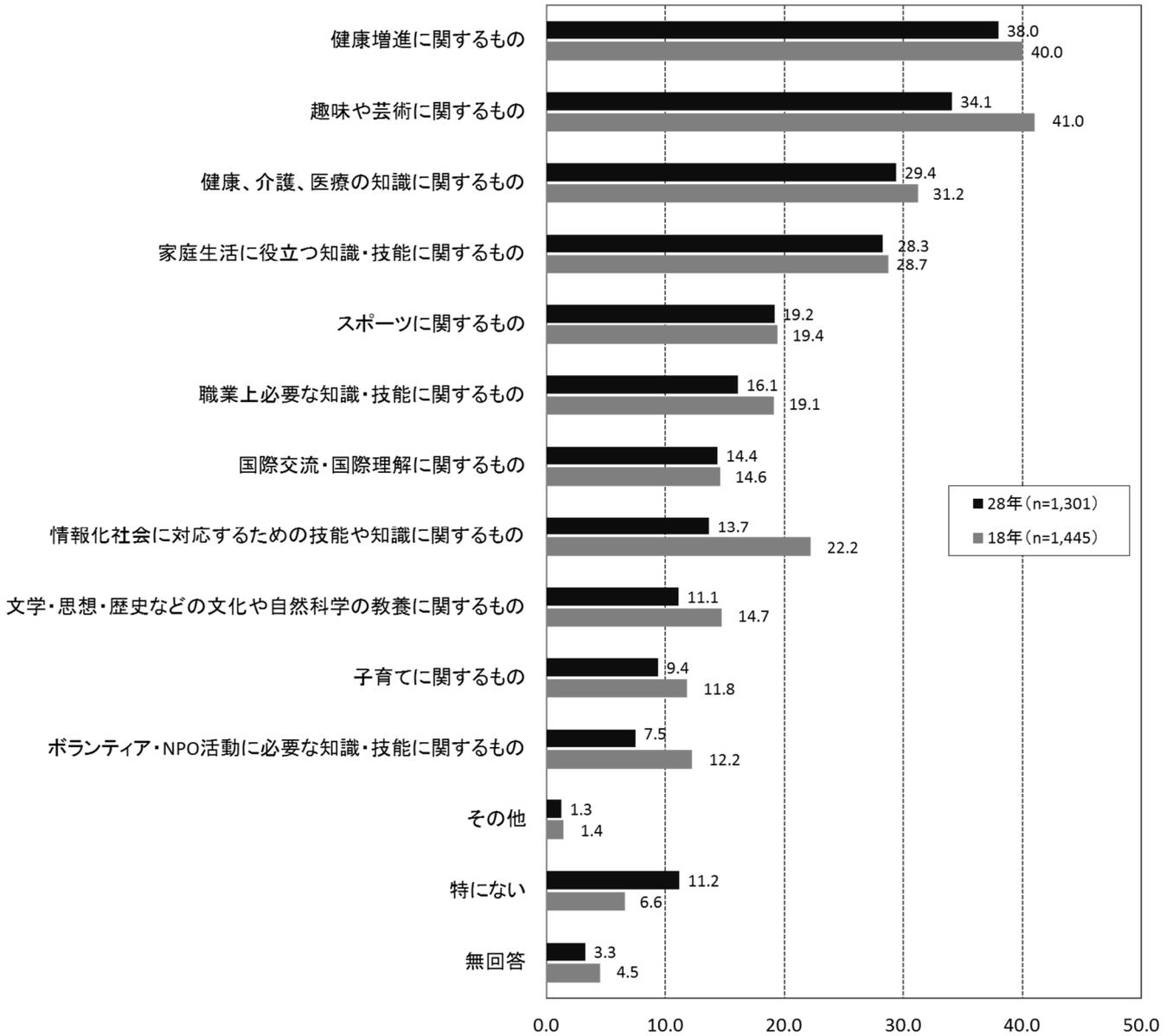
n=2



問6 あなたは、今後どのようなことを学びたいと思いますか。【複数回答】



■ 前回調査(平成 18 年)と今回調査(平成 28 年)との比較



■性別、年齢別にみた「今後学びたいこと」

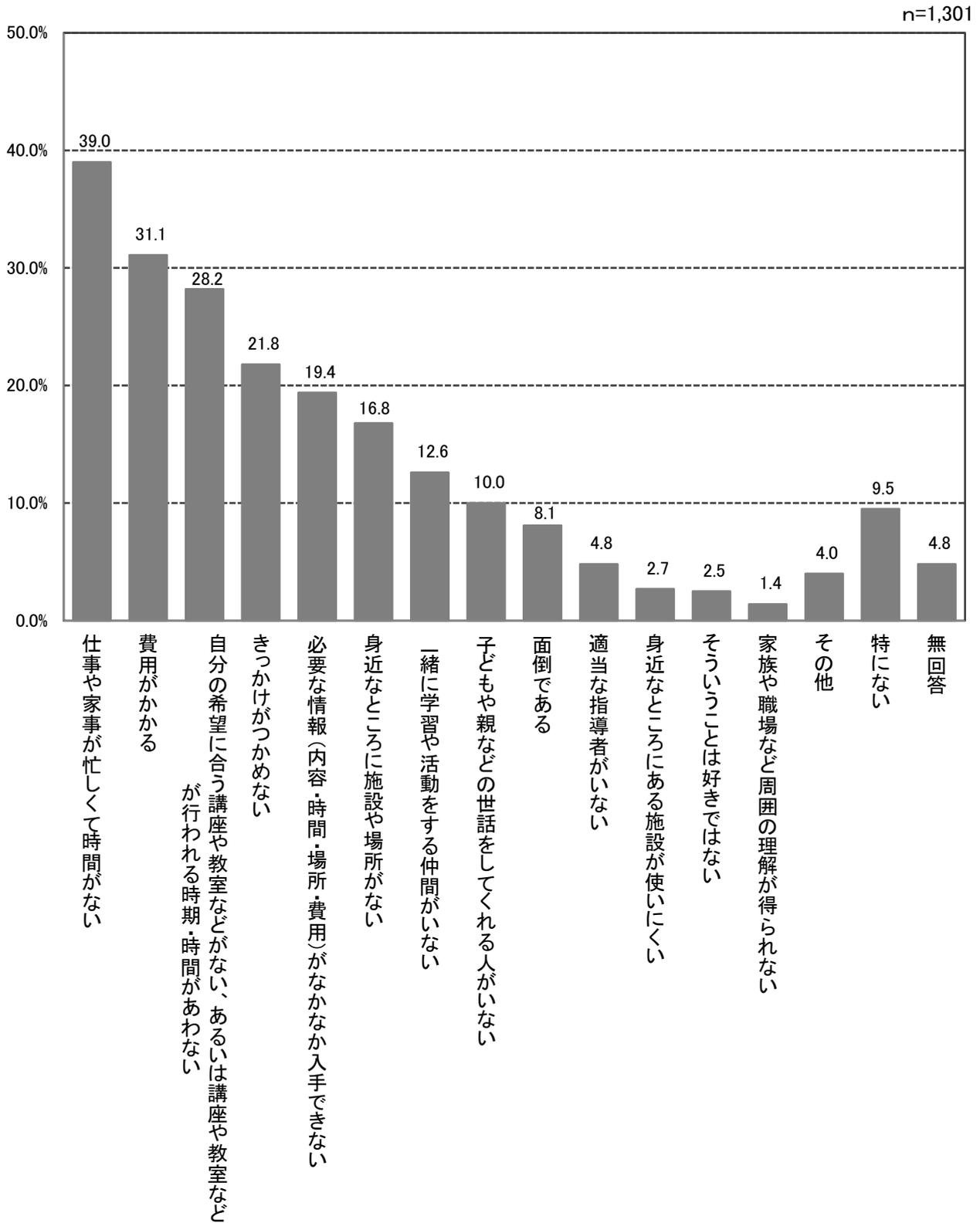
単位：割合（％）

	有効回答数（件）	健康増進に関するもの	趣味や芸術に関するもの	健康、介護、医療の知識に関するもの	家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの	スポーツに関するもの	職業上必要な知識・技能に関するもの	国際交流・国際理解に関するもの	情報化社会に対応するための技能や知識に関するもの	自然科学の教養に関するもの	文学・思想・歴史などの文化や	子育てに関するもの	ボランティア・NPO活動に関するもの	その他	特にない	無回答
男性	538	36.6	34.8	24.7	15.8	23.8	16.5	13.2	13.6	14.7	4.3	4.5	1.5	14.3	2.6	
10歳代	29	6.9	34.5	3.4	17.2	41.4	41.4	27.6	10.3	3.4	3.4	0.0	0.0	10.3	0.0	
20歳代	35	11.4	22.9	11.4	20.0	34.3	37.1	14.3	20.0	2.9	2.9	11.4	0.0	20.0	0.0	
30歳代	45	24.4	26.7	13.3	28.9	42.2	40.0	24.4	15.6	8.9	17.8	4.4	2.2	11.1	0.0	
40歳代	62	32.3	38.7	24.2	19.4	29.0	37.1	21.0	9.7	12.9	16.1	8.1	3.2	9.7	1.6	
50歳代	81	40.7	40.7	34.6	27.2	27.2	18.5	16.0	14.8	22.2	2.5	2.5	0.0	8.6	1.2	
60歳代	111	45.9	46.8	30.6	15.3	26.1	7.2	10.8	18.0	18.0	0.9	5.4	0.9	12.6	1.8	
70歳代	129	45.0	27.1	24.0	5.4	10.9	0.0	6.2	11.6	18.6	0.0	3.9	3.1	17.8	5.4	
80歳代以上	46	39.1	28.3	30.4	4.3	4.3	0.0	2.2	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	26.1	6.5	
女性	759	39.0	33.9	32.9	37.3	16.1	15.8	15.3	13.8	8.4	13.0	9.7	1.2	8.8	3.7	
10歳代	35	11.4	28.6	22.9	54.3	34.3	42.9	34.3	22.9	2.9	8.6	14.3	2.9	5.7	0.0	
20歳代	78	20.5	29.5	14.1	47.4	17.9	29.5	20.5	14.1	6.4	33.3	6.4	0.0	11.5	1.3	
30歳代	110	33.6	37.3	24.5	63.6	26.4	36.4	25.5	15.5	10.0	46.4	10.0	0.0	3.6	0.0	
40歳代	118	40.7	43.2	25.4	41.5	25.4	16.1	16.9	7.6	5.9	11.9	12.7	2.5	7.6	0.0	
50歳代	112	48.2	42.0	37.5	31.3	14.3	17.9	20.5	22.3	8.0	4.5	10.7	0.0	8.0	0.0	
60歳代	128	53.9	30.5	44.5	28.9	10.2	2.3	8.6	11.7	10.9	0.0	12.5	0.8	10.2	4.7	
70歳代	132	39.4	27.3	42.4	22.7	4.5	0.0	3.8	13.6	11.4	0.0	7.6	3.0	9.1	11.4	
80歳代以上	46	34.8	21.7	41.3	13.0	4.3	0.0	2.2	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	19.6	13.0	

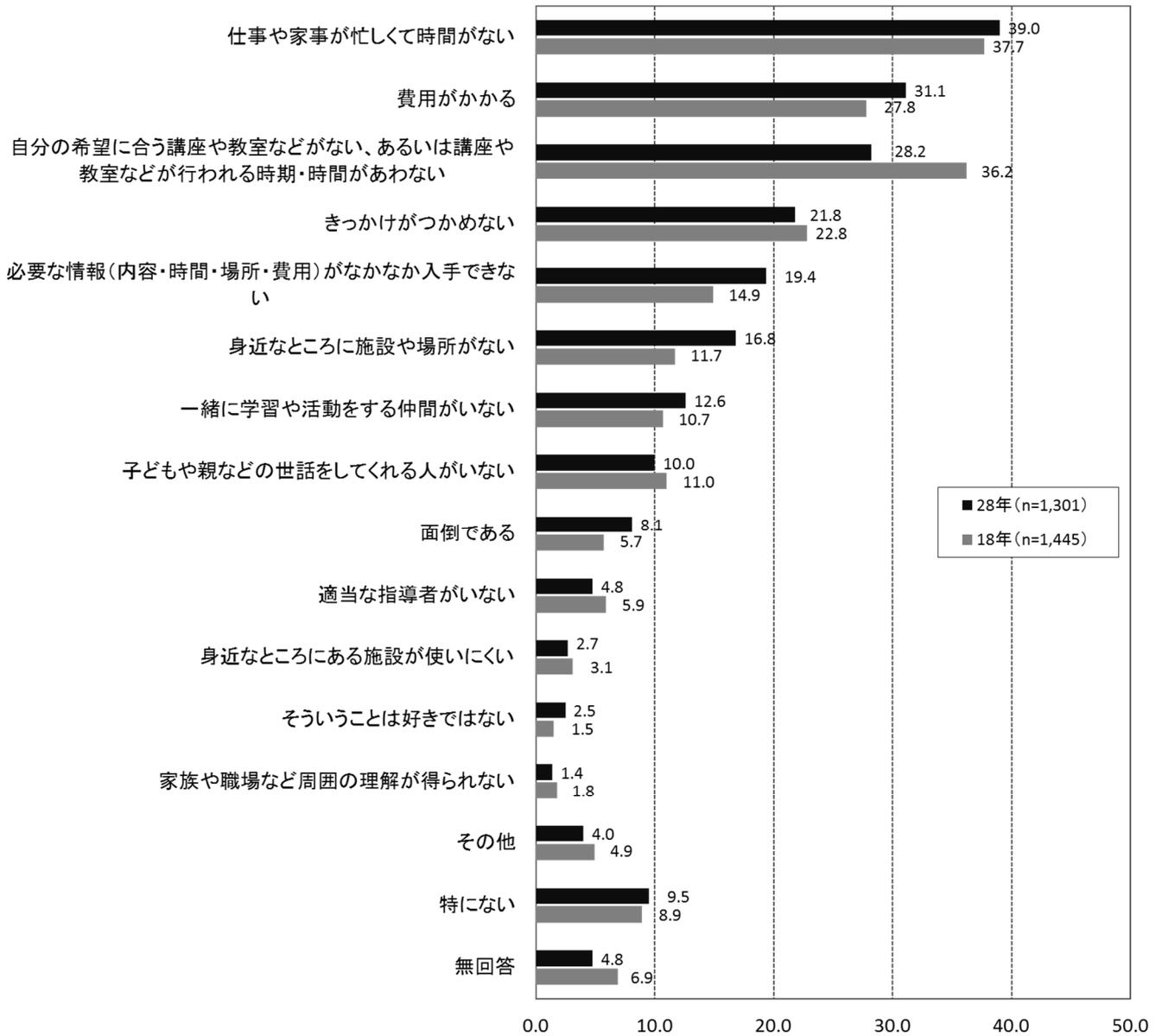
（結果の概要）

- ・今後どのようなことを学びたいと思うかとの問いに対して、「健康増進に関するもの」と答えた人の割合が最も高く38.0%となっています。2番目は「趣味や芸術に関するもの」で34.1%、3番目は「健康、介護、医療の知識に関するもの」で29.4%となっています。
- ・前回調査（平成18年）では、「趣味や芸術に関するもの」と答えた人の割合が最も高く41.0%、2番目は「健康増進に関するもの」で40.0%、3番目は「健康、介護、医療の知識に関するもの」で31.2%でした。前回調査と比較して「趣味や芸術に関するもの」が41.0%から34.1%に低下する結果となっています。
- ・性別にみると、男性は回答割合の高い方から「健康増進に関するもの」「趣味や芸術に関するもの」「健康、介護、医療の知識に関するもの」の順となっています。女性は「健康増進に関するもの」「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの」「趣味や芸術に関するもの」の順となっています。
- ・性別年齢別にみると、男性の10歳代から30歳代は「スポーツに関するもの」「職業上必要な知識・技能に関するもの」、40歳代から60歳代は「趣味や芸術に関するもの」、70歳代以上は「健康増進に関するもの」と答えた人の割合が最も高くなっています。女性の10歳代から30歳代は「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの」、40歳代は「趣味や芸術に関するもの」、50歳代・60歳代は「健康増進に関するもの」、70歳代以上は「健康、介護、医療の知識に関するもの」と答えた人の割合が最も高くなっています。

問7 あなたが、生涯学習に取り組もうとする際、どのようなことが妨げになっていますか。
【複数回答】



■ 前回調査(平成 18 年)と今回調査(平成 28 年)との比較



■性別、年齢別にみた「生涯学習に取り組もうとする際に妨げとなること」

単位：割合(%)

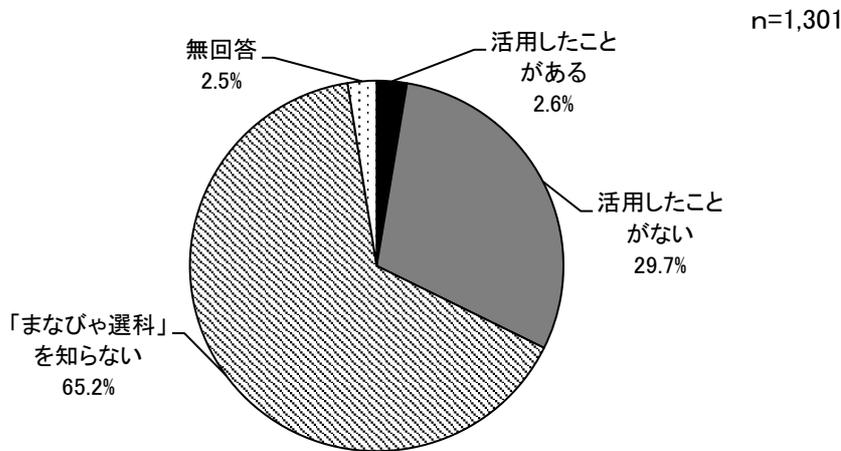
	有効回答数(件)	仕事や家事が忙しくて時間がない	費用がかかる	自分の希望に合う講座や教室などが行われる時期・時間があわない	自分の希望に合う講座や教室がない、あるいは講座や教室などが行われる時期・時間があわない	必要な情報(内容・時間・場所)がなかなか入手できない	身近なところにある施設が使いにくい	一緒に学習や活動をする仲間がい	子どもや親などの世話をしてくれ	面倒である	適当な指導者がいない	身近なところに施設や場所がない	そういうことは好きではない	家族や職場など周囲の理解が得られない	その他	特にな	無回答
男性	538	35.9	30.1	18.2	21.6	24.0	2.6	13.9	5.2	8.7	5.4	14.7	2.6	1.1	3.9	12.5	4.5
10歳代	29	48.3	44.8	6.9	10.3	10.3	0.0	13.8	3.4	13.8	3.4	13.8	0.0	3.4	3.4	13.8	0.0
20歳代	35	40.0	51.4	11.4	28.6	34.3	0.0	17.1	5.7	14.3	11.4	20.0	0.0	2.9	5.7	5.7	0.0
30歳代	45	64.4	57.8	13.3	8.9	37.8	0.0	15.6	17.8	11.1	2.2	13.3	0.0	0.0	2.2	11.1	0.0
40歳代	62	61.3	41.9	24.2	24.2	29.0	6.5	16.1	14.5	11.3	6.5	21.0	1.6	4.8	6.5	3.2	3.2
50歳代	81	66.7	25.9	17.3	30.9	25.9	2.5	8.6	2.5	7.4	3.7	14.8	1.2	1.2	0.0	4.9	1.2
60歳代	111	28.8	25.2	20.7	19.8	27.0	0.0	12.6	2.7	9.0	9.0	13.5	3.6	0.0	0.9	12.6	4.5
70歳代	129	7.8	19.4	19.4	23.3	18.6	5.4	17.1	2.3	4.7	3.1	17.1	3.9	0.0	5.4	18.6	7.8
80歳代以上	46	4.3	10.9	19.6	15.2	8.7	2.2	10.9	0.0	8.7	4.3	0.0	6.5	0.0	10.9	26.1	13.0
女性	759	41.1	31.8	35.3	22.0	16.2	2.8	11.7	13.4	7.6	4.5	18.4	2.4	1.6	4.1	7.2	5.0
10歳代	35	37.1	54.3	20.0	17.1	20.0	2.9	17.1	2.9	2.9	5.7	22.9	5.7	0.0	8.6	11.4	2.9
20歳代	78	51.3	46.2	30.8	21.8	17.9	3.8	21.8	17.9	14.1	3.8	24.4	6.4	0.0	1.3	2.6	1.3
30歳代	110	64.5	43.6	38.2	25.5	23.6	3.6	12.7	46.4	6.4	8.2	12.7	0.9	1.8	0.9	2.7	0.0
40歳代	118	65.3	44.1	42.4	21.2	11.9	0.8	10.2	17.8	8.5	1.7	14.4	0.0	2.5	0.8	4.2	0.0
50歳代	112	53.6	33.9	40.2	32.1	19.6	2.7	12.5	5.4	7.1	4.5	18.8	0.9	2.7	1.8	5.4	1.8
60歳代	128	20.3	25.0	36.7	25.0	15.6	2.3	7.8	5.5	8.6	3.9	18.8	2.3	1.6	8.6	9.4	3.9
70歳代	132	18.2	10.6	33.3	14.4	12.1	4.5	8.3	1.5	6.1	4.5	22.0	3.0	0.8	3.0	13.6	13.6
80歳代以上	46	2.2	4.3	19.6	8.7	8.7	0.0	10.9	0.0	4.3	4.3	17.4	4.3	2.2	17.4	10.9	23.9

(結果の概要)

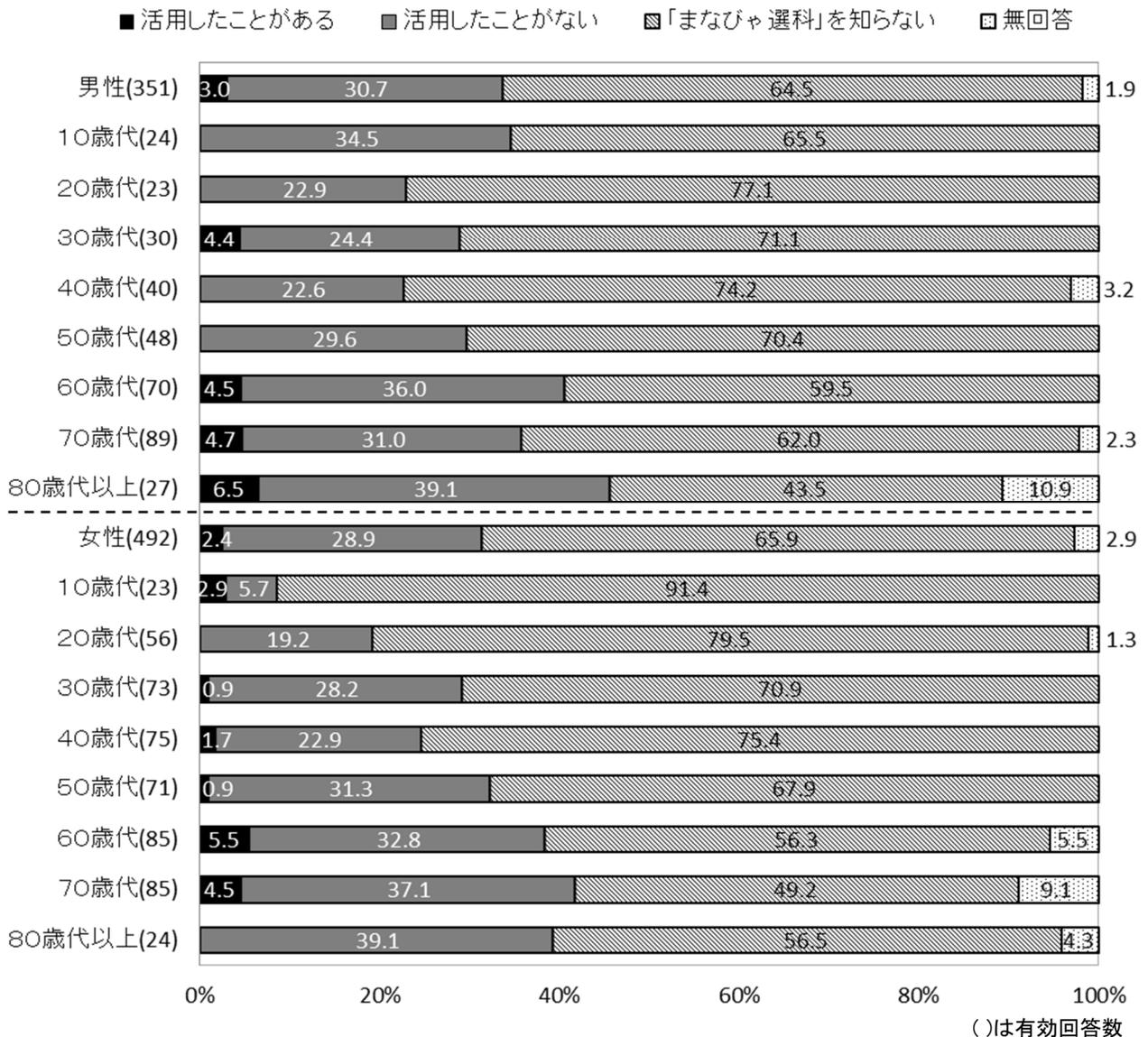
- ・生涯学習に取り組もうとする際、どのようなことが妨げになるかの問いに対して、「仕事や家事が忙しくて時間がない」と答えた人の割合が最も高く39.0%となっています。2番目は「費用がかかる」で31.1%、3番目は「自分の希望に合う講座や教室などが行われる時期・時間があわない」で28.2%となっています。
- ・前回調査(平成18年)では、「仕事や家事が忙しくて時間がない」と答えた人の割合が最も高く37.7%、2番目は「自分の希望に合う講座や教室などが行われる時期・時間があわない」で36.2%、3番目は「費用がかかる」で27.8%でした。前回調査と比較して「費用がかかる」が27.8%から31.1%に上昇し、「自分の希望に合う講座や教室などが行われる時期・時間があわない」が36.2%から28.2%に低下する結果となっています。
- ・性別にみると、男性は回答割合の高い方から「仕事や家事が忙しくて時間がない」「費用がかかる」「必要な情報がなかなか入手できない」の順となっています。女性は「仕事や家事が忙しくて時間がない」「自分の希望に合う講座や教室などが行われる時期・時間があわない」「費用がかかる」の順となっています。
- ・性別年齢別にみると、男性は10歳代・30歳代から60歳代は「仕事や家事が忙しくて時間がない」、20歳代は「費用がかかる」と答えた人の割合が最も高くなっています。女性は10歳代が「費用がかかる」、20歳代から50歳代は「仕事や家事が忙しくて時間がない」、60歳代・70歳代は「自分の希望に合う講座や教室などが行われる時期・時間があわない」と答えた人の割合が最も高くなっています。

(3)市の生涯学習への取り組みについて

問8 市が発行している生涯学習情報誌「まなびや選科」を活用したことがありますか。
【単数回答】



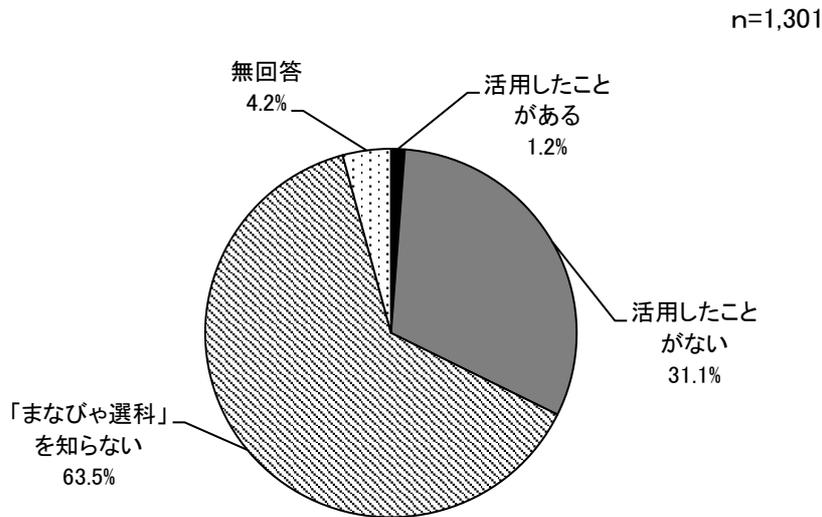
■性別、年齢別にみた「生涯学習情報誌『まなびや選科』の活用状況」について



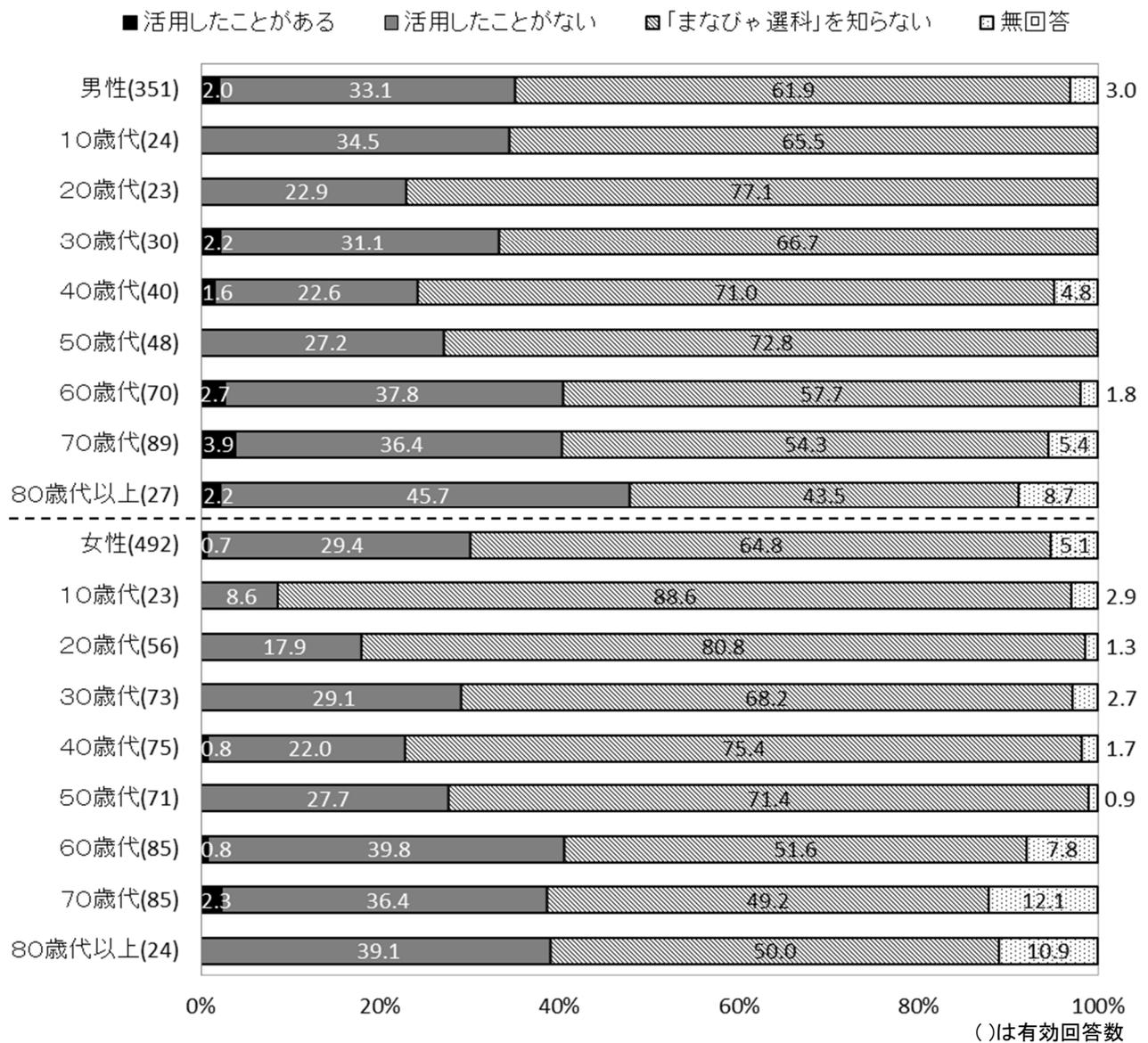
(結果の概要)

- ・市が発行している生涯学習情報誌「まなびや選科」を活用したことがあるか問いに対して、「活用したことがある」と答えた人の割合は2.6%、「活用したことがない」は29.7%、「『まなびや選科』を知らない」は65.2%となっています。
- ・生涯学習情報誌「まなびや選科」を「活用したことがない」と「『まなびや選科』を知らない」で、90%超となっています。

問9 市ホームページの中にある生涯学習情報サイト「まなびや選科」を活用したことがありますか。【単数回答】



■性別、年齢別にみた「生涯学習情報サイト『まなびや選科』の活用状況」について



(結果の概要)

- ・市ホームページの中にある生涯学習情報サイト「まなびや選科」を活用したことがあるかの問題に対して、「活用したことがある」と答えた人の割合は1.2%、「活用したことがない」は31.1%、「『まなびや選科』を知らない」は63.5%となっています。
- ・生涯学習情報サイト「まなびや選科」を「活用したことがない」と「『まなびや選科』を知らない」で、90%超となっています。

問 10 春日井市における生涯学習の取り組みについて、あなたの現状の満足度と今後の重要度についてお答えください。【単数回答】

○現状の満足度「評価基準」

回 答	点 数
満 足	2 点
やや満足	1 点
普 通	0 点
やや不満	-1 点
不 満	-2 点

○今後の重要度「評価基準」

回 答	点 数
重 要	2 点
やや重要	1 点
どちらともいえない	0 点
あまり重要でない	-1 点
重要でない	-2 点

・市の生涯学習への取り組みについて、現状の満足度と今後の重要度を上記表のとおり点数化し、その程度を分析しました。

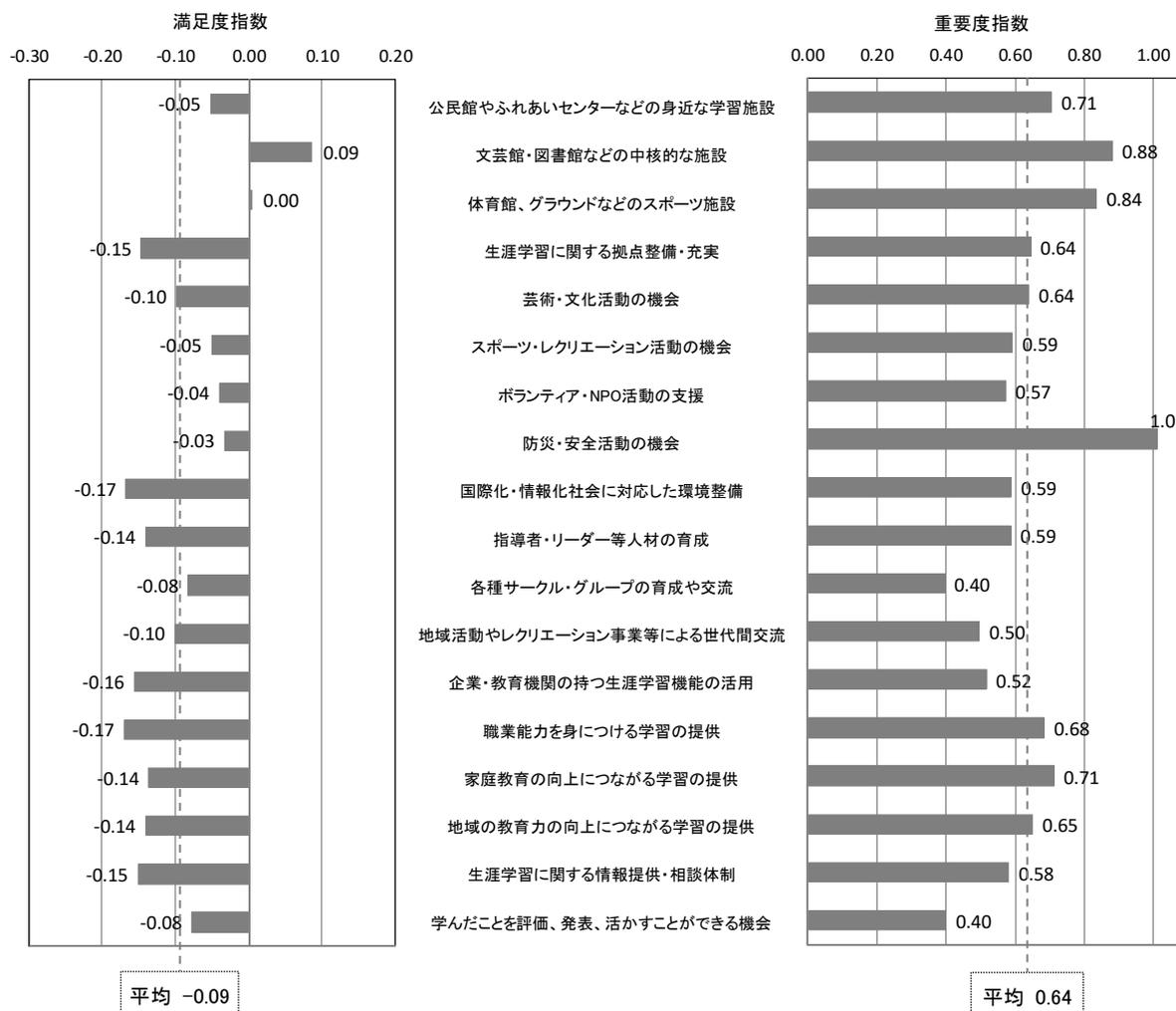
《点数化の説明》

たとえば下記の「公民館やふれあいセンターなどの身近な学習施設」の満足度指数-0.05 は、

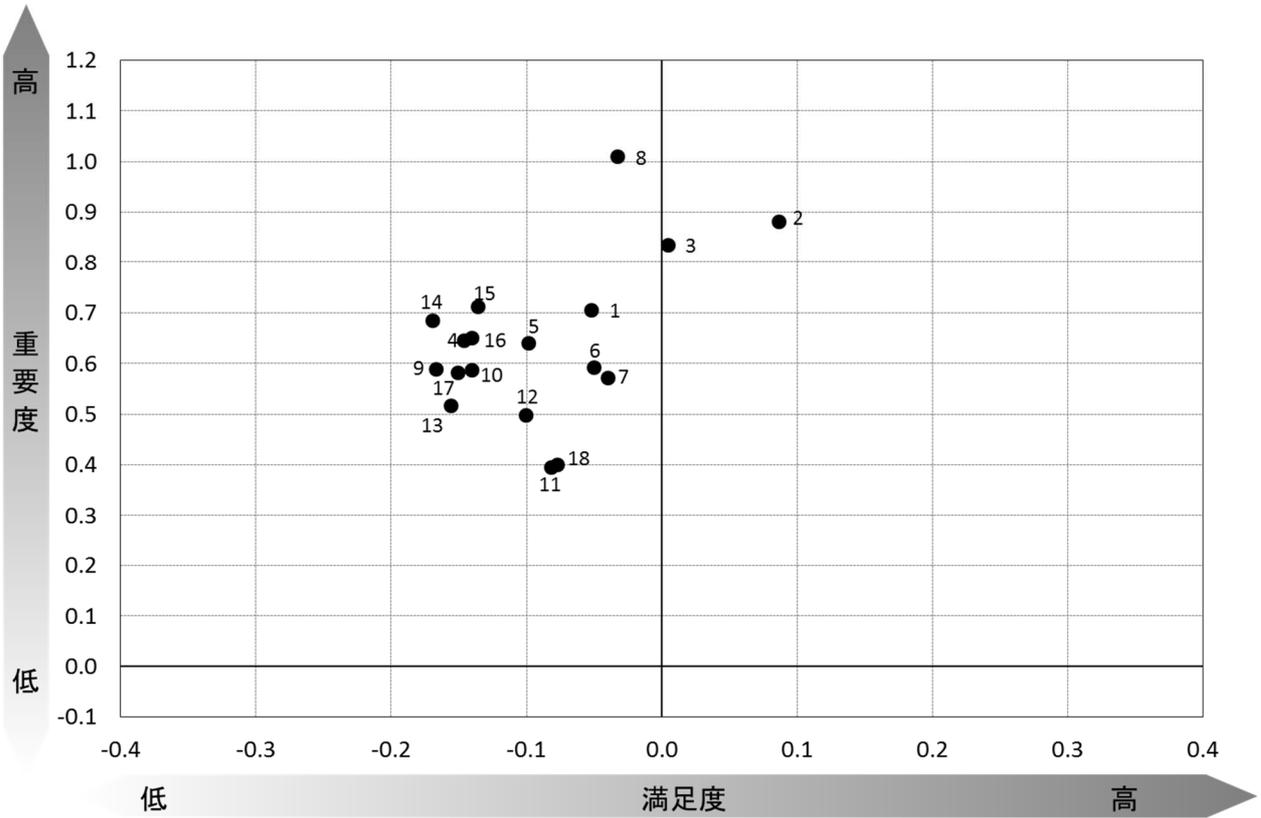
$$[(51 \text{ 人} \times 2 \text{ 点}) + (115 \text{ 人} \times 1 \text{ 点}) + (760 \text{ 人} \times 0 \text{ 点}) + (154 \text{ 人} \times (-1 \text{ 点})) + (61 \text{ 人} \times (-2 \text{ 点}))] \div \text{設問毎の有効回答人数}(1,141 \text{ 人}) = -0.05$$
 となります。

■施策ごとの満足度指数及び重要度指数

【全体評価】



【全体評価: 散布図】

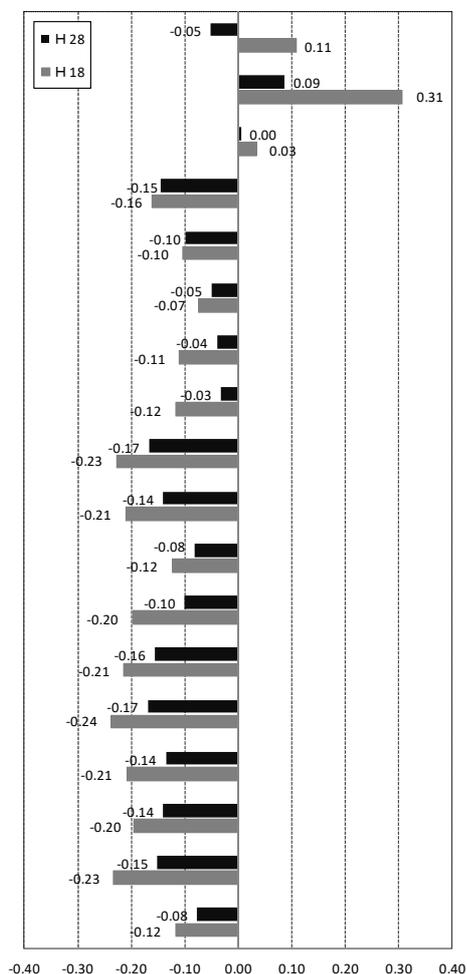


凡例	
1 公民館やふれあいセンターなどの身近な学習施設	10 指導者・リーダー等人材の育成
2 文芸館・図書館などの中核的な施設	11 各種サークル・グループの育成や交流
3 体育館、グラウンドなどのスポーツ施設	12 地域活動やレクリエーション事業等による世代間交流
4 生涯学習に関する拠点整備・充実	13 企業・教育機関の持つ生涯学習機能の活用
5 芸術・文化活動の機会	14 職業能力を身につける学習の提供
6 スポーツ・レクリエーション活動の機会	15 家庭教育の向上につながる学習の提供
7 ボランティア・NPO活動の支援	16 地域の教育力の向上につながる学習の提供
8 防災・安全活動の機会	17 生涯学習に関する情報提供・相談体制
9 国際化・情報化社会に対応した環境整備	18 学んだことを評価、発表、活かすことができる機会

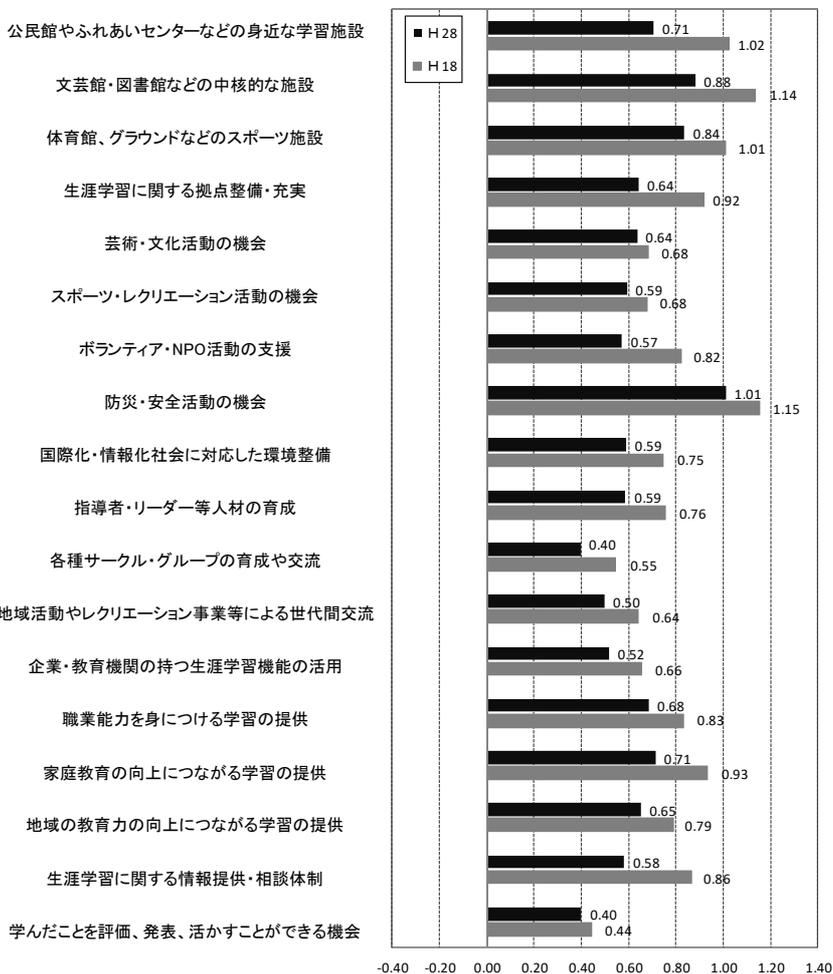
■ 前回調査(H18)と今回調査(H28)との比較

項目	現状の満足度			今後の重要度		
	H18	→	H28	H18	→	H28
1 公民館やふれあいセンターなどの身近な学習施設	0.11	↘	-0.05	1.02	↘	0.71
2 文芸館・図書館などの中核的な施設	0.31	↘	0.09	1.14	↘	0.88
3 体育館、グラウンドなどのスポーツ施設	0.03	↘	0.00	1.01	↘	0.84
4 生涯学習に関する拠点整備・充実	-0.16	↗	-0.15	0.92	↘	0.64
5 芸術・文化活動の機会	-0.10	↗	-0.10	0.68	↘	0.64
6 スポーツ・レクリエーション活動の機会	-0.07	↗	-0.05	0.68	↘	0.59
7 ボランティア・NPO活動の支援	-0.11	↗	-0.04	0.82	↘	0.57
8 防災・安全活動の機会	-0.12	↗	-0.03	1.15	↘	1.01
9 国際化・情報化社会に対応した環境整備	-0.23	↗	-0.17	0.75	↘	0.59
10 指導者・リーダー等人材の育成	-0.21	↗	-0.14	0.76	↘	0.59
11 各種サークル・グループの育成や交流	-0.12	↗	-0.08	0.55	↘	0.40
12 地域活動やレクリエーション事業等による世代間交流	-0.20	↗	-0.10	0.64	↘	0.50
13 企業・教育機関の持つ生涯学習機能の活用	-0.21	↗	-0.16	0.66	↘	0.52
14 職業能力を身につける学習の提供	-0.24	↗	-0.17	0.83	↘	0.68
15 家庭教育の向上につながる学習の提供	-0.21	↗	-0.14	0.93	↘	0.71
16 地域の教育力の向上につながる学習の提供	-0.20	↗	-0.14	0.79	↘	0.65
17 生涯学習に関する情報提供・相談体制	-0.23	↗	-0.15	0.86	↘	0.58
18 学んだことを評価、発表、活かすことができる機会	-0.12	↗	-0.08	0.44	↘	0.40

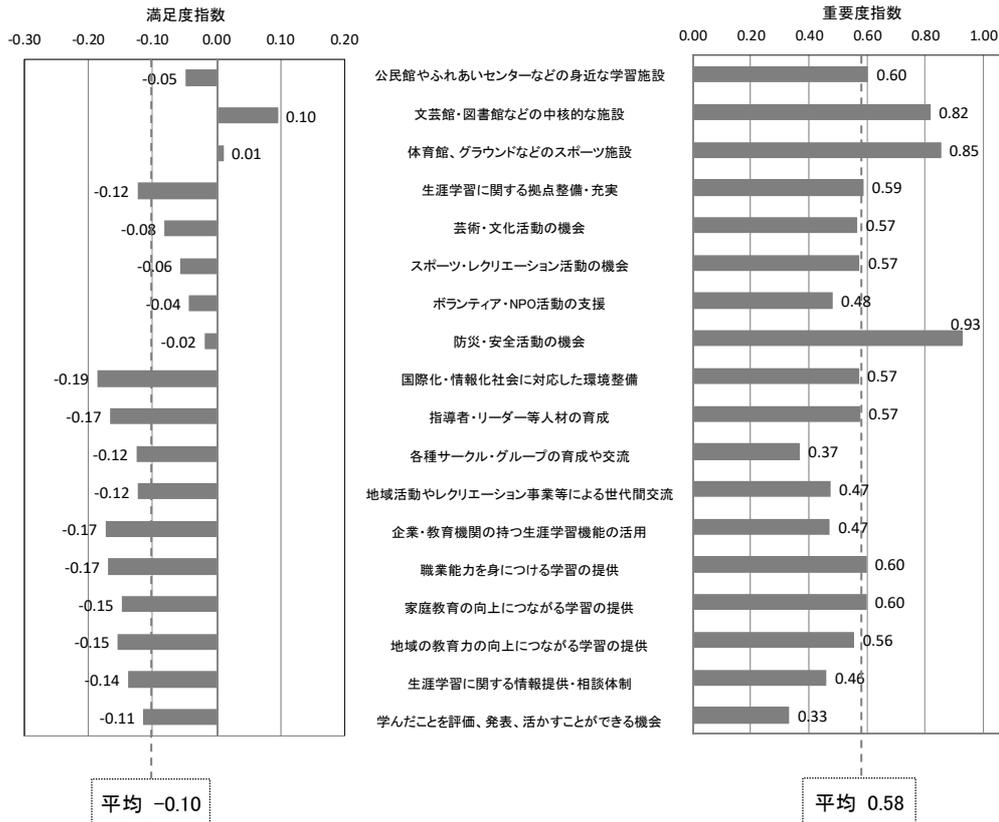
<満足度指数>



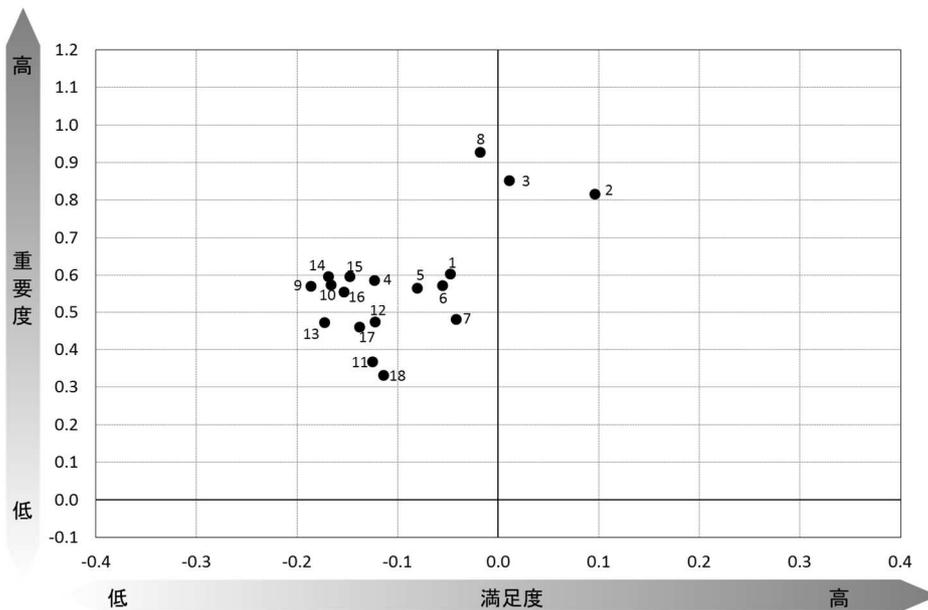
<重要度指数>



【男性全体評価】

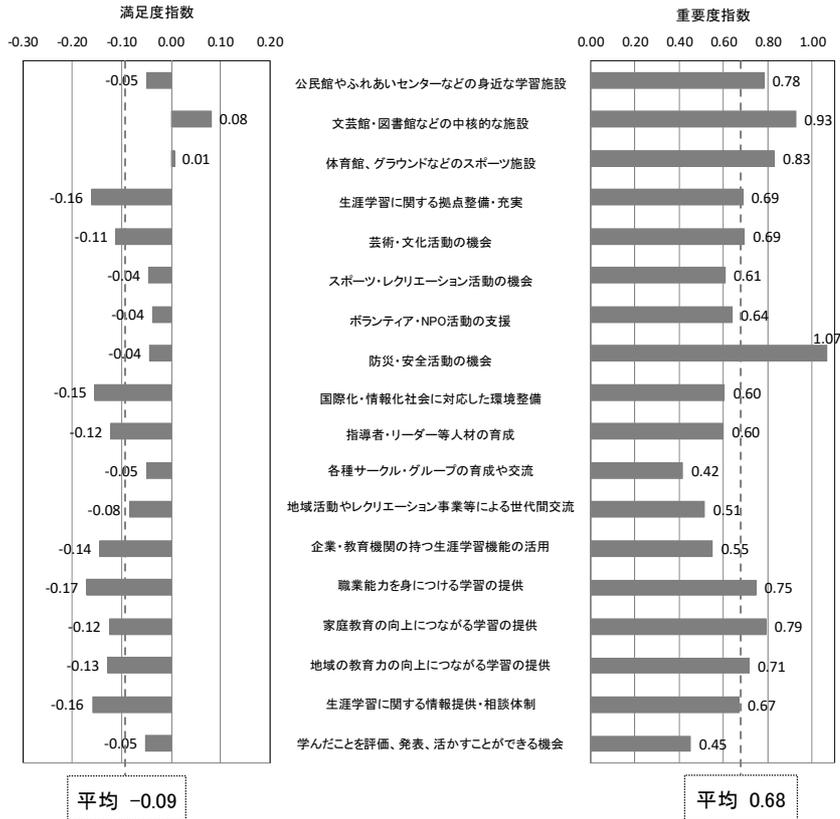


【男性全体評価: 散布図】

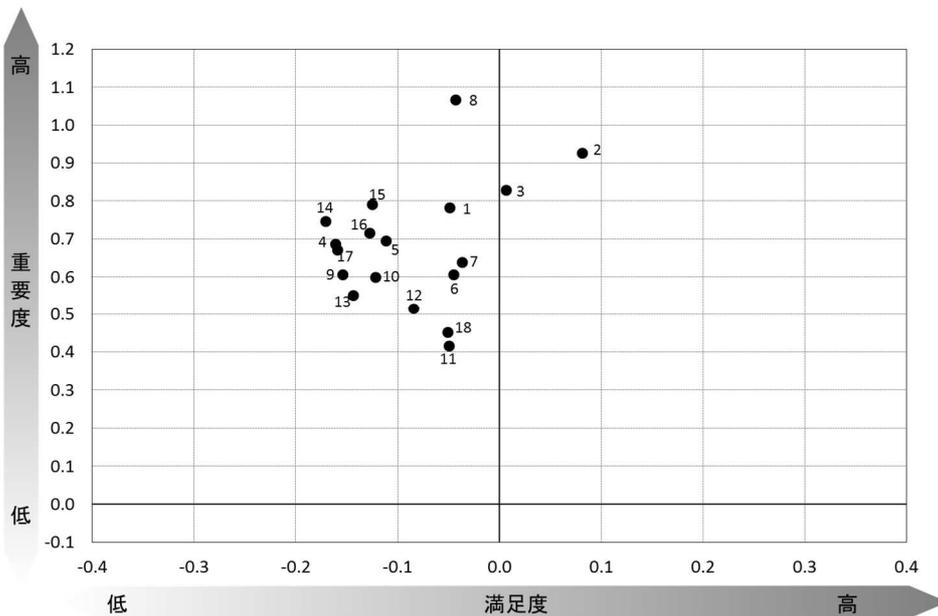


凡例	
1 公民館やふれあいセンターなどの身近な学習施設	10 指導者・リーダー等人材の育成
2 文芸館・図書館などの中核的な施設	11 各種サークル・グループの育成や交流
3 体育館、グラウンドなどのスポーツ施設	12 地域活動やレクリエーション事業等による世代間交流
4 生涯学習に関する拠点整備・充実	13 企業・教育機関の持つ生涯学習機能の活用
5 芸術・文化活動の機会	14 職業能力を身につける学習の提供
6 スポーツ・レクリエーション活動の機会	15 家庭教育の向上につながる学習の提供
7 ボランティア・NPO活動の支援	16 地域の教育力の向上につながる学習の提供
8 防災・安全活動の機会	17 生涯学習に関する情報提供・相談体制
9 国際化・情報化社会に対応した環境整備	18 学んだことを評価、発表、活かすことができる機会

【女性全体評価】



【女性全体評価: 散布図】

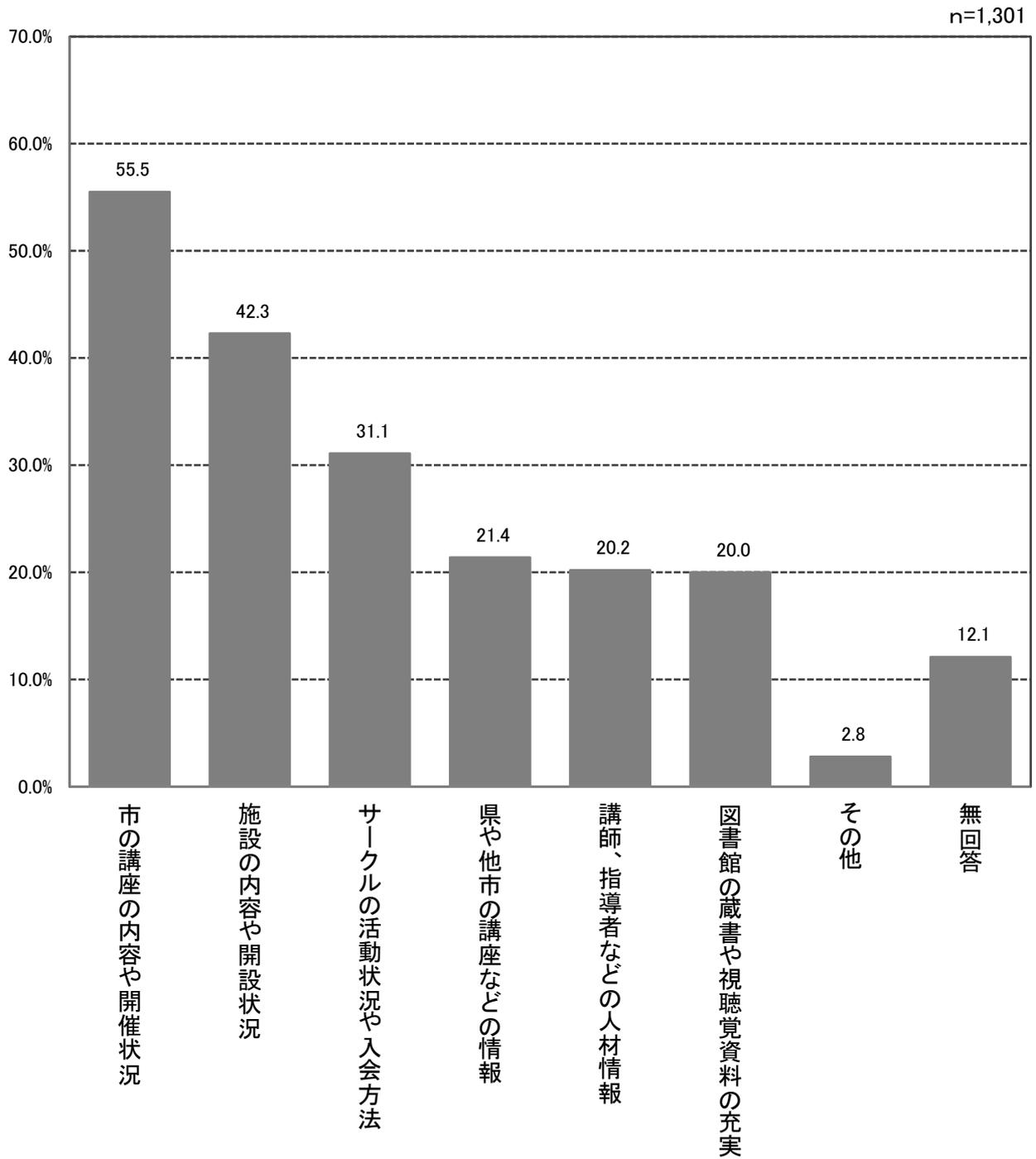


凡例	
1 公民館やふれあいセンターなどの身近な学習施設	10 指導者・リーダー等人材の育成
2 文芸館・図書館などの中核的な施設	11 各種サークル・グループの育成や交流
3 体育館、グラウンドなどのスポーツ施設	12 地域活動やレクリエーション事業等による世代間交流
4 生涯学習に関する拠点整備・充実	13 企業・教育機関の持つ生涯学習機能の活用
5 芸術・文化活動の機会	14 職業能力を身につける学習の提供
6 スポーツ・レクリエーション活動の機会	15 家庭教育の向上につながる学習の提供
7 ボランティア・NPO活動の支援	16 地域の教育力の向上につながる学習の提供
8 防災・安全活動の機会	17 生涯学習に関する情報提供・相談体制
9 国際化・情報化社会に対応した環境整備	18 学んだことを評価、発表、活かすことができる機会

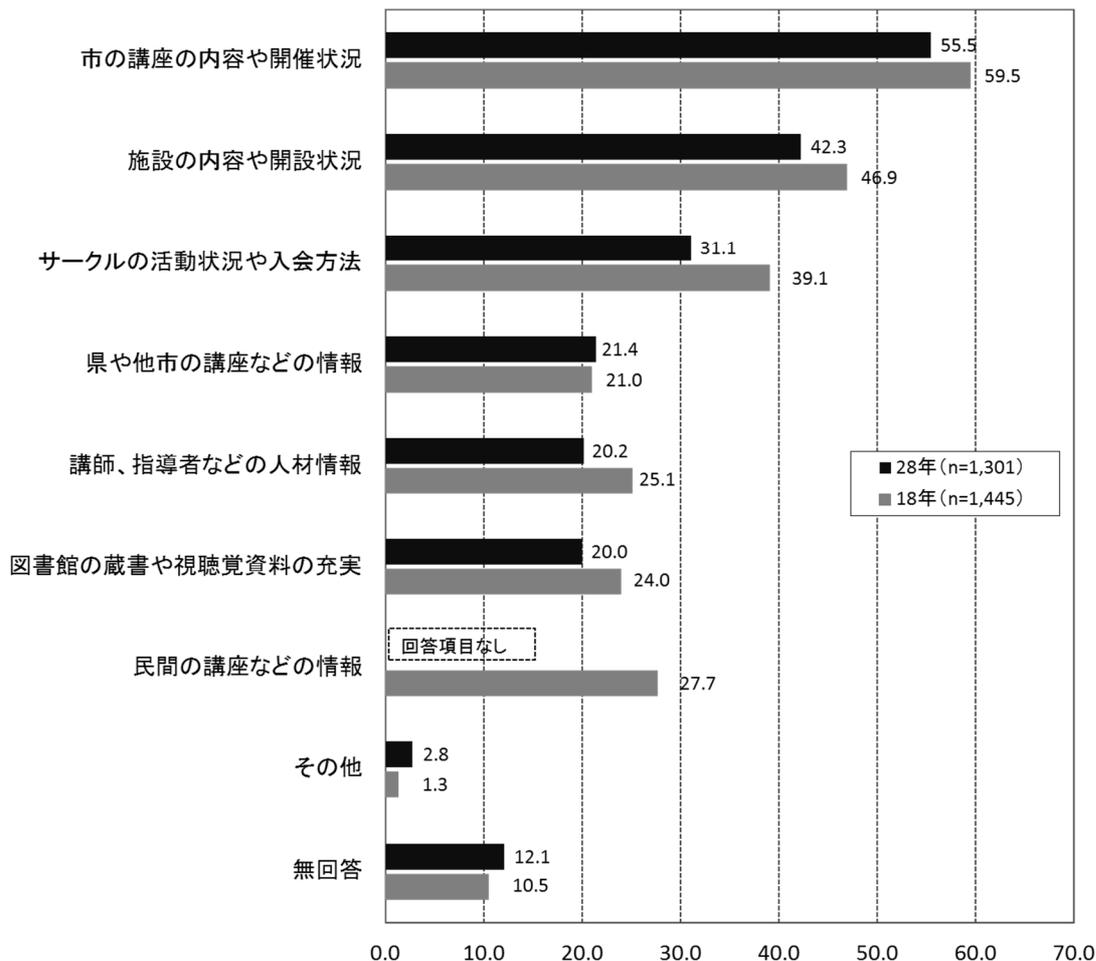
(結果の概要)

- ・市の生涯学習の取り組みに対して、現状の満足度と今後の重要度に関する問いに対して、満足度については「文芸館・図書館などの中核的な施設」のみ満足度指数が0.09とプラスとなっています。一方で「国際化・情報化社会に対応した環境整備」及び「職業能力を身につける学習の提供」は-0.17と最も満足度が低く、2番目は「企業・教育機関の持つ生涯学習機能の活用」で-0.16、3番目は「生涯学習に関する拠点整備・充実」で-0.15となっています。
- ・重要度については「防災・安全活動の機会」が1.01と最も重要度が高く、2番目は「文芸館・図書館などの中核的な施設」で0.88、3番目は「体育館、グラウンドなどのスポーツ施設」で0.84となっています。
- ・前回調査（平成18年）では、「文芸館・図書館などの中核的な施設」が0.31と最も満足度が高かったものが、0.09と低下しています。また、「公民館やふれあいセンターなどの身近な学習施設」が0.11から-0.05、「体育館、グラウンドなどのスポーツ施設」が0.03から0.00と満足度が低下していますが、その他の項目については満足度が向上しています。重要度については、全ての項目で低下する結果となりました。
- ・性別にみると、男性では「文芸館・図書館などの中核的な施設」の満足度が高く、「国際化・情報化社会に対応した環境整備」の満足度が最も低く、女性では「文芸館・図書館などの中核的な施設」の満足度が高く、「職業能力を身につける学習の提供」の満足度が最も低い結果となりました。重要度では、男性は「防災・安全活動の機会」の重要度が最も高く、次いで「体育館、グラウンドなどのスポーツ施設」となり、女性は「防災・安全活動の機会」の重要度が最も高く、次いで「文芸館・図書館などの中核的な施設」との結果となりました。

問 11 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような学習情報が必要だと思いますか。【複数回答】



■ 前回調査(平成 18 年)と今回調査(平成 28 年)との比較



■ 性別、年齢別にみた「今後、生涯学習を盛んにしていくために必要な学習情報」

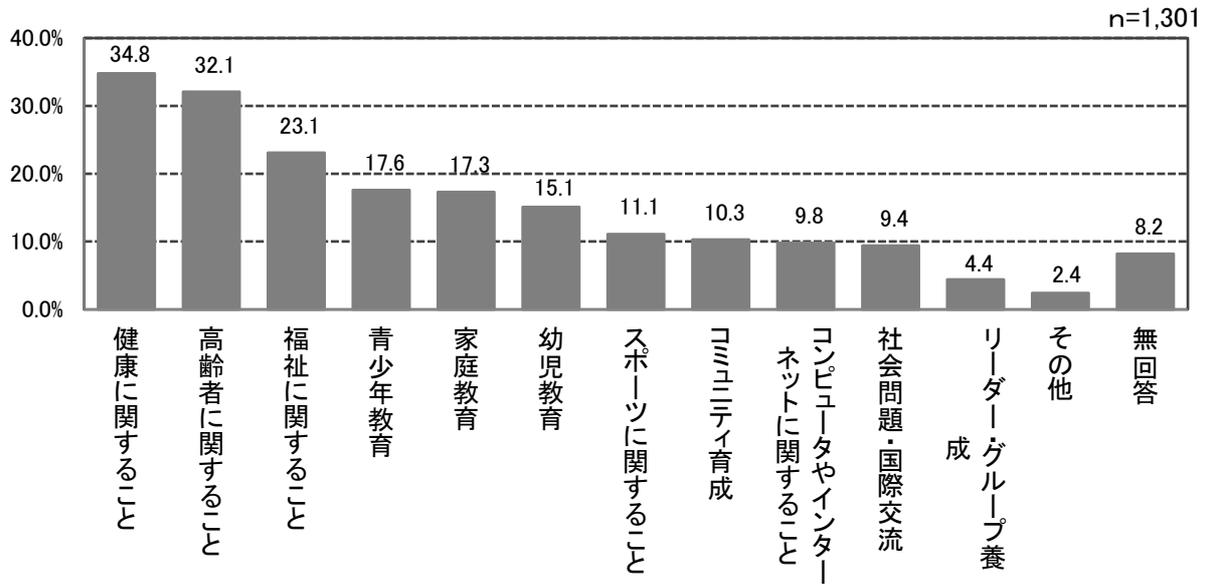
単位: 割合(%)

	有効回答数(件)	市の講座の内容や開催状況	施設の内容や開設状況	サークルの活動状況や入会方法	県や他市の講座などの情報	講師、指導者などの人材情報	図書館の蔵書や視聴覚資料の充実	その他	無回答
男性	538	48.0	40.7	28.1	20.4	19.3	21.2	4.3	11.7
10歳代	29	37.9	44.8	27.6	13.8	17.2	13.8	3.4	3.4
20歳代	35	40.0	48.6	22.9	28.6	28.6	14.3	5.7	2.9
30歳代	45	35.6	42.2	22.2	15.6	15.6	26.7	8.9	4.4
40歳代	62	54.8	50.0	32.3	30.6	21.0	17.7	1.6	6.5
50歳代	81	53.1	43.2	27.2	23.5	22.2	28.4	6.2	4.9
60歳代	111	54.1	45.9	34.2	26.1	10.8	26.1	2.7	9.9
70歳代	129	48.1	35.7	27.9	12.4	20.2	17.8	3.9	20.2
80歳代以上	46	39.1	15.2	19.6	13.0	28.3	15.2	4.3	30.4
女性	759	60.9	43.3	33.3	22.1	20.8	19.2	1.8	12.1
10歳代	35	54.3	51.4	51.4	17.1	28.6	25.7	5.7	0.0
20歳代	78	56.4	52.6	34.6	24.4	25.6	17.9	1.3	5.1
30歳代	110	73.6	49.1	30.0	21.8	15.5	18.2	0.9	4.5
40歳代	118	67.8	43.2	39.8	23.7	20.3	21.2	3.4	1.7
50歳代	112	73.2	54.5	34.8	29.5	24.1	21.4	0.9	6.3
60歳代	128	62.5	38.3	35.9	23.4	15.6	21.9	0.8	14.1
70歳代	132	44.7	34.8	25.8	17.4	21.2	13.6	2.3	28.0
80歳代以上	46	37.0	19.6	19.6	10.9	26.1	17.4	2.2	41.3

(結果の概要)

- ・ 今後、生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような学習情報が必要だと思いかとの問いに対して、「市の講座の内容や開催状況」と答えた人の割合が最も高く 55.5%となっています。2番目は「施設の内容や開設状況」で 42.3%、3番目は「サークルの活動状況や入会方法」で 31.1%となっています。
- ・ 前回調査（平成 18 年）では、「市の講座の内容や開催状況」と答えた人の割合が最も高く 59.5%、2番目は「施設の内容や開設状況」で 46.9%、3番目は「サークルの活動状況や入会方法」で 39.1%でした。前回調査と比較して回答に大きな変化は見られません。
- ・ 性別にみると、男性・女性ともに、回答割合の高い方から「市の講座の内容や開催状況」「施設の内容や開設状況」「サークルの活動状況や入会方法」の順となっています。

問 12 今後、生涯学習を進めていく上で、特にどの分野に力を入れていくべきだと思いますか。【複数回答：2つまで】



■性別、年齢別にみた「今後、生涯学習を進めていく上で、特に力を入れていくべき分野」 単位：割合 (%)

	有効回答数 (件)	健康に関すること	高齢者に関すること	福祉に関すること	青少年教育	家庭教育	幼児教育	スポーツに関すること	コミュニティ育成	コンピュータやインターネットに関すること	社会問題・国際交流	リーダー・グループ養成	その他	無回答
男性	538	33.3	34.9	19.5	19.1	13.4	11.3	15.2	9.7	11.9	10.0	5.2	2.8	7.6
10歳代	29	13.8	24.1	13.8	27.6	10.3	6.9	34.5	10.3	13.8	10.3	3.4	3.4	3.4
20歳代	35	22.9	22.9	40.0	5.7	5.7	8.6	28.6	5.7	22.9	20.0	0.0	2.9	0.0
30歳代	45	28.9	11.1	17.8	24.4	17.8	35.6	35.6	11.1	11.1	11.1	8.9	4.4	2.2
40歳代	62	32.3	22.6	24.2	14.5	17.7	22.6	16.1	12.9	11.3	17.7	6.5	3.2	3.2
50歳代	81	37.0	32.1	9.9	25.9	11.1	12.3	16.0	9.9	17.3	13.6	4.9	0.0	3.7
60歳代	111	41.4	40.5	14.4	22.5	12.6	5.4	12.6	10.8	13.5	8.1	3.6	1.8	9.9
70歳代	129	33.3	45.7	24.0	16.3	14.7	6.2	6.2	9.3	7.0	5.4	6.2	3.1	10.9
80歳代以上	46	32.6	52.2	19.6	13.0	13.0	4.3	2.2	4.3	4.3	2.2	6.5	6.5	19.6
女性	759	35.8	30.2	25.4	16.6	19.9	17.8	8.2	10.8	8.3	9.0	3.8	2.1	8.6
10歳代	35	17.1	20.0	25.7	20.0	20.0	11.4	20.0	20.0	17.1	17.1	5.7	8.6	0.0
20歳代	78	23.1	24.4	12.8	23.1	28.2	41.0	3.8	7.7	12.8	16.7	3.8	1.3	2.6
30歳代	110	27.3	13.6	20.0	21.8	28.2	47.3	13.6	11.8	4.5	10.9	1.8	0.9	1.8
40歳代	118	39.0	29.7	28.8	20.3	15.3	16.1	13.6	12.7	13.6	10.2	2.5	3.4	2.5
50歳代	112	42.9	31.3	33.0	13.4	17.0	7.1	10.7	18.8	8.9	13.4	5.4	1.8	1.8
60歳代	128	45.3	42.2	28.1	8.6	16.4	4.7	3.9	6.3	7.8	3.1	2.3	1.6	14.8
70歳代	132	37.1	34.1	26.5	13.6	18.9	6.1	3.0	8.3	3.8	2.3	6.8	2.3	21.2
80歳代以上	46	37.0	41.3	21.7	19.6	17.4	13.0	0.0	2.2	2.2	6.5	2.2	0.0	19.6

(結果の概要)

- ・ 今後、生涯学習を進めていく上で、特にどの分野に力を入れていくべきだと思いかとの問いに対して、「健康に関すること」と答えた人の割合が最も高く 34.8%となっています。2番目は「高齢者に関すること」で 32.1%、3番目は「福祉に関すること」で 23.1%となっています。
- ・ 性別にみると、男性は回答割合の高い方から「高齢者に関すること」「健康に関すること」「福祉に関すること」の順となっています。女性は「健康に関すること」「高齢者に関すること」「福祉に関すること」の順となっています。
- ・ 性別年齢別にみると、男性の10歳代・30歳代は「スポーツに関すること」、40歳代から60歳代は「健康に関すること」、70歳代以上は「高齢者に関すること」と答えた人の割合が最も高くなっています。女性の10歳代は「福祉に関すること」、20歳代・30歳代は「幼児教育」、40歳代から70歳代は「健康に関すること」と答えた人の割合が最も高くなっています。

(4)自由意見

①生涯学習内容・種類について

- ・生涯学習といっても高齢で外へ出るのに車などの手段がない場合、家庭で簡単に学べる機会を増やすのもよいと思います。
- ・一度も参加した事はありません。1人でも参加ができるものにして欲しいです。
- ・私は博士（経営学）にて、経営史経済史技術経営論・認識学などを研究していますが、生涯学習の不十分さがよくわかります。
- ・今のままでよろしいと思います。
- ・図書館とスポーツセンターと自習室があれば、イベントや、支援、講座は少なくとも良いと思います。春日井で決まった時間に決まった場所に行き、何かを受けるには、「車」と「未就学児が居ないこと」がほぼ必須だと思いますし、「時間や、そこでやる事」を個人で好きに決められる事でないで、多数の人間が利用するのは難しいと思います。
- ・テニス講座を増やして欲しい。大人の将棋講座を開催して欲しい。英語や中国語等の語学講座を開催して欲しい。
- ・時間を作り、何かを始めたいと思っておりますが高蔵寺迄は遠く、勝川近くで合唱やゴスペルなどがあれば嬉しいです。できれば夜間などにも開催して欲しいです。年をとっても仕事につながる育成や情報（資格を取れるなど）があればと思います。70代80代でも生き生きと楽しく過ごしていける春日井市をよろしくお願いします。
- ・現在の総合体育館の講座について、エアロビクスの講座がありますがヨガをもっと取り入れて欲しいです。仕事や家事をしてのエアロビクスは年齢的にもハードそうだし始めにくいです。時間に関しても午後の講座はなく参加しにくいです。昼間は参加者が少ないからでしょうか。主婦の方は昼間に自分の時間がとれるのでリフレッシュも兼ねて通えたらいいなと思います。
- ・高齢者になってみて、初めて分りましたが、実に様々な障害が学習意欲を閉ざしてしまいます。家にいながら出来るような学習方法があったらと夢のような事を思いうかべ、今回のアンケートに参加出来ました事を嬉しく思います。
- ・ことさらに生涯学習をテーマにする必要はないと思います。本人の自覚があれば誰でも生涯学習を行うことは出来ると思います。
- ・春日井市の文化・芸術の振興に尽力し、こうした場を与えていただいたことに感謝しています。私好みで独断と偏見の意見を悪しからず。今までの楽しめた講座、エッセイ、英会話、クラシック、美術（洋画）、日曜シネマ、と老後の生活に潤いを持つ事ができました。お願いとして、生涯学習で春日井の遺跡、尾張藩…と郷土史が同じ講師で繰返され、たまには大河テレビの舞台とか、世界史とか広い視野の講座も考えて欲しいです。それと英会話講師の充実と講座内容がマンネリ化しています。
- ・町内会に属していますが、町内会運営や活動内容に問題があり退会者が止まりません。防災や防犯の点からも町内会の役割が重要だと思うので、生涯学習等を町内会活動と絡めて行うようにしてはどうかと思います。
- ・市の講座は1講座4回程度となっているものが多いです。せつかく覚えた頃に終わるのはおしい気がします。せめて1講座12回程度にして欲しいです。
- ・働く主婦が増えたので、なかなか生涯学習に目を向ける余裕がないと思います。就職のためのスキルアップ講座などよいかもしれません。私は50歳になるので年金のことや保険のこと、老後

の豊かなくらしについての講座があれば、受けてみたいです。

- 唯一、市にある中部大学をもっと利用して、市民講座などを開いて欲しいです。平日昼間は働いている為、土日や夜間などの通いやすい時間に設定して欲しいです。市をより良くしたいという春日井市に大いに期待していますので、このようにアンケートをしていくのは良いことだと思います。
- 初心者が自由に習える、わかりやすい学習を望みます。
- 実技の面でも市の「きっかけ作り」をお願いします。
- 参加費がかからなかったり、近場の施設で行われると行ってみようかなと思います。東部市民センターでも読み聞かせなどがありますが、乳幼児向けの子育てサロンなどがもっとあったらいいと感じています。
- 正直、65才以上の「ヒマツブシ」にしかみえてないので、若い人たちに魅力あるジャンル（アプリ開発など）も検討して欲しいです。
- 時代環境に則しているもの、老若男女が参加できるもの、自主的に参加意欲が出るものを計画、推奨して頂ければ、楽しい一生を送れると思います。
- 高齢化になるのでお年寄りが参加しやすい講座を作ってはどうかと思います。
- 私が小学生の頃、祖父と天文・天体の講座を受講した事が有ります。子供心に天体の勉強をして知識を知りワクワクしながら楽しく学べた事を思い出しました。大人も子供も年齢層に関係ないそんな講座があれば良いと思います。職員の方は大変ですが楽しい企画を楽しみにしております。
- それぞれの年代に合った学習内容が必要だと思います。（今も出来ていると思うがより一層。特に高齢者の方々への提供が望ましいと思います。）
- 自我を高める事も必要ですが、多くの方が自助、共助、公助に楽しみを感じる学習の強化が必要だと思います。
- 高齢化社会の進展に伴なって、6人に1人が認知症になると言われています。この社会的大問題をすべて行政で対応することは不可能です。従って地域に認知症に対応できるボランティアを養成し、これを組織化し、活動を支援することが急務です。生涯学習もこれにスポットを当てるべきだと思います。
- 健康を第一に一生暮せるのはスポーツだと思います。
- もう少し身近な所に健康体操ができる場所があると良いと思います。
- これからはネット社会になっていくと思われるので、特にそういうところに力を入れるべきだと思います。
- 誰でも参加できる活動であって欲しい。参加したくても時間的に参加できない、子ども等の世話をしないといけないから参加できない、そう感じている人は多いと思います。だれでも参加できる学習の場を今後作って下さい。いくつになっても学習したいという気持ちは持っていますが、年を重ねるごとに、機会が減っていくと思います。
- コンピューターやインターネットの高齢者向けのカリキュラムを増して下さい。
- 現在の社会は高齢化社会であるため、高齢者にかかわる医療費等が大きな負担となっている時代です。高齢者を支えるのにふさわしい生涯学習を取り入れてもらいたいです。
- 健康づくりと防災意識を個人レベルで高めること。この2つが最も大切です。趣味は皆、「市」の取り組み以外で楽しんでいます。健康で災害に強い市民を育てて欲しいです。
- 地域の高齢者（60才以上位）の人達数人（10名程）で社会の動きを毎月2回、学んでいます。

特化したテーマはネットや専門書等から引出してみんなで情報共有しています。創立目的は互いに学び合い、汗を出し、頭を使おうと認知症予防でした。そんなグループがそれぞれに小グループが多く出来ればと思います。この10月で3年が過ぎました。

- ・主婦は、子供の成長とともに生涯学習が変化していくと思います。子育て後、自分自身の楽しみや健康・文化へと興味が変わっていきます。その際、チャンスを与えていただければ幸いです。
- ・地域で頑張っている企業（工場）見学等、目視による体験学習は、リタイヤした人たちの興味がある事だと思います。地域の特長ある工場は結構あると思います。（特にMR J工場）
- ・外国人労働者が増えてきているので、日本語を教えるボランティアが増えるとよいと思います。高齢者の方が1つの施設で病院、カルチャー、処方せんを受けれるような場所があると良いと思います。
- ・男性に大いに学んでもらいたいです。特に料理は生涯において大事な点です。
- ・各世代ごとのニーズを把握して欲しいです。それぞれの世代に合った方法で情報発信をして欲しいです。子ども向けには親へのメール配信で、シニア向けには広報などで。貼り紙はつねに有効であると思います。視覚に訴えるし、スマホで撮って保存も出来ます。子育て世代には託児を、働きざかり世代には土日祝の講座を、親も子も巻きこめるイベントを、良質な講座をよろしくお願ひします。
- ・子ども向け職業体験、職場訪問などがあれば良いです。地域の集会所や公民館の利用に関するガイドがあると良いです。利用方法（申し込み）や内容、費用について、大きい施設は分かり易いが、小さい施設は分かりにくいです。市の広報に載るような企画以外でも、検索してサークルやクラスを見つけたりできるサイトがあると便利だと思います。
- ・一部の人達のみでの集まりではなく、広く門戸を開く必要があると思います。魅力ある行事、学習があっても仕事をしていると忙しく参加は無理です。積極的な性格の方も内向的な方も有るし、皆が楽しむ事はなかなか難しいと思います。しかし、生涯において学びたいと思う人達も多くいると思います。指導者も優秀な人材が必要だと思います。高齢になれば体力的に難しい事もあり、スポーツに片寄りすぎず、アウトドアだけでなく、インドアにも力を入れて欲しいです。また、広報を見てない事も多いので、情報発信としてスーパーなどの掲示板を活用していただくと目にとまると思います。
- ・最近いろいろ注目されている世界遺産の講座があるといいなと思います。
- ・結婚前は小牧に住んでいましたが、春日井に住んでから、春日井のスポーツが充実していることを感じました。（特に中学校の部活動）全国大会で春日井の生徒さんが活躍されていることがとてもうれしいです。もっと小さい頃からスポーツに親しめるような講座などがあれば、お子さんたちもスポーツへの関心が強くなり、将来の充実した未来へつながるのではないのでしょうか。
- ・生涯学習の種類が多ければ、自分に合った講座が見つかると思います。
- ・人気の講座は定員や講座数を増やして欲しい。難しいかもしれませんが子どもを預かる・見てくれるスペースがあると行きやすくなります。スポーツ系などは世代で分けるなどして欲しい。情報発信をもっとわかりやすくして欲しい。若い世代は広報など見ないので、市の施設でやっている事などがわかりづらいです。子ども向け、親子向けの楽しい講座、高齢者向けに病氣予防、健康に関する講座を沢山企画して欲しいです。若い世代にはストレス発散、高齢者には健康維持が大切だと思います。
- ・健康に関する講座を受講したいです。（特に食品に関すること）

- ・対象の年代によっていろいろ課題はあるかとは思いますが、最終的には年代関係なく参加でき楽しめるものがあると良いと思います。
- ・何かに興味を持ち、家から社会へ出かけて行くことは、生きがいを持つという点でとても重要な事だと思います。私も最近、やっと趣味と言えるものが出来ました。市がそのような機会になる講座や健康教室を数多く開催していただけたら良いと思います。民間のものだと授業料などが高くなるので、安価で開催できるのは市など公共施設だと思いますので、皆が参加できるように企画して欲しいです。
- ・学習という大げさではなく、余生を楽しむ講座等がもう少し身近に感じられる機会が欲しいです。
- ・高齢（60代）以降は、自分自身で積極的に、気力・体力を維持するよう心がけ、常に学ぶ気持ちを心がけたいと思い、市の講座に多々参加させていただいており、広報を見るのが楽しみです。最近では、プレゼントをする機会も多く、個人的な趣味と思いますがラッピングの講座なども楽しめかなと思います（近くで学ぶチャンスがないので）
- ・老化とは肉体的な老化と精神的な老化があります。定年を迎えた人々は、それまでの社会的ストレスから開放され、論理的、精神的に物事を思考するといいます。それ迄の社会環境及び家庭環境（子供達は独立）とは異なった場に入り、物事を余り思考しなくても生活上問題を生じない為、あらゆるものに好奇心がなくなり、肉体的行動と精神が人の老いを進めているのではないかと思います。それらを刺激してくれる方法を考えて下さい。“病いは気から”と昔から言われていますが老化の大きな原因は好奇心の欠如が最大原因ではないかと思います。今後の人工知能技術とか、農学、エネルギー技術、医療技術等の最先端科学の話などを聞きたいと思います。
- ・近くの公民館で、平日の午前中にヨガを開いて欲しいです。幼児向けの体操教室を公民館にて土日に行って頂けると、とても助かります。
- ・東海地方の宗教やお寺神社に関するものや、お城に関する講座の開設を期待しています。
- ・現在ある中学・高校の部活動を、地域ごとの団体で、大人と子供が一緒になって取り組んではどうかと思います。また、野球やサッカーのチーム、社会人の芸術団体が同じ場所で活動していける環境を作ってはどうかと思います。
- ・学校を卒業した後、自分の意志で自由に勉強を続けるのはとても楽しいことだと思います。現役をリタイヤした人も、子育て中の人も、年代を問わず、余り費用の心配をせず、気軽に生涯学習に取り組める場を、市が提供したり応援して下さいをお願いします。
- ・リコーダーの講座開設をお願いします。
- ・平成16年度から南部ふれあいセンターで始まった「平家物語」。13年間にわたり、いのぐち泰子先生に教えていただき、とても楽しい時間を過ごさせていただき感謝しています。これからも古事記、日本書紀、源氏物語など古典講座の開設を希望します。また、けやきフォーラムでのパソコン講座もよかったです。これからも、エクセル、ワード、デジカメなど教えていただきたいです。また自分が仕事をやめ、時間ができたら、料理を学び、実生活に生かしたいと思います。
- ・スマートフォンが普及し大変に便利な時代になりましたが、私も含めて特に年輩の方でその使い方が分からず、あきらめている方が多いように思います。出来れば初心者が気軽に学習出来る場があれば、良いと思います。
- ・趣味やスポーツなどが気軽に出来るよう、サークル等の育成・普及を希望します。
- ・スポーツ振興として春日井マラソンの充実を図って欲しいです。
- ・ストレス社会の中で、自分の能力向上をめざし楽しく学びたいです。そのような講座・教室に出

会いたいです。

②参加意向について

- いくつになっても学ぶということは大切だと思います。でも家庭の事情により気持ちが前向きにならない状況もあります。この先の生活が不安でいっぱいだとなかなか考えるに至りません。
- 今まで関心がなかったのですが、今後、春日井市で行われていることや施設について情報を得て、機会があれば、参加したいと思います。
- 個々人により、性格、生活、将来性、みんな違います。ゆとりのある人だけの生涯学習なんて、私には何の興味もありません。もっと、未来に希望のもてる春日井市にして欲しいです。
- 今は子育て中心で、趣味程度でしか好きな手芸はしてませんが、子供が小学生になって手がかからなくなったら、もっと自分の時間をつくりたいと思います。それを周りの人に見てもらふ機会があれば参加して育児以外の生きがいを見つけたいと思います。
- 住、食は春日井ですが、趣味や運動は、春日井で行う事はありません。今後、どう変わっていくのか興味があります。
- 仕事と家庭の両立で精一杯です。興味があれば少々の無理をしても生涯学習を進める事ができるのかも知れませんが、そこまでは出来ません。やはり、お金や時間の余裕と家族の理解がないと出来ません。今の私には学習よりも友人達との楽しい食事、TVや歌を聴いたりして心のバランスを取る事が大切です。でも、頭の片隅では勉強したい気持ちはありますが諦めてしまっているのが、現在に至っているのかも知れません。
- 年齢を重ねても、やはり身体が動けるといいです。
- 今から何かを学ぶ事にあまり興味が無いので十分な回答が出来ません。
- 幼児2人の父親なので、ゆるく参加でき感受性を養えるものに参加したいです。
- 過去、名古屋市に住んでいました。その時は生涯スポーツに盛んに参加していました。春日井市に住むようになってからも、名古屋市に行き、スポーツは参加していましたが、年々仕事と年齢とで遠のき、スポーツもままならなくなっています。
- 具体的な行動をした事がないので、どうしたら良いのか興味がわからない。
- これから参加する計画はあります。よろしくお願いします。
- 今はなかなか時間がとれず、定期的に講座やサークルに出かけることが出来ませんが、子育てが一段落したらそちらにも目を向けていきたいです。親子で語学スクールは費用がかかりすぎるため、学べる場があると良いなと思います。市のスタッフさんも、ネットやチラシなどで色々と情報を発信されているのですよね。これからはもう少し気にかけるようにします。
- 学習とはいきませんが、現状は自分自身の健康維持のため、妻と共有する音楽観賞および2人でカラオケにも通っています。水彩画を年4枚程書くよう努力しています。
- 私は仕事で多忙な為、生涯学習には参加した事はありませんが、娘が総合体育館へヨガに出かけたり、妻が以前、市で主催していたエッセイ教室や著名な作家さんの展示会に出かけて感想を聞いたりしたので、リタイヤした折には私も参加したいと思っています。これからは生涯学習等に力を入れていってもらい。将来参加できる時を楽しみにしています。
- 現在仕事をしていますので、全く生涯学習には関心がありません。仕事を辞め、時間に余裕ができましたら関わっていきたいと思います。
- 生きがいをつくり、これからの人生をより豊かなものにするためにも、今まで自分が培ってきたものを役立てて地域でのまちづくりや仲間づくりをしたいです。さらに、学習活動を通じて広

く、深い知識・技能・技術を身につけて残りの老後を楽しみたいと思います。

- ・私は孫達の手で忙しかったので市の講座や文化芸術などの鑑賞機会がなく、個人で都合の良い時間とかフリーの時に、単発的に習い事をしていました。孫達にも手が掛らなくなってきましたので、これからは、生涯学習を進めたい始めたいと思っています。今後は、芸術鑑賞とか市の講座などに興味を持ち参加したいと考えています。
- ・これからやれたらいいなと思います。
- ・誰もが入れるボランティア団体づくりなどをしてほしい。
- ・春日井に引越して1年半程、このアンケートにより、市がどのような取り組みをしているのか興味を抱きました。これを機にHPを覗き、気軽に参加できるものがあれば参加したいと思いました。
- ・参加してみたいと思いつながらなかなか行動に移せないでいます。入りやすいきっかけや、魅力がわかるポスターなど目にする機会が増えたらいいなと思います。“まなびや選科”を知らなかったのでHPをチェックしたいと思います。
- ・生涯学習への参加者について、60代は多いが80代はほとんどいません。また、学習内容についても、音楽、書道、歴史、科学、スポーツ（ジョギング・水泳）などが多く、一人で参加するきっかけがつかみにくいです。同僚を誘っても足腰が不調です。地域のサークルイベントも80歳を超えると参加が出来ません。最近の情報はインターネットやフェイスブックなどが多く、超高齢者には無理です。生涯学習の取組状況を広報を通じ、イラストや写真等を多く使用して紹介をして欲しいです。私はPCが使用出来ますので使用出来る同僚とスカイプにて顔を見ながら会話やメールにて連絡をしています。又、ユーチューブにて高齢者健康体操など動画を見ながらの体操をしたり、落語、漫才を見て楽しんでいます。趣味で銅線とハンダ付けで車を製作して同僚や友人にプレゼントしています。
- ・書道教室が開設されたので参加しました。初心者の教室と思いましたが、上級者ばかりで、習い続けることが苦痛になりすぐにやめてしまいました。講座があってもその経験があり、参加しようと思わなくなりました。
- ・春日井市でヨガをやりたいと思いつ探していますが、なかなか時間の合う所がなく、他の所を探すと費用も結構かかります。ふれあいセンターでやっていると聞いた事がありますが、開催情報が全くわからないし、入れるタイミングがいつかとかもわかりません。
- ・ある程度健康でないとい何も出来ないため、健康に気をつけ近くでの講座とかに参加したいです。車の運転が出来ないため、自転車で行けるところまでしか行けないのが残念です。
- ・友人が、犬山市主催のパソコン教室や語学教室に通っていて興味を持ちましたが、今は都合がつかないのでいつかはという気持ちはあります。

③参加促進について

- ・こういうことに取り組んでいる人は私のイメージでいうと、暇人、お年寄りとかそういうものです。生涯学習が重要なことは分かっていますが、現状では若い人でこういうものに興味がある人は少ないように思います。しかしワークライフバランス、地域、あらゆる面においても生涯学習は効果があり、必要とされるべきです。がんばって広めて欲しいです。
- ・仕事が忙しく時間がないため、生涯学習に興味を持ってない状況です。
- ・今さら何故学習というのか、人生68才今まで十分に学習してきました。もう学習は結構となるのではないかと。生涯人生を楽しむ程度の位置付けでよいと考えます。

- ・何をやるにしても経済状況がモノを言うと思います。高齢者ばかりに貯蓄があつて、働き頭の20～30代の貯蓄は非常に乏しいです。Wワークが日常化しつつありますが、肉体労働でお金を増やすのではなく、今の生活やお金の使い方についてもっと理解して、余裕を増やしていかなければ、心のゆとりや豊かな生活は手に入らないと思います。
- ・市が行う事は地味です。民間が行う事には興味があります。このアンケートもムダになる、そんな感じがします。一つでも盛り上がる事をやってみせて欲しいです。
- ・現状では、意欲のある人のみが参加している状態です。「どうしようか」と二の足を踏んでいる人をどう参加させるかが、全員参加に近い状態を生むと思われれます。気楽に「行ってみようか」と思えるような魅力のあるものが出来れば良いのではと思います。例えば「体験入会」の機会があるとか、生涯学習全般が分る「デモンストレーション」をやってみるとか方法はあるのではないのでしょうか。
- ・機会、きっかけを気付かせる取り組みができればよいと思いますが、行政として何をして頂ければいいかわかりません。基本的には個々人の自覚だと思います。
- ・高蔵寺に来て五年になります。近所に70～90代の老人がいるが、外で話す機会が少ないと思います。最近話をした老人は、最近、他の人と親しく話したことが無いと言われ驚きました。見ていると他人と話すことがあまりにも少ないです。そのため、一日が長く、気持を持って行く所が少ないと思います。もっと老人に外出を促す取り組みを願っています。
- ・高齢化により、交通の手段がない者は参加出来ない方向に進むと思うので、小学校の利用等、身近で、参加出来る方法を考えることが大切であると思います。
- ・生涯学習を自ら行いたくなるような環境作りをしていくと良いと思います。
- ・「人生は教育であり、教育こそ人生である」ノールズの言葉であるなら、学ぶ機会を失くしている人たちをその場に誘うような施策が必要であると考えます。

④心がけ・意識について

- ・66才まで仕事優先、何事もチョイかじり、無趣味で、これから手さぐり状態、何かを探す必要があり、市の行事にも積極的に参加したいと思います。
- ・市の中心から離れているので、あまり身近に思う事が少ないです。
- ・「生涯学習」という言葉をこのアンケートで知る事ができました。自分にとっての「生涯学習」を考えてみようと思います。
- ・体を動かす事は好きですので、いつまでも健康に動き続けたいです。
- ・豊かな心で生活していきたいと思います。
- ・後期高齢を豊かにしたいと思います。
- ・生涯学習は私も含め市民の大半は、十分に理解出来ていないと思います。
- ・今までは機会が無かったので深く考えたことは有りませんでした。夫を亡した今、自分自身が色々考えて生活していかなければならないと痛感しています。認知症にならないよう、健康的な生活を送る為にも色々なことを学ぶ機会があれば積極的に参加したいと、このアンケートを書いていました。広報も余り読んでいなかったのだからからは目を通したいと思います。
- ・身体障害者2級になり10年以上、1人では何も出来ません。もう80才、老々介護で、なかなか学習も思うようには出来ません。
- ・高蔵寺ニュータウンでの清掃を通して社会貢献が生涯学習につながっていると思います。これからも体力が続く限り続けます。8年目の69才です。

- ・講座をやりたい場合にも面倒な手続きをした記憶があるので、もう少し気軽に活動ができれば良かったです。1度経験したので、もういいかなと思ひ、足が遠のいてしまいました。
- ・好奇心を持ちアンテナを巡らすと、自分の知らない事柄が沢山存在していて、日々の生活に少しずつでも取り入れて学ぶと毎日が充実していくと思ひます。時間がないとあきらめず、すき間でも実行していけるといいなと思ひます。
- ・毎日仕事に出かけ、また、医療関係の勉強会に参加するため忙しく、今は文化鑑賞や生涯学習に興味がないのが現実です
- ・何があつて、何がやりたいのかが分からない感じですが。もう少し自分に余裕があれば、関心も高まるかと思ひます。
- ・色々ありましたが、もう時間がありません。又の人生がありましたら学習します。
- ・昔、NHKの鈴木アナウンサーが「人生とは一生学び続ける事である」と言っていました。単なる人のうわさ話しや、生活の愚痴だけ言って終わらないようにしようと思ひます。そのためには、できるできないは別として、好奇心が必要となります。その扉をあける手助けをしていただければありがたいと思ひます。
- ・何をすることも健康問題がネックになります。長い間、組織に縛られてきたので人間関係が伴う活動等は今更やりたくないです。現在、オンリーワンの趣味で十分満足しています。
- ・生涯学習はやりたい人はやればいと思ひますが強制するものではないと思ひます。
- ・馴染みがなさすぎてピンとこないです。私のような者には、毎日、新聞を読み、わからない語句を調べて書き留める程度のことしかできません。
- ・日常の生活に追われて自分の時間がなかなか作れない状況です。子育てもそろそろ終りに近づいているので自分の楽しみを見つけないと思ひています。
- ・色々なサークル活動に参加したくても、なにせ 80 才以上では思ひばかりです。精一杯参加していますが、この先いつまで参加出来るかと思ひております。
- ・何かを習いたいです。色々と考えていますが、現在体の具合が悪く、元気になったら展示会に行ったりしたいです。今年は駄目でも、来年に希望を持っています。早く、元気になるたいです。
- ・80 才・1 人暮らしです。健康を維持しながら、今までつくり上げた趣味や友達を大切にしながら前を向いて行く事を考えています。私の精一杯の行動です。
- ・学習を進めることで、人間として豊かで温かい人に成長していく事を希望します。
- ・あまりに関心が薄くて、気にしなかったので申し訳ないことに答える事ができません。今後、もう少し自分を高める事に努力したいと思ひます。
- ・身体に障がいがあり、毎日食べていくので精一杯です。妻の施設費等を考えると学習等について、今は考えられません。
- ・アンケートを答えてみて、私自身春日井市の取組を全く知らないことを知りました。このようなアンケートをするということはある程度力を入れていて、その後の効果を調査されているのだと思ひますが、届いていません。
- ・これから年齢を重ねていくと、自分の殻に閉じこもりがちになるので生涯学習を通じて社会とのつながりを持って行きたいと思ひます。
- ・84 才ですので、あまりこれから先、生涯学習の場所に行くことが出来ません。
- ・春日井市が取り組んでいる生涯学習について考えた事はありませんでした。そのため、アンケートに答える事ができませんでした。これを機に考えたいと思ひます。

⑤情報源・情報提供について

- ・私は、市がこのような活動をしているとは知りませんでした。それは多分、情報の発信量が少ないからだと思います。そこで掲示板を作り情報を載せれば良いのではと思います。あと、ここで大切なのは、「ネットがあるから」みたいな考えはよくないということです。ネットだと、ある程度の情報をもった人達がより多くの情報を求めて訪れるだけになると思います。そこで、興味をもたせるためには、身近なところにそういった情報が手に入る場所が必要だと思います。
- ・私は祖父母が市内にスポーツ関係のサークル・チームを作り活動していたので、春日井市内にそういったグループが多くあることを知っています。ただし、私と同世代の人たちはあまり知りません。また、私が感じている程は文化振興や生涯学習に興味も少ないと思います。子育てを終える頃、退職するときの喪失感を減らすよう、その世代へのアプローチも必要かと思います。(文化フォーラム、今後も 20:00 までやって頂きたい。)
- ・定年退職後、趣味として園芸・家庭菜園に興味を持ち始めました。この分野の情報を広報等でお知らせ下さい。
- ・スマートフォン専用HPがあると、情報が見やすくなり利用しやすくなると思います。周りに知り合いがいないので、ネットの情報が充実していると助かります。
- ・私は新聞をとっておらず広報誌が来ないため、春日井市の情報が入ってきません。そのため、いつ、何があるかが分かりません。町内会にも入っていないため、周りの人との交流がありません。どの世代にも適応できるシステムにして欲しいです。
- ・生涯学習が生きがいになったり、将来に繋がったりと、私達に与える影響は非常に大きいです。普段の生活と生涯学習を上手く組み合わせて、心を豊かにしたり、癒したりしていくことが重要であると思う。特に限定的な空間で息苦しい生活を送っている人(青少年・高齢者等)がいるならば、新たな自分の居場所、心の拠り所として、生涯学習を利用するのも良いのではないかと思います。自分に合った生涯学習を見つけてもらうために、市は様々なメディアを使って情報を発信し続けることが大切だと思います。
- ・春日井市の生涯学習の取り組みが全くわからない為、問 10 は答えにくく、すべて”普通”の回答となりました。知らないことが多かったので、もう少し市民の耳により多くの情報が入るよう取り組みを公表して欲しいです。
- ・あまり身近に感じられない。現在の状況もよく知らない。学習する価値、面白み等が分り易く知らされると良いです。春日井市の取り組みに興味を持てるような環境づくりが必要ではないかと思います。
- ・このような情報をどういう方法で収集したら良いですか。私のような病気持ちは無理な所があります。生涯学習について知らない人が多いと思います。
- ・高齢者にとって、頭脳、手、足を動かす、使う事は大切なことです。趣味として続ける事が必要で、生涯続けて行ける講座を活用できれば、豊かな人生が送れるものと思います。その為には情報をいかにして取るかであると思います。
- ・変なグループだったり、勧誘されたら嫌だなという気持ちもあるので、口コミのような参加した方の声などが知りたいです。
- ・語学講座などに自分も参加したいと思っていますが、知識不足とか、やり方の方法の情報不足などから参加に躊躇します。
- ・もっと取り組み易いように情報を発信して欲しいです。最近の広報は子供向けの情報が多く、私

達の望む情報が少ないです。30年前、私が取り組んでいた時はもっと情報が多かったです。全ての人がパソコンを使いこなす訳ではないので、情報をどこから取り入れたらよいか分かりません。取り残されていると強く感じます。

- まなびや選科を知りませんでした。一度HPを見てみたいとは思いましたが、情報の発信が上手くない、もしくは問題があるのではと感じました。春日井市民で四半世紀が経ちますが、私が知らないだけで、他の市民が多く認知されているなら良いのですが、少し気になりコメントさせて頂きました。
- 生涯学習に対する意欲や考えは、大変個人差があり、盛んにしていくことは難しいことと思います。学習情報を提供することは必要であると思いますが、それを選ぶのは本人次第だと思います。
- 若い親達にとって大変厳しい時代であると思います。特に子育ては目まぐるしく変化しており、何かお手伝い出来ればと思っています。
- 全く知らなかったので、普段の生活の中で特に自分から資料をもらったり、わざわざ冊子を読まなくても、情報が目に入ったり耳に入ったりするようになると良いと思います。
- 情報が少ないのもっと情報を分かりやすく示して欲しいです。
- マンション住まいで町内会に入会が出来ず、春日井市の広報誌を入手するためには、市役所まで取りに行かなければなりません。広報誌を近くのショッピングセンターに置いて欲しいです。生涯学習の意見とはマトがずれていますが、広報誌を見て参加しようと思う事があります。
- とにかく情報発信をして下さい。(スーパーや駅に広告を貼る等)
- 情報の発信を積極的に行い、周知徹底が必要だと思います。
- コンピュータやパソコン、インターネットを使っていないので情報はゼロです。市の中心に行くためのバスも1時間に1本程度しかありません。味美ふれあいセンターの本も新しい本が少なく、取り寄せしかなく、本を見て選ぶ事が出来ません。
- どういった活動をしているか全く知らない為、市民へのアピール(発信)が必要だと感じます。例えばスーパーや商業施設での紙媒体の設置や、インターネット上でのバナー広告といった目に付く所でのアピール等。転居して間もない為、あまり期待に浴える回答が出来ず申し訳ございません。
- 豊かな生活のためには生涯学習は大切だと思います。でもどこから情報を得れば良いのか知りませんでした。まなびや選科は初めて知りました。広報や地域情報誌などで紹介があればいいと思います。
- 長生きの時代、健康ならば色々な講座を受けたいと思います。広報で情報を得ている者としては、もう少し分かり易く、多く載せて頂けるとありがたいです
- 春日井に来たばかりで情報が得られていません。きっかけが掴めていません。仲間がいれば色々なことに参加できる気がします。
- 市の色々な施設や交通手段が記載された分かり易い地図が欲しいです。車に乗れる人ばかりではありません。移動が不便です。(元名古屋市民)
- 知らなかった情報が多く、一度ホームページ等閲覧しようと思いました。
- 子どもが小さいと、自分の時間が取れず、また、情報を探す時間が少ないです。どこに情報があるのかも分からない事もあるし、始めるキッカケが掴めません。
- 参加、利用したいと思いますが、どこで情報を得れば良いのかよく分かりません。
- どこで何をやっているのか全く分かりません。市役所や図書館に行けば、必ず何か目に付くよう

にして欲しい。

- どこかの決められた教室に行って、そこで先生の授業を受ける、あるいは、指導者と活動することが生涯学習なのかと感じてしまいます。新しい重要な情報を正確に市民に発信することが大切なのではないのでしょうか。
- 広報活動でもっと周知させることが必要であると思います。

⑥時期・日時について

- 講座の開催日時が同じ日、時間が重なっているため、複数の講座を受けることが出来ません。市の内部で日・時を調整して頂きたいです。
- 何事もトライしたいと思いますが、なかなか思うようにはならないし、曜日等が同じような事が多いように思います。会場を取るのも時間がかかりすぎだと思えます。もう少し、早く出来るようにして欲しいです。但し、年を取っているとパソコンだと難しいです。
- 自由にどこでも学べるを中心においた活動。特に東部市民センターの図書館だけでも夜9時までには開けて欲しいです。市民の学習権の保障と、さびれゆくニュータウンの活性化のため、近くに大学もあり、真に学びの地域を作るべきだと思います。
- 時間のある高齢者向きな講座が多く、平日日中や土曜の午前など、働く世代が参加出来ない時間帯に市の講座が集中しているのはとても残念です。ヨガなどは平日 20 時からなど、もっと遅い時間に実施して欲しいです。また、車で行く方がほとんどなので駐車場をもっと増やして欲しいです。
- 仕事をしているので日中の講座に参加できません。夕方からの講座を少し増やしていただけるともっと参加できるし、仕事している人との交流も持てると思います。
- 施設の開放、時期、期間をもっと充実して欲しいです。
- 月～土まで仕事なので市の講座に参加したことがありません。夜7時以降の講座をやって欲しいです。
- 市の施設は、月曜日休みの人に優しくないです。そのため守山の施設に行っています。名古屋市内の施設は一律に月曜休みではないためです。
- 生涯学習はよいけれど、場所や時間が必要だと思います。
- 興味はあるものの時間や日程が合わないため、参加できないことがほとんどです。できれば1日限りの開講や、月2回といったような、自分で参加日程を決めることができるような講座を開いていただければと思います。
- 学習は一生必要だと思います。現在アカデミーを受講しています。今までは時間がありませんでしたが、退職を機会にアカデミーを希望しました。非常に勉強になります。もっと市民の方が希望すればよいのではないかと思います。その為には、日時等を考慮する必要があると思います。
- 生涯学習に興味はありますが、時間がありません。月に1回からでも参加できるものがあるといいです。時間に余裕があるときは回数を自由に増やせるなど、増減自由なものがあると良いと思います。
- 気になっても時間が合わないのがもったいないです。働いているため水曜昼とかは無理です。あと何回も通うのではなく単発のセミナーが良いです。地域にこだわらず流行の何かを入れてはと思います。
- 東部市民センター内にある図書館の開館時間を、市役所近くの本館と同じ時間にして欲しいです。(午後7時か8時迄) 図書整理で休む期間を短くして欲しいです。

- ・市営のプログラム（例えば水泳レッスン）を受けたいと思いますが、会社員には受講できない時間しかありません。結局、平日に時間のある高齢者や主婦しか参加できないプログラムになっているように感じます。この現状では、いくらアンケートを実施しても、市民のニーズには応えられないのではと感じます。本当に生涯学習（参加型）を定着させたいのであれば、もっと参加しやすく、魅力のあるものに変えないとダメだと思います。
- ・広報の中でいいなと思うものがあっても、だいたい平日の昼間が多く仕事をしている者にとって時間があいません。同じ講座の内容で平日の昼と、平日の夜か休日の日と両方開催して欲しいです。保健センターではよく充実した講座がありますが、同じようなものを、違う場所でも開催して欲しいです。
- ・春日井市の広報に目を通しますが、日曜、祝日しか休めない私にとって、参加したい講座と日程があうことはほぼありません。春日井市は、スポーツや健康増進に力を入れている点で評価できますが、人としてのスキルアップをしたい私にとって、学びたいと思える講座は少なく、名古屋市や民間の講座をインターネットで探し、参加することが多いです。公民館の講座に日曜開催が少ないのは、講師や会館、対象者の問題もあるかとは思いますが、主婦や高齢者中心で昔から変わらないですね。女性も働く人が多い現在、社会人対象の講座が少ないのが残念です。
- ・やってみたいことはありますが、行ける土、日などに開催して欲しいです。春日井がもっと発展することを願っています。
- ・企業が協力しないと参加は出来ない。会社員が時間をつくれるよう市と会社が協力しないと出来ないです。
- ・子育て関連の教室（未就園児）に参加したいが、10時からがほとんどで、時間が早くてためらってしまうので、11時からとか遅くしてもらいたいです。すぐに駐車場がいっぱいになるので、時間に余裕をもってくると助かります。参加したいと思う講座が応募だったりすると、応募期間を過ぎてしまうことがあります。
- ・夜間に専門的な事が学べる施設が有るといいと思います。昼間働いて夜に勉強したいです。やりたい事にはお金がかかります。

⑦場所について

- ・私は絵画教室を開いています。発表する場所がなかなか無く、すべて、名古屋市へ足を向けています。もっと安く、皆が気軽に立ち寄れる場所が欲しいです。
- ・歩いて行けるような近くの場所に、学習出来る場所がないです。
- ・私は60代後半です。まだ仕事もありますし、生涯学習が必要だと切実には感じていませんが、いずれ、必要だと思う（感じる）時が来るでしょう。なるべくその施設まで歩いて行ける（自宅に近い）所が増えると良いです。
- ・広報紙で興味ある講座でも、開催場所が遠いと参加することをあきらめてしまいます。
- ・自動車が無く、春日井市内でも場所がわからないので参加しづらいです。病気以外でタクシーを使うのはもったいないし、息子や嫁には仕事なので頼みにくいです。市役所近くで学習が出来たらうれしいです。
- ・スポーツで体育館等を利用する場合、場所を確保するのに大変です。もう少し楽に利用が出来ると思います。
- ・高蔵寺中日文化センターには、子ども向けの行ってみたい教室がたくさんありますが、通うには少し遠いです。このような教室が、春日井市の中央あたりでもあれば、通いやすく参加者も増え

ると思います。例えば総合福祉センターなどであれば是非行きたいです。

- ・歩いて参加できる施設を充実して欲しいです。
- ・それぞれの地区の公民館をもっと活用して、家の近くで学習が出来れば良いと思います。
- ・会場が遠くて行く事が出来ません。

⑧申し込みについて

- ・先日、家族のものが強く希望していた家庭生活に関する講座に落選し、めったに申し込まない者のため、ひどく落胆していました。あまり参加する機会がない者が申し込んでいる場合、定員があるかもしれませんが、受け入れて機会を与えてほしかったと残念に思います。生涯学習については自主的に手を上げている者に対しては広く受け入れる体制をつくる必要があると思います。機会の平等について十分に考えて下さい。

⑨交流について

- ・住んでいる地域では、近所との交流が極めて少ないです。災害等を想定して、普段から、何かしらの交流が必要だと感じますが、機会がありません。
- ・生涯学習について、もっと積極的にアピールする場がないのが残念です。まなびや選科も名前と内容が紹介されているのみで、具体的な作品や、活動の様子がわからず、小中学校のセミナーに使ってもらえるチャンスを逃しているように思います。絵や書、手芸工芸作品を作っている方々の作品を発表してもらえる盛大な場所、イベントが欲しいです。一般の皆様に見ていただく事で興味を持ってもらえれば良いですし、他の活動者同士コミュニケーションをとることがより良い作品作りの源となるのではないのでしょうか。
- ・今後、益々高齢化する中では「老人（65才）」が集える地域社会こそ基盤であると思います。
- ・地域の人と協力してできるような生涯学習を望みます。今後、少子高齢化社会となることは間違いありません。サークル、グループの育成よりも、防災や高齢者、幼児に力を入れないと春日井市は成長しないと思います。
- ・個々人によって、それぞれの目標、趣味、文化、スポーツは異なると思うので、如何にして、各々のリーダー、サークル、グループの活動の成果を認める機会が与えられるかが重要だと思います。
- ・これからは、行動範囲が狭くなる為、各地域の人々との交りが大切になってくると思います。地域の活動が、もっともっと盛んになるよう指導していただく方が欲しいです。

⑩就業について

- ・正社員向け（求職者ではなく）の仕事に関する講座が欲しいです。（コミュニケーション、マイクソフト関連ソフト、仕事のやり方など）、

⑪施設等の管理・整備について

- ・各地区に施設をつくり、自由に利用できるようにして欲しい。市の中心部の人々ばかりが利用しやすい施設では一部の人しか利用できません。どの地区にも小さな施設をつくることで、生涯学習の向上につながると思います。
- ・図書館が他の地域にくらべ古く、充実さに欠けると思います。
- ・森林公園（尾張旭市）クラスの芝生広場がありません。空間が重要だと思う。ちゃんとしたコンサートホールがありません。花火はすばらしいと思います。
- ・図書館をよく利用しています。蔵書が充実すること、施設内容・内装がきれいになることを望みます。子供への絵本読み聞かせはとても良かったので継続して欲しいです。
- ・図書館等の学習室を充実して欲しいです。

- ・東京立川の図書館は前向きな良い案だと思います。市役所の駐車スペースは足りないと思います。
- ・卓球に使用するため、近くの学校（小、中、高校など）の体育館を夜間開放して欲しいです。
- ・美術館、コンサートホールなどが必要ではと思います。ボランティアについて、人数は多くいますが、どれだけの人が動いているんでしょう。ボランティアをする人の意識が高くないように感じます。ただグループに所属し何の活動もしていないグループも知っています。やる気のある人はそんなグループから退会していきます。もう少し春日井のボランティアグループが活躍されるといいですね。生涯学習について春日井では習っていません。名古屋まで行っています。
- ・図書館の蔵書を増やして欲しいです。
- ・中央図書館以外の図書館施設の拡充を図って欲しいです。中年層の休日に春日井市でのつながりがありあまり感じられない。住みやすい街であることはまちがないが、住むだけの街となってしまうのも事実であると思う。工夫してつながりやすい趣味の形を作っていけたらと思います。
- ・温水プールに関して、もっと利用者の気持ちになって、少々の事は、臨機応変に暖かみのある指導をお願いします。ちょっとしたルール違反に対し鬼の首でも獲った気で注意するため、年寄りには近づかないです。嫌な思いをしたので、今は行きません。沢山の人に利用して貰う事を考えて欲しいです。
- ・お金のかかる事ではありますが、春日井市民会館の舞台、音響などがあまり良くないので、もう少し考えて頂きたいと思います。
- ・生涯学習は必要だと考えますが、春日井市にのみ焦点をあてて考えればまず施設がありません。また、施設までのアクセスによっては、公共交通機関が少なく、金銭面の負担も大きいです。ソフト面も大切だが、まずハードがしっかりしていないと出向く気にもなれません。小手先で何かを始めないで、大きな改革が市には必要なのではないのでしょうか。私の家族も含め将来は名古屋市に移ろうと考えているのは、現に春日井市に魅力を全く感じていないからです。今必要なのは、全ての面で大きなイメージチェンジです。
- ・利用するのに車を利用したくても、駐車場の準備がなく利用しにくいです。
- ・生涯学習とは直接関係あるかどうかは判断に任せますが、スポーツ施設の維持管理にもっと力を入れて下さい。せっかく立派な野球場を設置して下さったのにその後の管理が悪く、少し雨が降ったらグラウンドがグシャグシャ、週末金曜に少し降っただけで月曜日も使用できない状態です。グラウンドに土を補充する際はグラウンドに適した土を入れて欲しいです。（上田楽運動広場使用者）
- ・よく図書館を利用します。しかしながら、春日井の図書館の現状はとても満足のいくものではないと思います。市の予算等、様々な問題や原因があるとは思いますが、新刊を入れたり、古い本を入れ替えするなど、もっと図書館を充実させてもらいたいです。ふれあいセンターがあるとはいえ、市に図書館が1つというのは少ないです。
- ・新着図書に魅力が無く、特集コーナーも他市に比べて少ないです。小牧の大学では図書館の一般開放があります。中部大学はどうでしょうか。中部大教授も他所で市民大学講座をされてる方がいます。
- ・現在、仕事をしているので、図書館の利用が主です。春日井市の図書館の蔵書は古くて汚れているものが多いと思います。新刊が入る量が少ないと思います。以上の理由で、私は春日井市の図書館の利用はあまりしていません。もっぱら、名古屋市の図書館の利用をしています。春日井市の図書の内容を分室も（分室は特にひどい）含めて、もっと、充実させて下さい。

- ・幼児が伸び伸びと遊ばせられる場をもっと増して欲しいです。特に雨の日の遊び場は有料の施設がほとんどなので室内で公園のような施設があるといいなと思います。例えば人が多く集って欲しい場所に作ってくれば市も活性化すると思います。
- ・図書館の学習室・読書席についてです。私はよく使用させて頂くのですが、朝早くから並んでいても割り込みがとて多く、割り込みの人がいなければ勉強できたという時が多々あります。もう少し、警備を強化して欲しいです。また、もっと学習施設を開設して欲しいです。約100名程しか使用することができません。それに、各学校のテストは大体同じ時期なので、席を取るのに毎回一苦労して、いつもいやな気分になります。とても困ってます。ぜひ、検討よろしくお願ひします。
- ・中央公民館図書館や、西部ふれあい内の図書館などで、学習部屋のような大きなスペースを作ってもっと学生が勉強しやすい場所が欲しいです。学生がイオンのフードコートやマックでテスト勉強しているのをみるとそう思います。
- ・学区に一カ所ぐらい施設が欲しいです。中心部に片寄り過ぎだと思ひます。

⑫学校・子どもの教育について

- ・子供がいるのもっと子供が安心して過ごしていけるような地域づくりをして欲しいです。スポーツ、レクリエーション等もさかんに行って欲しいです。
- ・今の子供達にあいさつを教える事から始まると思ひます。世界中の皆が話し合つて仲良くなるようにしたいです
- ・現代の子どもたちはスマートフォン等で手軽に様々な情報を入手できるので、人とのつながりがない。希薄な人間関係が今後の日本にどのような影響を及ぼすのか考えるとおそろしいです。世代を問わず人とのコミュニケーションの大切さを学べる場、自然と身に付く場が教育現場であつて欲しいです。そういう学習ができる場があるといいと思ひます。
- ・子供や青少年の教育を充実させ、常識ある行動が取れる人に育てて欲しいです。
- ・豊かな生活を送るには、まずは家庭環境が大事だと考えます。家庭教育、学校教育、社会教育をしっかりと充実させた上で、文化、芸術、スポーツ等の趣味を行うゆとりができてくると思ひます。

⑬託児について

- ・小さい子供がいると、それだけでも参加できないです。一時保育も、思うように取れませんが(いっぱいです、と言われたり、1ヶ月半ほど前から予約しないと取れないので)。このハードルが下がれば、もっとたくさんのママが色々チャレンジできるのにと思ひます。
- ・子どもが、まだ0才で、たびたび児童館を訪れましたが係員の対応が不満です。小牧市では、どの児童館でも、係員が親身になって、子供の相手を手伝ってくれます。春日井市は、そのような人材を児童館へ派遣すべきです。少子化が進む中、子供への支援の充実がいずれ春日井市を発展させると思ひます。まずは、現在、働いている方の意識を変えるよう、指導を求めます。でなければ、春日井の魅力はなにもありません。
- ・子育て世代で親も遠方なため、参加したくてもできないのが現状です。興味があるものでも、子どもをどこかへ預けてまでは二度手間になりそれだけで疲れてしまいます。もし、可能ならファミサポの研修みたいなかたちで連携し、有料でもいいので預けられたらいろいろ参加できるのにと思ひます。
- ・未就園児と一緒に運動できる場がたくさんあると嬉しかったです。エアロビ、ヨガなど、多くの人と楽しく運動できると、リフレッシュできると思ひます。

- ・市の広報などでやってみたい講座は時々あるものの、子どもが小さい為、なかなか参加できそうになく、託児付きの講座がもっとあったらいいのと思っています。また、子どもと一緒にできる講座も充実させて頂ければ有難いです。

⑭交通手段について

- ・春日井体育館のスポーツジムを利用したいと思っていますが、平日は仕事で遅い時間までかかるので行けません。自家用車で行こうとも思いますが、バスでゆったり行きたい気持ちもあります。春日井市内を一定料金で巡回するバスなどは出来ないのでしょうか。名古屋の市バスのようなものがあると利用しやすいかと思えます。
- ・今は車で移動できるので参加できるが、今後、車を利用できなくなったら参加することが不可能となります。春日井は車がないと、市役所、文化フォーラム、図書館へ行くことも不便です。
- ・会場に出向くのに車の運転が出来ない私には足がありません。年齢を重ねるにつれてコミュニティーバスを利用するしかありません。そのバスの時間が2時間に1本では不便です。
- ・春日井市の交通の利便性が著しく悪く、バスでの移動ができません。高齢化の時代に1日5、6本のバスでは、各施設の利用は困難です。各プログラムの開催時間帯に仕事をしているので参加したくても参加できません。夜間、土、日のプログラムを希望します。82才の母は、現在、車で多数プログラムに参加しています。交通網の検討をお願いします。2年前に名古屋から転居、交通網の悪さが一番の住みにくさになっています。
- ・高齢化すると交通の手段に悩みます。素晴らしい春日井市をめざして頑張ってください。
- ・市の中心に住んでいる人は学ぶことが出来るかもしれませんが、高齢になると交通が良いか悪いかによると思います。バス停まで10~15分もかかると（又雨が降ったりする）と考えてしまいます。
- ・私は84才ですが、まだまだ生涯学習に意欲をもっています。岩成台に在住していますが、公共交通機関が不備で困っています。そのために、立派なサンフロッグのプールへも行けず不満を募らせています。もっと短時間で、直通で行けるように黄色いバスを増発して欲しいと思います。文化芸術の鑑賞のためにも、市の諸施設へ公共交通機関で楽に行けるように、その充実を切望します。まずは、黄色いバスを市民病院から、総合体育館（プール）まで延長して欲しいです。（市民病院で乗り換えなんて、とんでもない事です。）
- ・運転が出来ない高齢者の交通手段を考えて欲しい。青少年の育成を充実させて欲しい。
- ・ニュータウンから市民会館へ行くのに交通が不便です。鑑賞したいのは山々ですが、あきらめています。
- ・各会場迄の交通の便を良くして欲しい。各会場迄は自動車、自転車等で行くので高齢者は利用しづらいです。
- ・自転車に乗れず、公共の交通機関がないためどこにも参加できません。
- ・学習場所への足（バスなど）を充実させて欲しい。
- ・自家用車を使用し、生涯学習を受講していますが、いつまでも車の運転が可能な訳ではありません。いずれ他の交通を考えなければなりません。自分の必要な時、必要に応じた足（バスの本数を増やす、近くに来るバスの本数の増設・送迎ボランティアさん）等のお力添えが必要なることと思います。
- ・講座に参加したいけれど車はありません。名鉄バスを利用しないと行けません。バスの時間が気になり二の足を踏んでしまいます。

- ・高齢化に向けて、個人で運動する必要が重要だと感じています。市のスポーツ施設は中央に集中しており東部からそこへ行くには車がないと大変です。せめて、市バスのシステム等もう少し変更していただき、東部の車に乗れない人間も施設に行きやすいようお願いします。
- ・子供や高齢者が集まりやすくするため、小型バス等の交通手段があると、集まりやすくなるかなと思います。

⑮費用について

- ・会場の使用料が高すぎます。市民は今の半額で利用できるとありがたいです。会費を高くすると集まらないので場所を確保する世話役は大変です。だんだん回数を減らしているのが現状です。
- ・老後の生活資金が安定していなければ学習や文化は考えられません。また、生活も、子の成長・結婚・出産・親の老いなど変化が次々とあり、こなすのがやっとの私です。生涯学習について考えてみた事がありませんでした。テレビで健康についての番組を見ることくらいです。
- ・講習費用がどれくらいかかるのかよく分からないので、1回いくら、月いくら、無料など分り易く、できれば安くすると良いと思います。おりがみ教室など、子供連れで参加できるメニューがあると良いです。父親が連れていって母親が休めるといったメリットがあります。

⑯行政について

- ・市内に限定せず、市外、県外を含めた広域の情報交換を強化すべきだと思います。このアンケートについては、良い手法だと思います。
- ・動物（主に猫）の保護活動に携わっています。春日井市は、飼い主のいない猫への不妊・去勢手術に対して助成金を出していただいております、他の自治体に比べても進んでいると感じ、また、誇らしく思います。あとはTNRや地域猫活動などの啓蒙・講習、ペットの飼い方や健康管理などの講座を行うなど、動物にも優しい町になると春日井市はより豊かな良い町になると思います。
- ・市は少ない予算で、ボランティアの人達に頼りすぎていると思います。市の職員も参加して、現状を把握して下さい。予算が多ければ良いと言うわけではないけど、少ない予算では、良い物・興味の湧く講座が少ないです。
- ・自治体は設備・施設を準備して、活動・運営は民間が行なえば良いと思います。支援は財政面での支援で良いと思います。自治体が活動を選択する必要性を感じないし、市民から出てきた活動を支援すれば十分であると思います。
- ・春日井市のビジョンを示す必要があると思います。
- ・春日井市はおおむね「良くやっている」と常を感じています。自分のことは他人にまかせず、自己責任、人のせいにしてはいけません。感謝の気持、家族、近隣への思いやり、助け合い、つまり道徳、おもいやり、小さい時からの道徳が大切だと思います。学校の先生が自信をもてるよう、親自体が襟を正す社会に、それは自分達に責任があると思います。これまでの人生に感謝し、後生の方々の幸せのため、できる範囲内で恩返しをして行きたいです。春日井広報は大変充実しています。
- ・生きがいがあることが、年齢関係なく、明るさを出し、やる気を出します。春日井市がもっと力を入れてくれれば良いなと思います。
- ・生涯学習自体、個人的に取り組むべきものであり、地方行政が強力に推進すべきものではありません。南海トラフ巨大地震に対する防災・減災体制の整備や上下水道・道路・街路灯（防犯施設）など、インフラの整備に税金を使うべきです。あるいは、高齢者や障害者の福利・厚生・介護に傾注すべきであると思います。

- ・文化、教養など個人の領域であり、国や公共団体等が「上から目線」でかかわるべきことではないと思います。
- ・戦前の教育を受けた私達には、現代社会、家庭のありようなど、現代の世で生活する人達の生き方、考え方など含め考えてみると、市の行事のありようの重要さが大きいと思うのに対して、非常に内容が難しいです。効果を上げる為の努力をする当市に対して深く感謝します。但し、私は高年者になりすぎ参加する足が弱く困っています。
- ・恵まれた市だと思いますので、いざという場合に備えて団結精神を持ち、立派な春日井を築いて行って下さい。色々な新しい問題に耳を傾け、古い問題を改善して下さい。明るい町に1人1人が明るい笑顔で挨拶が出来る風がなびくことを願っています
- ・家庭でも社会でも、教育、学びは重要なことだと考えますので、どんな形でもかまわないと思います。是非継続をお願いします。学ぼうと思った時に市に窓口があると安心感になります。教育資金は（予算）は、確保して下さい。
- ・今後、ますます進む少子高齢化、地球温暖化、環境破壊を見据え、安全安心な福祉社会を実現する必要があります。それには長期ビジョンに基づくプランを練り、計画的に実施していかねばなりません。高齢者は経験に基づく知識を持っており、その力も積極的に活用し（ボランティア主体で）、市の活動、青少年教育などにも生かしつつ、全員で成し遂げていく必要があると思います。
- ・市としての取り組みが足りないと思う。

⑰アンケートについて

- ・今まで生涯学習について考えたことも利用したこともなく、市がどのような事を行っているかを全く知らないで答えようがありませんでした。
- ・色々とお書かせて頂きましたが、既に行っていることを私が知らないだけでしたらすみません。このようなアンケートはすごく良いです。自分が今後も暮らしていく街なので、自分の為につながると思えました。
- ・私の年齢には合いません。調査内容をもっと考えて下さい。
- ・このようなアンケートをする場合、もっと項目を絞り、聞きたいことを厳選する必要があります。答えようとしても戸惑う項目が多いです。
- ・内容が多岐に渡りすぎています。まず、「どのような人がこういうことをやっています」「おススメの点はここ」のようなわかりやすいアピールがあれば参加しやすいのではと思います。私は総合体育館でエアロビやヨガをさせてもらっていて、とても健康管理に役立っています。今まで、市がこんなに色々な講座などをまちづくりに活かしていこうという取り組みに気付かなかったので、これから注目していきたいと思います。
- ・生涯学習の問い掛けが役所目線です。情報収集も有りきたりの取組みで押しつけ的です。市民の思想、年代、地域その他色々な分野で情報収集、担うポイントの分析等市民の理解、満足のいく施策を考慮して進めて欲しいです。市の職員が仕事の立場でやっている感じがします。
- ・これを発送したことに、どれだけの意味があるかが良く認知しにくいです。難しすぎます。同じ文面が多いです。

⑱その他

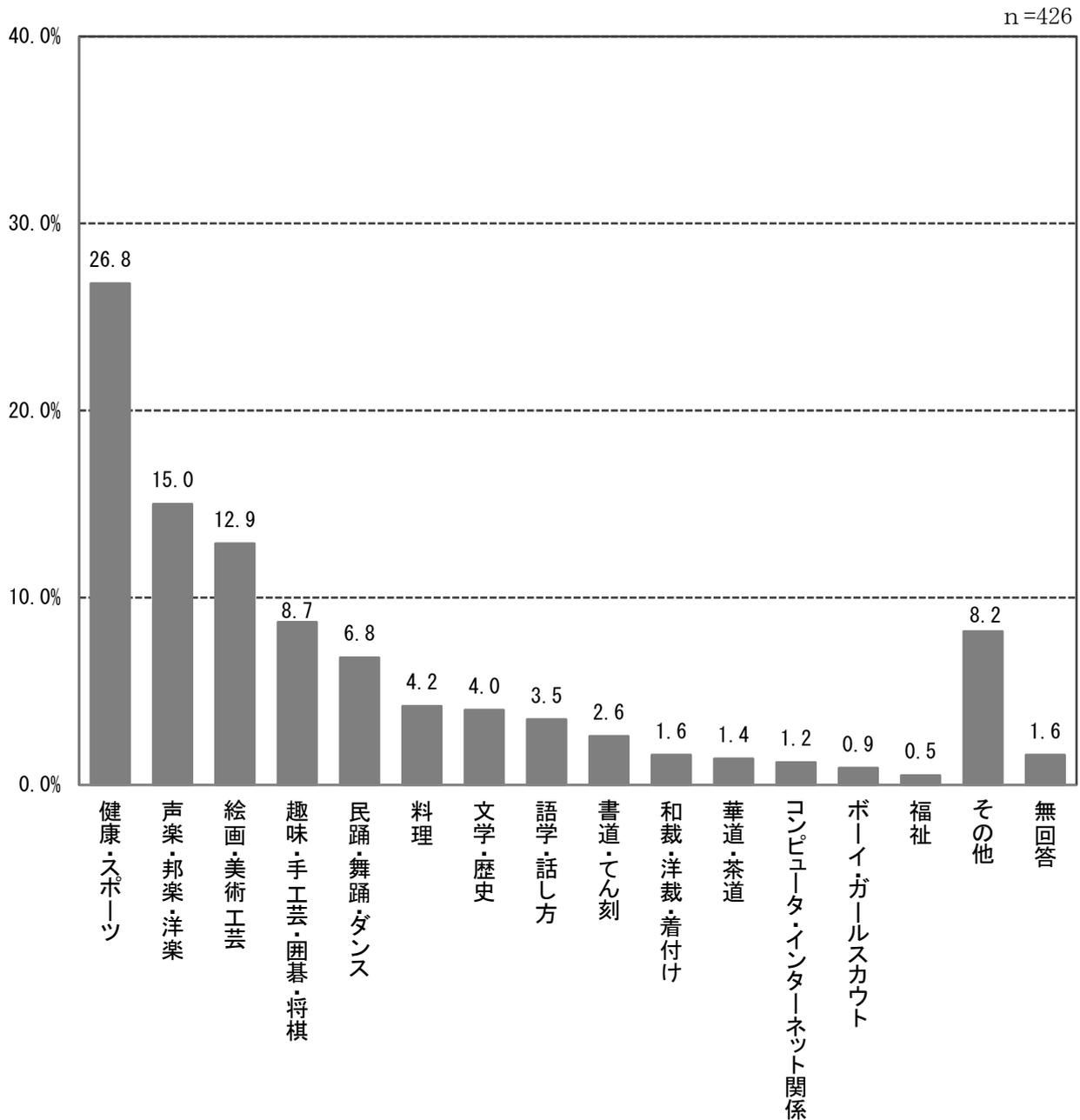
- ・他県より越してきましたが、ラジオ体操が毎日（夏休み）されていないのにびっくりしました。私の地元は毎日夏休みにおこなっていました。

- ・現在パートで働いていますが、後何年元気で働く事ができるかが問題です。一人暮らしの不安はありますが、健康でいられる事が一番大事なことと思います。今やる事があるのが、最高のアンチエイジングだと思い、一日を大切に生きております。
- ・夏休み、総合体育館プールをよく利用していました。休憩が終り、指導員によるラジオ体操（指導員）が誰1人出来てないし、していません。これで市民スポーツの施設ですか。夏場の子供達が一番の楽しみなスポーツです。このようなことでは春日井市は駄目ではないでしょうか。道徳は市民が集まるところからすべきです。
- ・次世代を支える若い人達が、高齢者や障害者に暖かい心で接して頂きたいと思います。
- ・市民文化の生涯学習はとても良い事ですが、その前に、市は、高齢者に関する福祉は何を提供していますか。他の市では、高齢者の福祉に色々と提供しています。春日井市も1人暮らしの足の悪い高齢者の食事の材料の買物やちょっとお助けサービス活動を町内会単位で発信して、地域の人々のボランティアをすれば、医療費や予算が減り、餓死や認知症などを防ぐ事が出来ると思うので早急な対策をお願いします。介護を持つ人々は、毎日を生きる事が切実です。
- ・生涯学習に対する意欲向上、充実を図る為の社会的な格差（経済面、教育面、福祉面 e t c の格差）の是正がまず必要なのではと思います。
- ・参加した事が無いので良くわかりません。
- ・今まで「生涯学習」について深く考える時間が無かったので、文科省のHPを読んでみました。このアンケートは「教育基本法」に実に忠実に作られているのだなと思いましたが、様々な疑問が浮かんで来たのも事実です。「正當に評価」されなくても、「発表の場」が無くても、何より、生涯学習によって民意を向上させることを市には期待したいです。何故なら、我家の隣地で日々行われている老人会のゲートボールも生涯学習の一環であろうが、私からしてみれば「ゴミを敷地に投げ入れられる、喫煙による煙によって受動喫煙させられる、老人の発する奇声がうるさい（以前はたき火もしていた）、等、公害以外の何物でもないです。もちろん、普段は黙って我慢しているが、せつかくの機会なので書かせていただきました。
- ・高齢者2人の生活ですのでよくわかりません。
- ・福島、熊本のニュースを見て、地域で行う防災活動の重要さを感じます。強制的にでも、避難行動や各家庭の備蓄目安を視覚化した情報が欲しいです。積極的に行っている家庭への補助が欲しいです。どうしても日々の生活に追われ、防災まで気が回らないです。非常時のケガの手当方法、どの病院なら受入してもらえるのか等、ネットのない高齢者ではよく分かりません。

3 団体アンケート調査結果

(1)生涯学習について

問1 あなたの団体の分野についてお答えください。【単数回答】



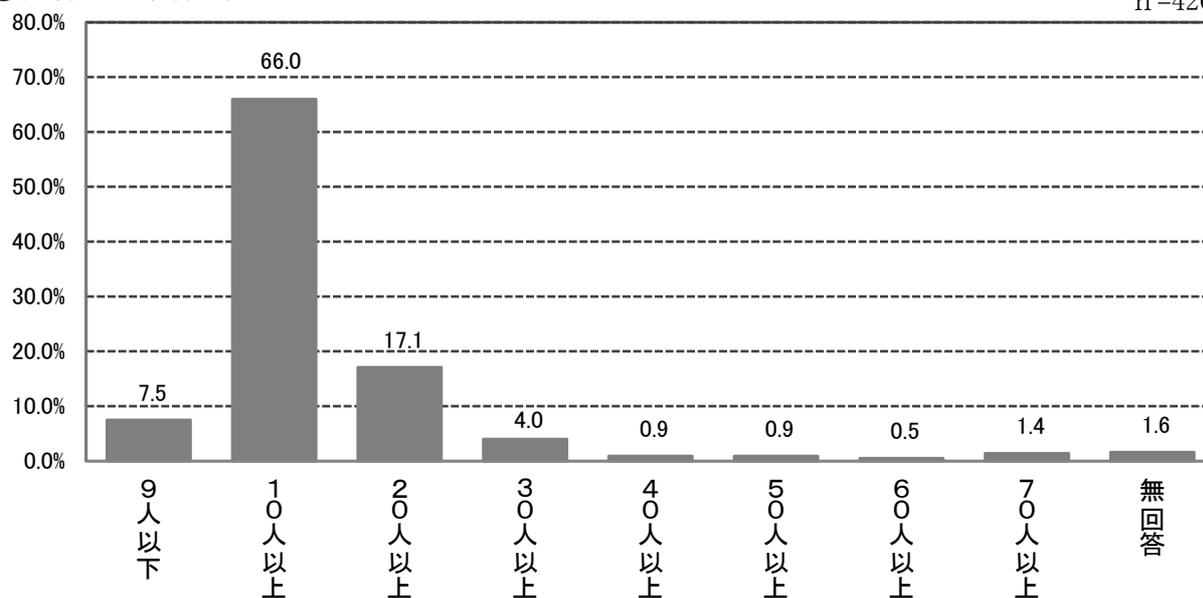
(結果の概要)

- ・ 団体の分野については、「健康・スポーツ」分野の団体の割合が最も高く、全体に占める割合は26.8%となっています。
- ・ 2番目に高いのは「声楽・邦楽・洋楽」分野の団体で15.0%、3番目に高いのは「絵画・美術工芸」分野の団体で12.9%となっています。

問2 あなたの団体の会員数、男女数、年齢層についてお答えください。

①団体の会員総数

n=426



(結果の概要)

- ・団体の会員総数は、「10人以上 20人未満」の団体の割合が最も高く、全体に占める割合は 66.0% となっています。
- ・次いで高いのは「20人以上 30人未満」の団体で 17.1% となっています。

②団体の男女数

n=426

	有効回答件数	有効回答人数
総人数	419件	11,249人
男性	415件	4,183人
女性	413件	6,882人

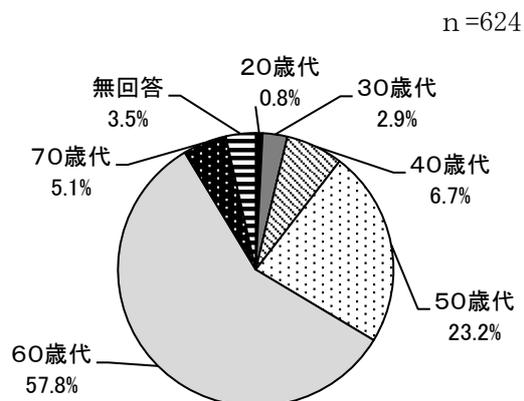
※所属団体の「総人数」・「男性」・「女性」を別々に記入してもらった関係上、有効回答件数が異なり、「総人数」≠「男性」+「女性」となっています。

(結果の概要)

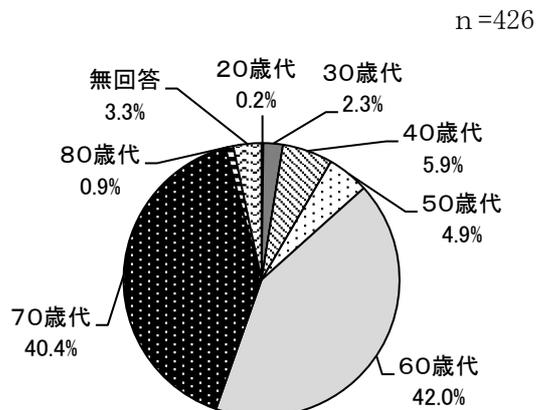
- ・団体の男女数について、男性は 4,183 人、女性は 6,882 人となっています。

③団体の年齢層

【平成 18 年調査】



【平成 28 年調査】

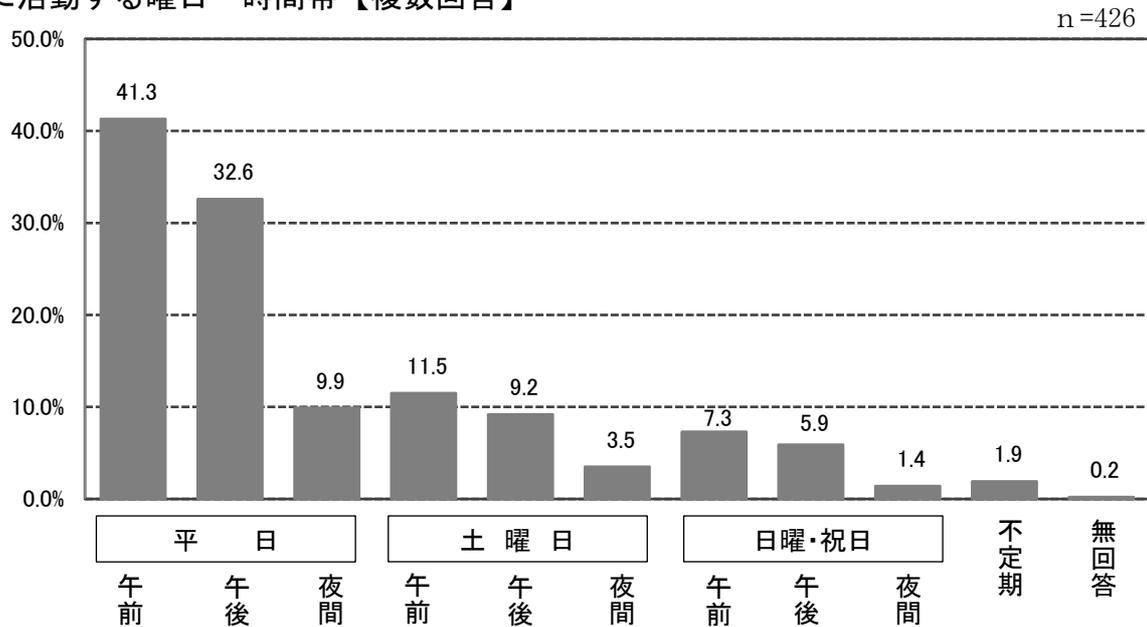


(結果の概要)

- ・団体の年齢層は、「60歳代」の割合が最も高く、全体に占める割合は42.0%となっています。次いで高いのは「70歳代」で40.4%となっています。
- ・前回調査（平成18年）では「60歳代」以上の会員は全体の62.9%でしたが、今回の調査では83.3%と20%超上昇しており、会員の高齢化を示す結果となっています。
- ・また、「50歳代」は前回23.2%でしたが、今回4.9%と大きく低下する結果となっています。

問3 あなたの団体が主に活動されている曜日・時間帯・活動回数についてお答えください。

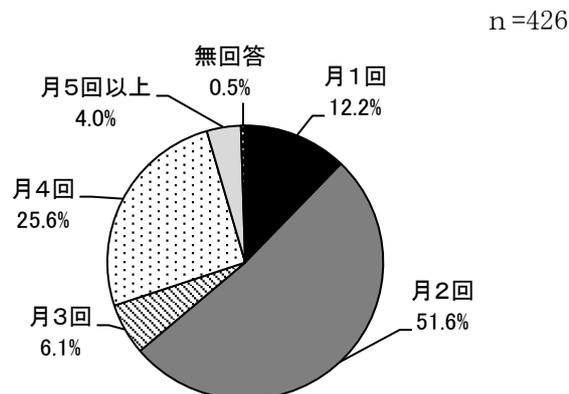
①主に活動する曜日・時間帯【複数回答】



(結果の概要)

- ・主に活動する曜日・時間帯は、「平日の午前」の割合が最も高く、41.3%となっています。
- ・次いで高い曜日・時間帯は、「平日の午後」で32.6%となっています。

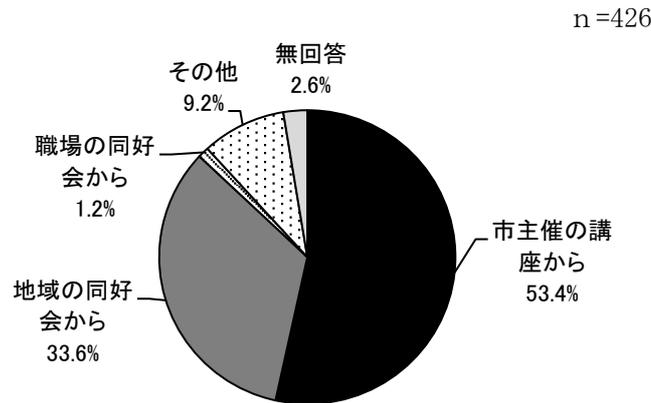
②活動回数【単数回答】



(結果の概要)

- ・活動回数は、「月2回」の割合が最も高く、全体に占める割合は51.6%となっています。
- ・次いで高いのは「月4回」で25.6%となっています。

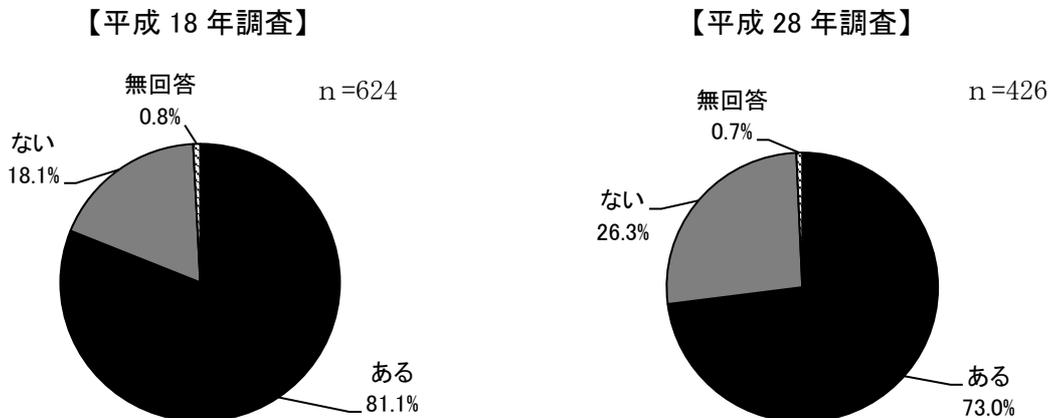
問4 あなたの団体の設立経緯についてお答えください。【単数回答】



(結果の概要)

- ・ 設立経緯については、「市主催の講座から」の割合が最も高く、全体に占める割合は53.4%となっています。次いで高いのは「地域の同好会から」で33.6%となっています。

問5 日頃の学習の成果を発表する機会がありますか。【単数回答】

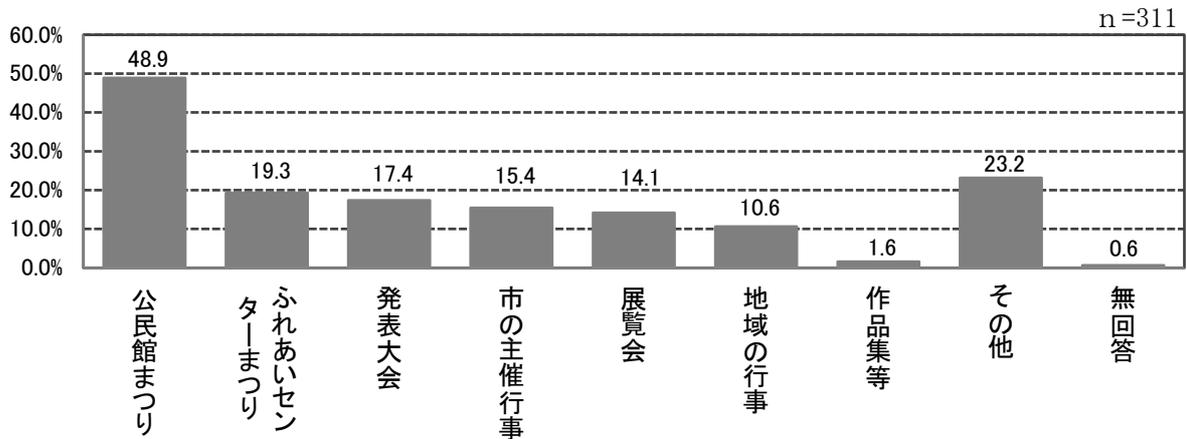


(結果の概要)

- ・ 学習の成果を発表する機会については、「ある」が73.0%、「ない」が26.3%となっています。
- ・ 前回調査と比べ、「ある」が81.8%から73.0%に低下し、「ない」が18.1%から26.3%に上昇する結果となっています。

問5で「1 ある」と答えられた方にお聞きします。

問5-1 発表する機会はどのようなときですか。【複数回答】

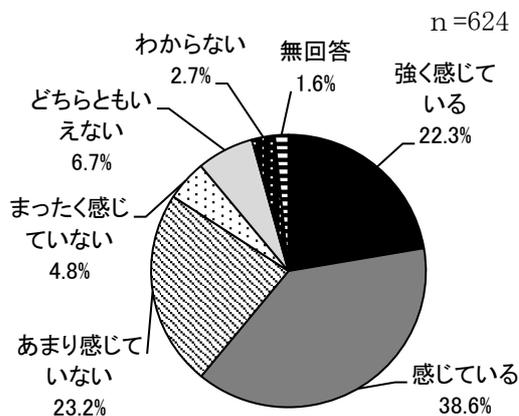


(結果の概要)

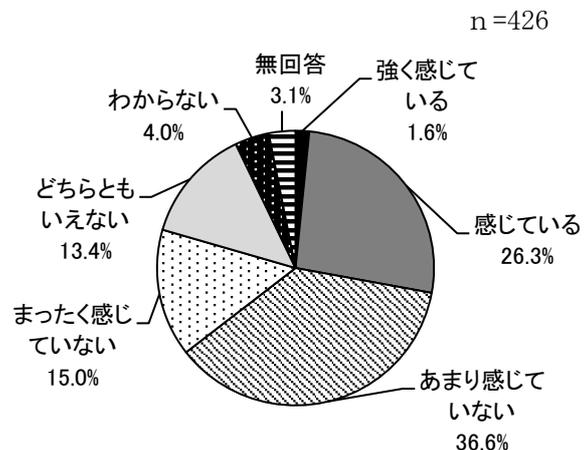
- ・発表する機会については、「公民館まつり」の割合が最も高く、全体の48.9%となっています。次いで高いのは「ふれあいセンターまつり」で19.3%となっています。
- ・尚、「その他」23.2%の内訳で多かった回答は、「老人ホームでの発表」「介護施設での発表」「福祉施設での発表」「保育園・幼稚園での発表」などとなっています。

問6 他のクラブ・同好会との交流・連携の必要性について、あなたの団体はどう感じてみえますか。【複数回答】

【平成18年調査】



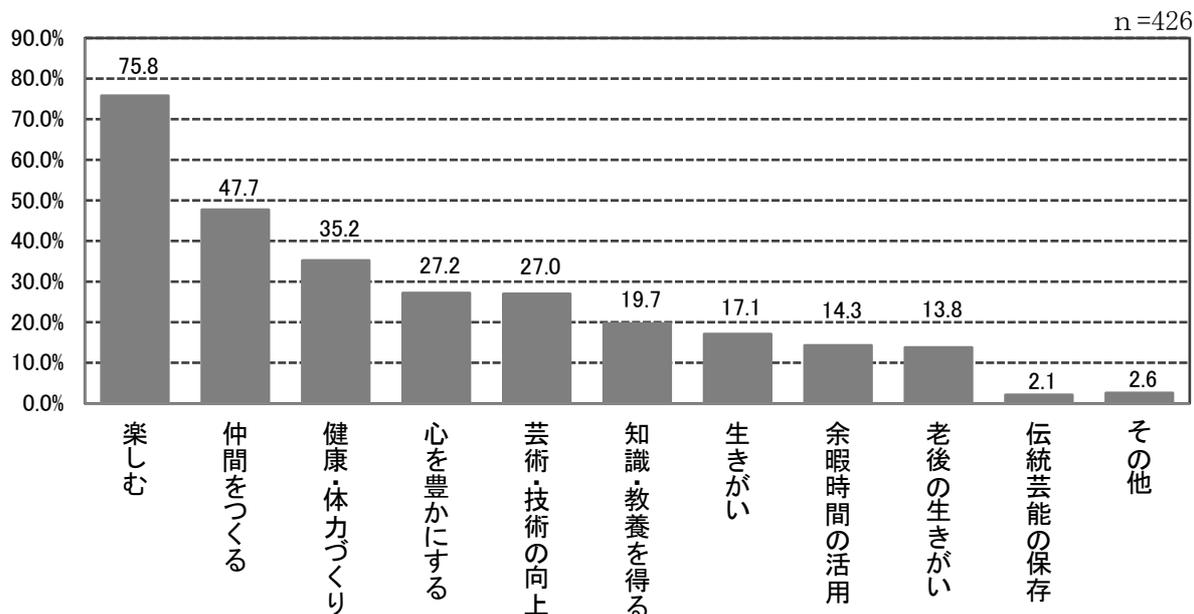
【平成28年調査】



(結果の概要)

- ・他のクラブ・同好会との交流・連携の必要性については、「あまり感じていない」の割合が最も高く、全体に占める割合は36.6%となっています。次いで高いのは「感じている」で26.3%となっています。
- ・前回調査では、「強く感じている」「感じている」が60.9%、「あまり感じていない」「まったく感じていない」が28.0%と、必要性を感じている団体の割合の方が高い結果となっていました。今回調査では、「強く感じている」「感じている」が27.9%、「あまり感じていない」「全く感じていない」が51.6%と、必要性を感じていない団体の割合の方が高い結果となっています。

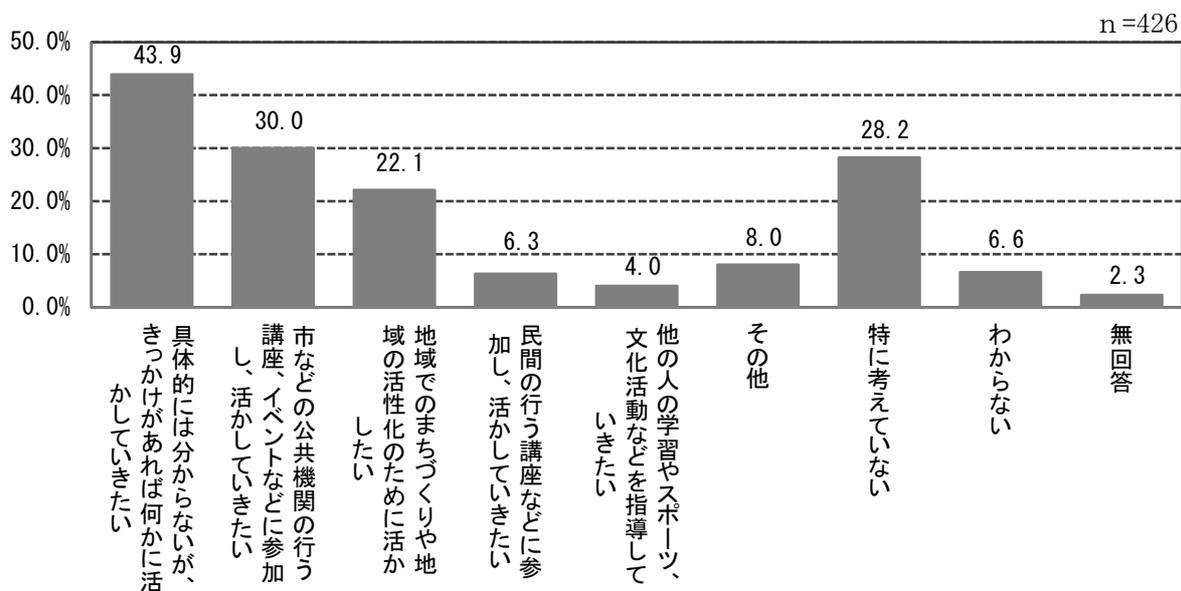
問7 あなたの団体および会員の皆さんは、どのような目的をもって活動、参加してみえますか。
【複数回答】



(結果の概要)

- ・活動、参加目的については、「楽しむ」の割合が最も高く 75.8%となっています。
- ・次いで高いのは「仲間をつくる」で 47.7%となっています。

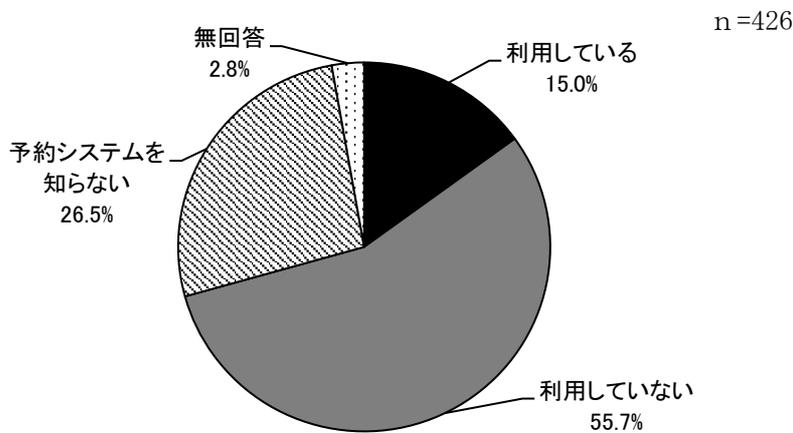
問8 今後、活動してきた経験をどのように活かしたいですか。【複数回答】



(結果の概要)

- ・今後、活動してきた経験をどのように活かしたいかについては、「具体的には分からないが、きっかけがあれば何かに活かしていきたい」の割合が最も高く、43.9%となっています。
- ・次いで高いのは「市などの公共機関の行う講座、イベントなどに参加し、活かしていきたい」で 30.0%となっています。

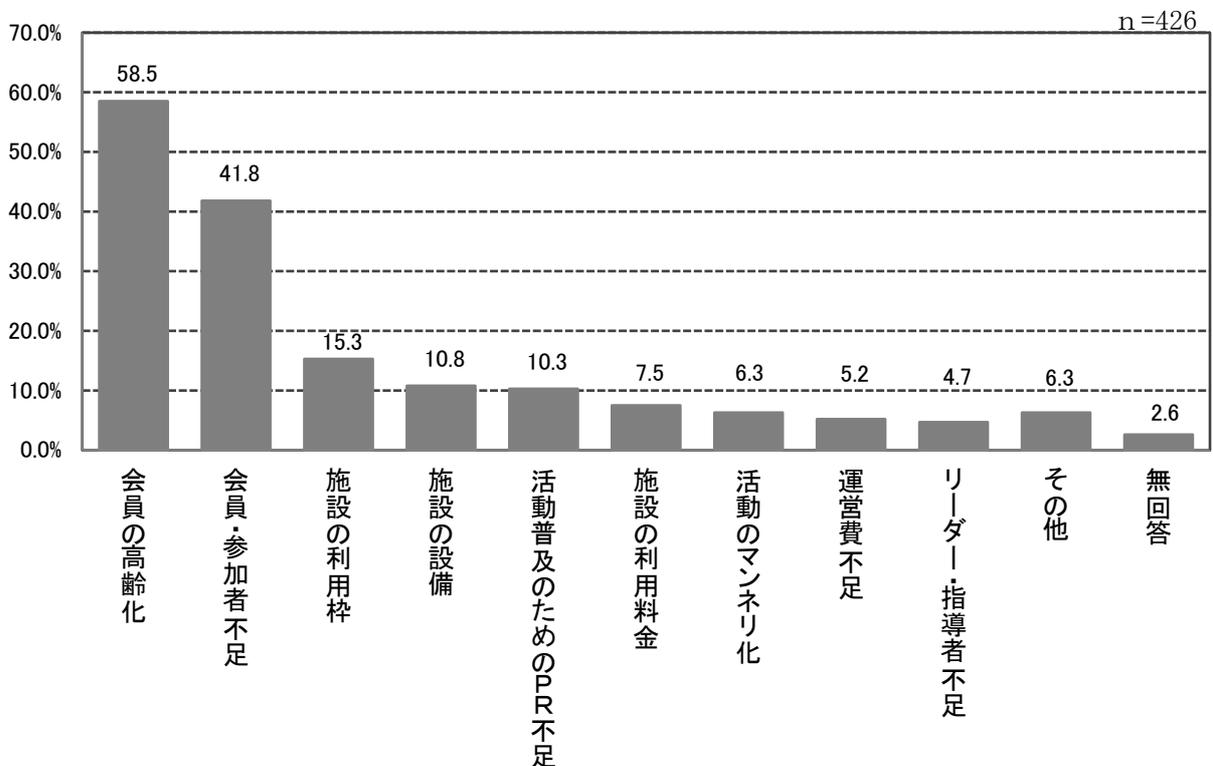
問9 施設の予約をする際に、あいち共同利用型施設予約システムを利用していますか。【単数回答】



(結果の概要)

- ・あいち共同利用型施設予約システムについては、「利用していない」の割合が最も高く、全体に占める割合は55.7%となっています。
- ・次いで高いのは「予約システムを知らない」で26.5%となっています。
- ・「利用していない」と「予約システムを知らない」で、80%超を占めています。

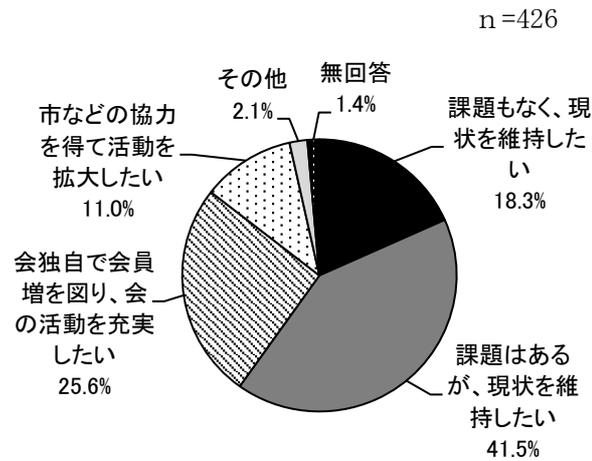
問10 活動を行っていく上での課題や問題点についてお答えください。【複数回答】



(結果の概要)

- ・課題や問題点については、「会員の高齢化」の割合が最も高く58.5%となっています。
- ・次いで高いのは「会員・参加者不足」で41.8%となっています。

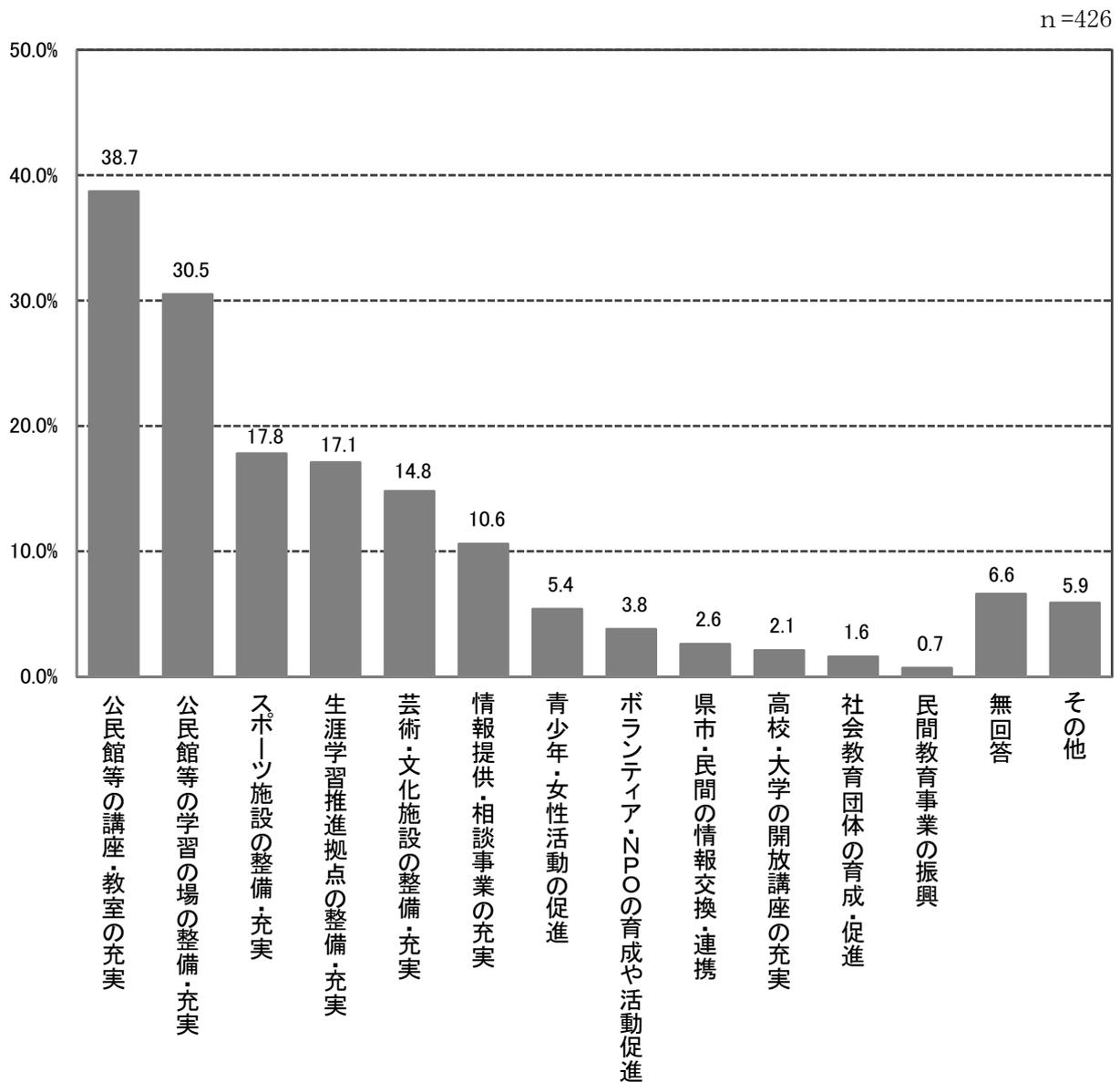
問 11 今後の活動方針についてお答えください。【単数回答】



(結果の概要)

- ・今後の活動方針については、「課題はあるが現状を維持したい」の割合が最も高く、全体に占める割合は 41.5%となっています。次いで高いのは「会独自で会員増を図り、会の活動を充実したい」で 25.6%となっています。

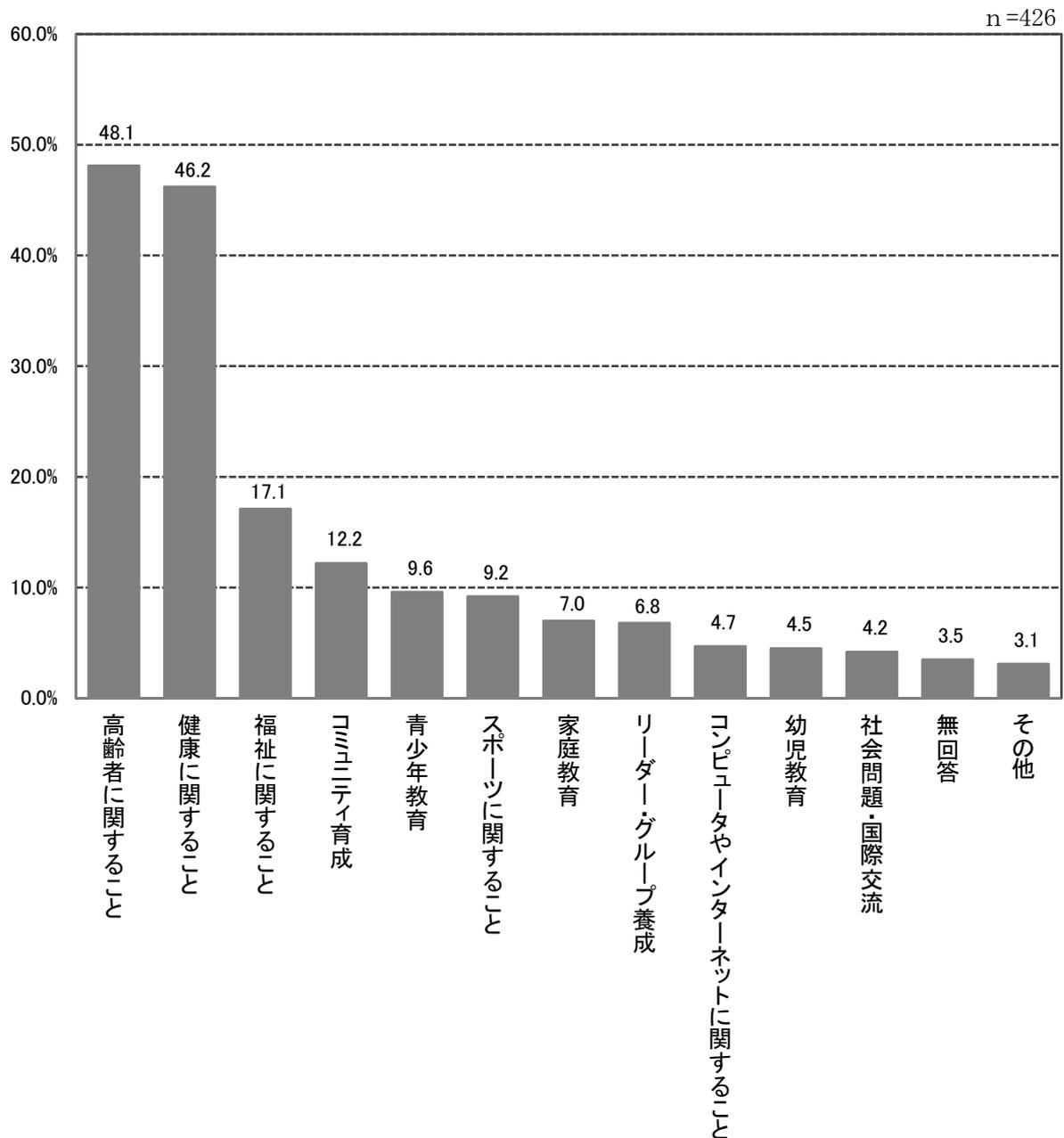
問 12 今後、学習したり、スポーツや芸術文化に親しむことのできる生涯学習の環境づくりを進めていく上で、あなたの団体にとって、どのようなことが大切だと思われますか。【複数回答】



(結果の概要)

- ・ 今後、生涯学習の環境づくりを進めていく上で団体にとって大切なことについては、「公民館等の講座・教室の充実」の割合が最も高く 38.7%となっています。
- ・ 2番目に高いのは「公民館等の学習の場の整備・充実」で 30.5%、3番目に高いのは「スポーツ施設の整備・充実」で 17.8%となっています。

問 13 今後、生涯学習を進めていく上で、特にどの分野に力を入れていくべきだと思いますか。【複数回答】



(結果の概要)

- ・ 今後、生涯学習を進めていく上で、特に力を入れていくべき分野については、「高齢者に関する事」の割合が最も高く 48.1%となっています。
- ・ 2番目に高いのは「健康に関する事」で 46.2%、3番目に高いのは「福祉に関する事」で 17.1%となっています。

(2)自由意見

①生涯学習内容・種類について

- ・ニュータウン石尾台団地の民間団体によって運営されている「大人の学校」を、市内各社会福祉協議会単位で実践してはどうでしょうか。
- ・千葉、東京（小金井市・目黒区など）、神奈川で講座が開かれている健康麻雀を開いたらどうですか。60歳以上の女性及び初心者の認知症防止にいいと思います。会話もはずみ、始めると毎週待ち遠しいという話を聞きました。
- ・幅広い内容を作って欲しいです。例えばグラウンドを整備し、老後の人達が参加し易いスポーツを作り出して欲しいです。ふれあいセンター内部の職員の対応が不親切です。もっと対応に気を配って、分りやすく教えて頂きたいです。
- ・歌は元気と認知症予防に良いと思います。歌を利用した活動場所の提供を、特に認知症予防になる講座等を利用して下さい。
- ・レクリエーションには導入部分にアイスブレイキング（雰囲気や和ませる）ゲームがあり、会を展開、盛り上げ、終わりにクールダウンする工夫があります。これは、集団の中であれ、対人であれ活かされる手法です。生涯学習で「コミュニケーション」に関する講座等ありますが、スタートの時期、終了時期にレクリエーションを取り入れて欲しいものです。
- ・コンピューター、インターネットの上手な使い方、利用方法等の講座も必要だと思いますが、取扱い等について無料で相談できるコーナーがあるとありがたいです。困った時に教えてくれるところがほとんどありません。老人は取扱いに困っています。
- ・退職した男性にも参加しやすい講座、続けていける講座、男性限定の講座等もよいのではないのでしょうか。保健センターで行われている講座が別の地域でも実施されると良いと思います。
- ・市主催で様々なテーマの講座を開いていくのは、学習のテーマを見つけかねている人にとっては良い機会であると思っています。募集の時、講師の経歴（その講座のテーマの）を紹介していただければ、判断の目安ともなるのではと思っています。又、学習はもう手を出す気になれないけど、皆で楽しい時を送りたいと思っている方を対象にした歌の会などがあってもいいのではと思っています。
- ・町内会の行事を活発化し、町内への支援を人的、物的、金銭的に強化して頂く事が良いと思います。また、主催者、指導者の育成が必要ではないかと思っています。
- ・男性が気楽に参加できる語学等の講座があれば良いと思います。
- ・高齢社会を鑑みて、対人との接触を多くするようなスポーツ、リハビリなど。学習もいいが、頭を自然と使うような工夫を各団体は取り入れるべきかと思っています。
- ・健康寿命を平均寿命に近づけるための学びがあると良いと思います。けやきフォーラムのパソコン教室は料金も安くとても有り難いです。
- ・生涯学習講座のカリキュラムを作成する時、継続性のある事業計画を立案して欲しいです。例えば、パソコン講座の現状は初歩コースとして5回程度で終了（5日間）。他はアプリごとの単発講座にて5回程度で終わり。これでは、自宅で応用するにも知識がなく前進しません。提案として、初歩コース1回受講（5日間）後、その内容を応用するため、継続して次回コースを設定して欲しいです。応用編が終了した後、次のステップに上がれるコース設定を考慮して下さい。
- ・ふれあいセンターへ行ってみなさんに会えて、楽しく、そして知らないうちに健康になるというプログラムを作っていただきたいです。ふれあいセンターで25年合唱をやってきましたが、こ

のような場所があることに大変感謝しています。地域にとってこういう場所は大変大事なことだと思います。これからみなさんが気軽に集えるプログラムを期待しています。

- ・市民講座が色々行われていますが、同じ講座と講師が同じ時期に公民館は違いますが、重複している事があります。もっと若手の講師を活用して新しい講座をお願いします。生涯学習という事は、春日井市以外の人々にも門戸を開いて行けば、春日井市は良い市となり移住する人も増えるはずです。
- ・高齢者が多くなるばかりです。いつまでも健康で元気でいられるように公民館での教室を充実して欲しいです。同じような講座をまとめて、施設の利用をしやすくして欲しいです。
- ・ひとつの講座だけでなく、いくつもの講座を1ヶ月単位で行うものがあれば良いと思います。
- ・高齢化が進む中、健康で家に閉じこもらないで積極的に外に出て楽しめる市の講座が増える事を希望します。
- ・長年活動していると、どうしても会員が減っていきます。そんな時、講座とか呼びかけとか、市・公民館の協力が必要だと思います。新しい講座の会員が新しいクラブを作るのではなく、既成のクラブに編入していく形を取れば、クラブばかりが乱立し、部屋取りの苦勞がなくなるのではないのでしょうか。
- ・文化教養を深める多様な講座を開催していただき、学びの機会や、人とのつながりの場となるといいと思います。費用面で高額だと思うものを見かけますが、適正な費用で開催していただけると参加しやすいかと思います。
- ・今、公民館、体育館で運動をしています、会員が減少して財政困難になっています。同じ運動を公民館主催で講座として2回位でも開催していただきたくお願いします。新たな会員増加に結び付く、きっかけになると思います。
- ・高齢化に伴い、福祉に関する事、健康に関する事などの分野に力を入れて頂きたいです。
- ・現在、あま市、弥富市でiPadを使った認知症予防講座が大変評判がいいと知人から聞きました。春日井市でも公民館等でそのような講座があるといいと思います。

②参加意向について

- ・今、手編を頑張っているところです。目数や段数、減目、増目など頭と手先を使うのでポケ防止になるかと楽しんでます。他のグループの活動に参加したことがないので時間があれば、他の会にも入ってみたいと思います。
- ・午前中はパートの仕事があるため午後の講座しか受けられませんが、午後に教室のある日は朝から仕事の手順も良く、生活にハリがあります。退職したらもっと参加したいと思います。
- ・体力と時間の許す限り生涯続けていけたら幸せです。又、その他にも色々な講座を用意して頂き、その中から自分に合う場所が見つけられたらと思っています。

③参加促進について

- ・会員数が年々減少しているので、作品展（高蔵寺アスティ）のときに会員の勧誘を許可して欲しいです。作品展の時しか会員を増やせる機会がありません。
- ・会員の高齢化、減少などで活動が停滞しがちです。ちらし等で募集しても応募が今のところありません。会発足のきっかけとなった横笛の市民講座を開催していただき、生涯学習を活発にしたいです。
- ・会員の高齢化に伴う休会者が増加しています。会員の増加を図っても講習会を行った曜日、時間（午前か午後か）で参加者が固定され、新サークル誕生となり、余程のことが無い限り新会員を

得ることが難しいです。

- 講座を希望する人は、誰でも受けられるような人数の募集になって欲しいです。
- ますます高齢化の為、70代は若者と考えて、力を合わせて積極的に前向きに若い世代に迷惑を掛けないように声を大にして宣伝したいです。大きな力が欲しい。老いに負けない。70代からが人生の旬です。
- 若い時から、趣味をしたほうが良いので、若い人にも入ってきて欲しいです。
- いつも色々とお世話になりありがとうございます。会場の確保に少し大変ですが、いい環境で参加出来るので感謝しています。今後も参加しやすいようによろしくお願いします。
- まだまだフォルクローレは認知が少ないジャンルです。講座等でもっと広く教えていただきたい。グループの年齢は高くなっていますが、皆、生き生きとして、何かの役に立ちたいと思っている者ばかりです。活躍の場、必要とする事があれば、どんどん出ていきたいと思っています。
- 団塊世代の高齢者が増え、リタイアしてぶらぶらしている人が増えたように思います。この数年で、図書館で本や新聞を読む男性が急に増えました。この人たちの中には、今まで興味を持っていたことを楽しみたい、あるいは、今までの知識を活かしたい、という人が多いと思います。そんな思いの人たちがその気になるきっかけ作りが必要です。講座紹介は広報でも取り上げていますが、地域の公民館活動をもっとPRしてはどうでしょうか。東部市民センターでは小さい字の一覧表が貼ってあるだけです。
- 健康で動ける限り学習の向上が出来ることは楽しく、生きがいではないかと思っています。この年齢（83才）になると忘れることの方が多くて残念な限りですが、若いうちから時間の許す限り学習意向を持ちたいものです。入会者を募るのは難しい限りです。
- 高齢化社会になり、元気で毎日が送れるよう、特に外での人々とのコミュニケーションを図る、又、ボケ防止の為の会等に意欲的に入会出来るような後押しが必要です。高齢者は外との関係が薄くなるとますます家に留まるケースが多いです。
- 高齢化社会に向かって健康な精神と身体を保てるよう、様々な取り組みをして頂きたいです。閉じ籠りがちな老人を積極的に外に出してふれ合える場所が欲しいです。そうすることで、パンク寸前の健康保険のお役に立てるのではないかと思います。
- より多くの方々に活動のPRをしたいです。どうすればよいか考えていかねばと思う。参加願えればと思います。
- 会員の増強は必要です。しかしその手段、方法がわかりません。活動内容などをPRする方法の充実が求められているようです。
- 主に食育活動として料理教室を毎月1回継続しています。最近の傾向として会員の高齢化で参加者の確保に苦労します。公民館で募集の呼びかけや掲示など、良い対策を望みます。料理を作って食育指導のためのミニセミナーを取り入れています。決められた時間内で急いで作り、11時前後にはもう試食開始が現状です。その後、片付け、掃除、チェックなど全て終え、12時に退出するのは少し無理があります。市や公民館主催の料理教室は12時に退出という決まりはないように承知しますが、その点いかがでしょうか。退出時間を30分程余裕が出来れば大変助かります。内容も充実します。よろしくご検討下さいますようお願いいたします。
- 近年、退職した高齢者が町中に多くみられるようになりました。その人々の日々の居場所となるよう、私たちも願っています。一人でも多くの方々が参加されるよう、春日井市のバックアップをお願いします。

- ・どのような競技が生涯スポーツなのかあまり知らなくて、自分達も含め、もっと関心を持たなくてはと感じました。少しでも人の目に触れる機会を増やすため、公民館やふれあいセンター等に常時募集チラシを置かせて頂けたらありがたいです。既にそのような取り組みを行っているのでしょうか。
- ・高齢者が公共の施設で気楽に学習できることは素晴らしいことです。今後とも利用者が増えるとよいと思います。男性の利用者が少ないように思います。男性もがんばって参加してほしいと思います。

④心がけ・意識について

- ・高齢者の生涯学習について、全員が健康的な体力増強にむけて、P.P.K（ピンピンコロリ）を目標に、健康保険を使用しない健康作りをめざして活動を行っています。
- ・私は子供達が独立し仕事も定年で辞めて、やっと趣味が持てるようになりました。高齢化がすさまじい勢いで進む中、市の皆様や子供達に迷惑をかけず人生を全うしたいと思っています。安い料金で公民館が利用出来る今が一番幸せだと仲間と話しています。
- ・私も含めて高齢者が多くなっているので、やはり一人一人が元気で過ごすことができるという環境が大切かなと思います。地域で気軽に集まって身体を動かしたりすることができる場所が増えればよいと思います。
- ・月2回の活動日に出掛けるのが楽しみです。
- ・一生涯を心身共に健康で過ごせる事を目的に、今後も無理なく学習していきたいです。
- ・力量や気の合う仲間を見つける事が出来た私は、余暇の過ごし方や健康的な毎日を送るという点で、充実しているように思えます。この私の実感は、他メンバーも同様だと思いますから、今後も活動を継続したいと考えています。
- ・月2回気持ち良く公民館を利用させて頂いております。私達高年齢者の健康維持に大いに役立っています。皆さんで力を合わせ会員の増加に努めています。地域の活性化に参加できず、申し訳なく思っています。
- ・子育て世代のママ対象から、健康を考えるきっかけにしていくことで、親や子だけでなく、高齢者もみんなで元気になる春日井を作ることが大事だと思います。
- ・いつも楽しく使用させていただき、その時その時の話題をお互い交換しながら、自分達の勉強の向上に努めていき楽しい一時を過ごしています。
- ・我が会員さんは「毎週1回のこの時間が楽しみ」と言っています。無理なく居心地の良い時間を過ごせる事をモットーにしています。入会当時は自分の名前しか言わなかった人が、現在は楽しく先生と会話している姿はうれしいです。
- ・健康維持の為、ストレスをためないで長く続けて行きたいと思います。
- ・いくつになっても、趣味の世界について探究心をもって学ぶ機会があることに感謝しています。
- ・楽しんで長く続けられることが生涯学習にとって必要だと考えます。
- ・仲間と楽しい時間を過ごせることは、とても有り難いと思います。
- ・20年の活動で、人は人として成長の可能性を持っていると強く感じます。とても有益なコミュニティだと感じます。設立機会を得られた事は本当に幸いでした。
- ・活動を楽しみ続けるためには、良い仲間作りが最も大切なことだと考えます。
- ・現在は、英語で簡単な会話を楽しんでいます。もっとがんばりたいけど忘れることが多くて、言葉がなかなか出てきません。本当に悲しいですが、あきらめなくて日々楽しみたいです。

- ・私が利用している学習は他にもいくつかありますが、それぞれ、自分を高めてくれるものばかりです。その中で、学習以外にも色々と得るものもあり、楽しんで利用出来ることは幸せです。これからも自分の足で出かけられるまでは、利用したいと思っています。
- ・趣味的クラブで続けてきました。高齢化に伴い足元が心配となってきました。人との話し合いも必要と思っています。急がずにいきたく思います。
- ・高齢者の人口が増加している現在、生涯学習について計画、実施されていくことは大変意義のあることだと思います。認知症予防のために推進していかなければならないと思います。
- ・70代のため競技よりも、健康で体力維持を図る事を優先してしまいます。今一度、何事も前向きに考えたいです。
- ・高齢化が進み平均寿命が延びる昨今、いかに心豊かに年を重ねるかが私達同好会でも話題になっています。体力の低下には逆らう事は出来ませんが、いつも想像力、好奇心は持って感謝の気持ちで日々を過ごしたいと思っています。出来れば近くの市の施設で老人でも楽しめる講座等を開いて頂けたらとても嬉しいと思っています。
- ・心と体の健康を目的に趣味から始まった学習も、仲間や地域の人との活動に伴い、自分の健康や家庭の安定につながるものだと思います。
- ・私もいわゆる高齢者と言われる一人です。でも、公民館で好きな事をし、若い人とおしゃべりしたり、時にはランチに行ったりと楽しく過ごしております。生涯学習と大きなことは言えませんが、出来る限りいろんなものに参加して外へ出たいと思っています。
- ・声を出す事は健康になり、又、詩吟は心が豊かになります。
- ・異年齢の人達と交流ができ、コミュニケーションの場としてはとても良いと思います。自分の好きな事をする事は、仕事や育児、家庭から少し離れ、学習する場だったり、ストレス発散の場であったり、自信が持てる場であったり、人生を送るなかで大切な場であると思う。

⑤時期・日時について

- ・人気のある講座は、各地区で開いて欲しいです。遠くでは参加が難しいです。
- ・受けたい講座があっても、曜日・時間が合わず、残念な時があります。

⑥場所について

- ・市民講座から同好会を立ち上げて、認定団体として2年目です。講師の方の指導のもとで、楽しく染めを学び、作品づくりをしています。次年度には発表の場所を得て、皆さんに私たちのテーマで作品を飾り、御意見を頂こうと考えています。染めにはボール、なべ、タライ等多くの道具を必要とします。置き場所がないので、分担して毎回、持ち帰らなくてはならないのが難です。道具置場が確保できると負担が軽くなります。
- ・音楽関係の練習場所が体育系に比べ少ないと思います。現在ハーモニー春日井を利用させていただいていますが、利用枠は混んでいます。
- ・身近に学習する場があり、とても有り難いと思っていますが、教室が足りないのが不自由であると思います。
- ・最大の難点は会場の確保です。希望する会場が確保できなかったときに、次の会場探しに苦慮しています。
- ・当会は、サックスを毎週ハーモニーで練習していますが、市の中心部で活動できる場所が欲しいです。
- ・倉庫の使用について特定の団体が優先されているような気がします。学習に利用している施設の

トイレ等設備の見直しを希望します。高齢者が増えてくると、講座の申し込み時にパソコン・スマホが使用できない人の対処方法の見直しも必要であると思います。

- ・広く広報がされて、どんな人も受け入れられるような多くの場が欲しいです。
- ・高齢にともない、体の衰えを少しでもなくす為、軽い体操が出来る施設が近くに欲しいです。
- ・施設等の予約が取りづらいです。今後施設を増やして欲しいです。
- ・なかなか場所を借りるのに苦労しています。望む事が色々ある事と思いますので、検討していただきたいです。
- ・公民館を利用していますが、ホールが1室しかない為、他の集会室を使用しますが、集会室が狭いところしかない場合は、レッスンも大変です。
- ・最近、高齢者グループが増えたため、今まで借りていた部屋が借りられないことが多くなり、困っています。生涯学習に使える場所を増やしていただくよう、よろしくお願いします。
- ・市主催の講座から始まり、同好会として発足して早20年を過ぎました。ふれあいセンターにはお世話になっています。長く会を続ける為に、決まった日に会場を借りたいのですが、他の利用団体と重なると借りられない時があり、仕事の都合などで参加できない人がありました。講師の先生にも迷惑をかけます。認定団体一覧には、ほとんどの団体が決まった曜日を書いているのに変だと思います。センターの方は会場が平等に使えるようにと言われますが、練習日を変えなければならないのは困ります。これからも技術の向上と生きがいの為、努力していきたいと思いますので何卒、ご配慮をお願いします。

⑦申し込みについて

- ・長年公民館を利用していますが、毎月1日の場所申し込みを3ヶ月に1回位に出来ないでしょうか。
- ・毎月の施設の抽選会に時間が掛ります。体育館と会議室の抽選を分けて欲しいです。
- ・公民館の会場をとるための方法について、もう少し改善の余地ありませんか。朝早すぎ、時間がかかります。
- ・私達は役員が半年ごと場所を取る為、月初め1日に行きますが、4回も取る為、2回番号札をもらって並んで取ります。忙しい人もいるのももう少し簡単に取る方法が出来たらと思います。いつも役員の人には世話になっています。以前、公民館の役をまかされ、場所取りをしていた際に、私はいつも思っていました。改善されることを祈っています。
- ・私達の団体は指導員がおり、時間が決まっているのですが、ホールの取得ができず、狭い多目的でぶつかりながらの体操をしています。各団体が都合を付け合い、曜日、時間を決めて頂けたらと思います。
- ・新しくサークルなど立ち上げるにあたり、もう少し手続きを単純にして、開放感のあるものにして欲しいです。
- ・利用者が増え公共施設が不足してきているのか、毎月定例会の決められた日時場所予約がだんだん取れなくなってきました。
- ・公民館の場所取り（毎月1日）を何とか無くして欲しいです。教室の日程がつまっていますのでよろしくお願いします
- ・毎月1日の予約するのは高齢者が多いので、1回で年間の予約を可能にしてもらいたいです。
- ・坂下公民館は毎月1日にて2カ月後の場所の枠取り実施しています。時間は抽選等もあり、午前中かかります。会社を休んで来ていますので、これを3カ月毎に予約が出来るようにならないか

ご検討下さい。

- ・予定通り場所が取れるように改善されれば良いと思います。
- ・学習を発表する場所が少ないです。抽選で外れるとますますありません。また、発表する場所において、規則が厳しいところもあるため、もう少し柔軟になってもいいのではと思います。
- ・西部ふれあいセンターでいつもの日程で申し込むも、公用が入っていて、思った教室が取りにくいです。改善を希望します。
- ・公民館の部屋取りを毎月1日に行っていますが、せめて6カ月位分の予約が出来るようにして頂きたいと思います。
- ・公民館の教室を毎月1日に2カ月先の利用許可を頂くために、朝8時30分より並び利用許可を受け取るのが10時すぎになります。もう少し早い時間で許可を頂けるようになると良いです。できれば半年分いただけるとありがたいです。
- ・月初めの場所取りの事ですが、15年ほど前から使わせていただいておりますが、月4回欲しいのですが、2回は外れます。先生も来ていただいているので、4回できたらうれしいです。

⑧交流について

- ・社会も人も多様で複雑になり、情報交換の場がSNSに偏って、一方通行に陥りやすい環境になっています。そのため、共通言語が細り会話の場が狭くなり、閉鎖的になりがちです。自由な集団対話の場が成立し難くなっていると感じています。コミュニティごとに自由なコミュニケーションの訓練と学習の常設の場が欲しいです。言い放しにならぬよう文章で責任を持った意見を発言できる人を増やすため、エッセイや自分史の形でいつでも投稿し、その投稿作品を公開したり、観覧したりを自由な時間に出来る場があればいいと思います。
- ・カラオケ同好会ですが、発表する場を少し増やして欲しいです。また、他の同好会との交流の場を設けて欲しいです。
- ・我々の日々の練習したものを、市内のみなさんと共有できる気軽な場が欲しいです。ボランティアをやるためには、自分たちで相手・場所を探すのではなく、ある拠点にお互いに申し込める場所があると良いです。
- ・生涯学習の印象は、社会の現役を退いた高齢者の教育の場、老後の生きがいなどの感が強くあります。高蔵寺ニュータウンの現状と相通じる所があると思います。生涯学習の中にも若者が集まるテーマがあっても良いのではと思います。交流ではなくても東部市民センターの中に若者が出入りするだけで元気が出るのではと思います。その為に何をやるのか皆で考えていく事が必要です。
- ・目標とする者の向上を高めるとともに、心の交流ができる環境づくりが高まるようにしたいです。
- ・広報で枠を設けて、登録活動団体の紹介を行う。里山で活動している団体と絵画の団体の交流を進め、保存活動に活かす。その活動に子どもたちの参加を呼びかけ、学習を兼ねてはどうでしょうか。
- ・地域に近い大学（名古屋造形大学、愛知文教大学、中部大学）との連携をもっと推進して貰えると、学習の質量が深化すると思います。
- ・中日新聞のくらしのニュースで紹介されているような形式で、広報に各グループの活動状況を順番に紹介していただけると有難いと思います。
- ・今後、高齢化に伴い少しでも皆さんとの交流を図りたいです。
- ・35年運動をやってきて、公民館があって続けました。他施設にて文化系のグループ活動もしてい

ますが、ネットワークが広がります。最近男性のグループ活動が増えています。男女とも生涯学習が必須です。

⑨施設等の管理・整備について

- ・当団体は健康に良いと言われる材料を使い、手作りパンを作っています。より美味しいものを作ることを心掛けながら、楽しい仲間と活動させて頂いています。高蔵寺ふれあいセンターの使用が主ですが、料理室の片づけが徹底しておらず、少し寂しい気がしています。自覚の問題ではありますが、次に使う人達のことを考え、しっかりと後片付けをして欲しいと思います。センターの使用についても今はくじびきにより決めています。他に良い方法はないのかと思います。
- ・老人が多いので洋式トイレなどの施設の整備をお願いしたいです。イスと机を使う講座を多くして頂きたいです。習字やお茶などもイスと机がいいです。このアンケートの回答者は高齢者が多いと思うので、他の年代の要求の掘り起しもいると思います。団体に補助金を出して、一定回数老人施設を慰問する等の老々慰問のような考えは如何でしょうか。私個人の意見ですが、退職後知識や技術を持って余しておられる方も多くと思います。そんな方々に小学生・中学生相手に今までのスキルを披露してもらって子供の知識欲を刺激してはどうですか。老人を使って何かを産み出しましょう。
- ・施設をもっと増やして欲しいです。体育館があちこちにあつたら良いです。
- ・現在は警備等の関係で開放されていませんが、小・中学校をもっと一般に利用出来るようにすれば、少子化による学校閉鎖等の問題も少しは解決出来るのではないかと思います。
- ・卓球を楽しんでいます。総合体育館の倉庫より卓球台を 20 台毎回出していますが、途中、坂もあり、年齢も皆さん上がり、危険になってきています。第一体育館倉庫に 10 台ほど置いていただきたいと思います。
- ・公民館等の学習の場として、邦楽のための和室が必要です。
- ・私どもの団体メンバーは春日井の東部に住居しているため、東部市民センター図書館の充実に期待します。
- ・音楽系の活動をしています。普段の練習はハーモニー春日井で行っています。ハーモニーの設備は十分に素晴らしいと思いますが、中心部から少し遠いのが難点です。高齢者や青少年が身近に利用できるこのような設備・施設が増えると良いと思います。また、音楽の発表の場がとても少ないように感じます。参加条件の枠を少しゆるくしたり、時間を増やすなどして、他の団体とのつながりが持てると良いと思います。
- ・春日井市は、音楽やその他芸術等を本格的に発表・演奏する場（特に音響効果をしっかりと発揮出来て、ステージ及びその周辺設備を備えた劇場）が無さすぎです。文化の街春日井市を目標と掲げている割には、まことにはずかしいと思います。是非、目標計画を作って実行して欲しいです。多くの市民が待っています。
- ・各小中学校体育館の備品の補充等を充実させてもらいたいです。公民館の冷暖房費は3月は不要なので、6月からの冷房を希望します。
- ・指導者の駐車スペースが確保できなくて困る事があります。駐車場の確保を要望します。

⑩学校・子どもの教育について

- ・”三つ子の魂百まで”と言われるように、幼児期は大切な時期だと思います。その幼児を見守る保護者や保育者の充実をもっと図れるような学習整備の充実が必要だと思います。子育てが一段落した人々の協力を得られるようなシステム作りはどうでしょうか。お互いに協力し合って運営

していけるような、高齢者になるべく元気でいられるような場所を作ってはどうか。

- ・問 13 について、全ての基本は小さい時からが大切なので、教育を重視して欲しいです。問 12 について、市主催による教養文化講座などは、地域の小学校の空き教室などでも開いていただければ、近い距離なら参加しやすいです。保健センターなどでも保健以外の文化講座に使って欲しいです。全般的に施設が古く、和式トイレのみで洋式トイレが無い所が多く困ります。施設の予約について、2 か月前の 1 日です。坂下公民館の場合、利用者が大変多いです。60 名～70 名が抽選するため、抽選番号が終わりの方の場合、2 時間近くかかります。利用する場所（和室、教室、ホール）を分けて抽選して欲しいです。せっかく更衣室があるのに、手洗い用の部屋に錠が下され鍵がかけられていて使えません。そのため、トイレへ行ってスリッパに履き替え、手を洗わなければなりません。10 数年前は、手洗いで使うことが出来たので不便になりました。

⑪費用について

- ・施設の利用料金は減免していただいているが、もう少し値下げしてもらえると、先生の謝礼を十分に支払うことができます。現状は先生に我慢していただいています。
- ・施設利用に使用料がかかるのはいいが、もう少し安価にして欲しいです。より多くの人と活動したい為、月謝を抑えたいので、今の半分くらいがいいと思います。空いている部屋があれば、どんどん貸し出していけば、人の出入りが多くなって活動しようとするグループも多くなるのではと思います。東部市民センターが改築するのなら、その方向で考えて欲しいと思います。
- ・施設の利用料金を引き下げて欲しいです。公民館等の講座、教室の充実をお願いします。
- ・スポーツ施設の利用にあたり、冷暖房設備の利用料を設備利用料金と別に分けて欲しいです。
- ・青少年教育を目的として、保護者の負担により活動費を得ている事と、指導者は無償による活動である為、趣味、教養の自己目的の活動では無い事に配慮して、公共施設の利用料金を下げて欲しいです。春日井市周辺の市（小牧、瀬戸、尾張旭）は全て無料です。教育活動に積極的な支援を望みます。
- ・現在、生涯学習活動団体として、半分の金額で使用できています。高齢化により、参加人数が減少すれば減免も受けられなくなり、会の運営ができなくなります。何とかして、参加者を増やすか、又は、他のグループと連携する方法を取らなければならない状況です。

⑫交通手段について

- ・もう少し交通の便がよいと出かけられるが、車に乗れない者は自然に出掛けなくなります。名鉄バスもコミュニティーバスも関係ありません。バス停まで出るのが遠いです。
- ・年を重ねても新しい事への挑戦とか、知らない事を勉強する意欲はまだあります。一方で、車の運転が出来ない者にとっては通えるセンターが限られて来ますので、いつも歯がゆい気持ちでいっぱいです。現在は、西部ふれあいセンターへ自転車で 15 分、雨の日は歩いて 30 分かけて利用しています。私にとって西部ふれあいセンターは、勉強の出来る大事な場となっています。
- ・特に学習を行う施設へ行く為の交通手段が適切な時間にあると良いです。高齢になり車の免許返上した場合、行きたくても行けません。
- ・東部市民センターの他にも公民館や福祉施設などで様々な講座があるようですが、いずれも公共のバスで通うには遠すぎたり、便数が少なかったりして、苦勞しています。運転をしない高齢者も増えてきているので、循環バスを設けたりなどして、利用し易いようにして欲しいと思います。能力も衰えていますので、高齢者にとっては、必ずしも対外活動（横の交流や発表会など）をしなくても、ひっそりと楽しみたいと思っています。

- ・高齢になると受けたい講座があっても交通手段がない為、通えず受講が難しくなります。公共の交通機関も最寄りの駅やバス停に近いとは限りません。誰でも通いやすい交通手段の充実や交通手段のない地域への出張講座等は出来ないものでしょうか。又、若い人も受講出来るように夕方～夜の講座があると良いのではないのでしょうか。
- ・生涯学習は主に市役所、各公民館で開催されると思います。年を取り、マイカーを手放すと参加する足が無くなります。今よりもっと便利で早く行ける方法を考えて欲しいです。
- ・交通の便が不便です。希望の講座を受けたいと思っても、近くに無い時は残念と思う人が多くいます。

⑬行政について

- ・市内の公園にスケッチに出掛けますが、その時は教室を利用しない為、月2回分の教室利用料金を払いません。会の運営費不足の負担を少し軽くしています。ところが、公民館から、月1回は教室を借り、使用料を払ってもらわないと、市の学習団体とは認められないと言われました。何か矛盾を感じています。長期・真面目に利用しているクラブとしては悲しいです。
- ・生涯学習はとても大切だと思います。講師の先生の更なる学習意欲や仲間の向上心には色々と学ばせていただいています。市の方々、これからも生涯学習に力を入れて行って下さい。よろしくお祈りします。
- ・今まで見たことも聞いたこともないという趣味、習い事、興味はあったものの、飛び込めなかった世界がまだまだたくさんあると思いますが、年齢やお金のことであきらめたりしてきたことも多くあると思います。市がそういう人・団体の間に入って、入口を低く、間口を広くしてくれたらいいなと思います。
- ・私は市の講座を受けて興味を持ち、現在の団体に参加することになりました。市の講座をきっかけにして生涯学習を始めていく人が多いと思います。これからも色々な市の講座を行って行って欲しいと思います。予算の関係もあって難しいかもしれませんが、もう少し講座を増やして欲しいです。
- ・もっと利用しやすいように、1年1回の年度計画を2年に1度に戻して下さい。
- ・活動上の問題点の解決に向けて、より多くの努力を痛感しています。スポーツ関連予算の増加を要望します。
- ・我々高齢者には明日はなく、ただ心配なのはこれからの若い人達のことです。特にこれからも増え続ける貧者・弱者の多くの諸問題、格差は更に広がり、個人や少数者の力ではどうしようもない社会になってきています。国や政府の無策ぶり、口先だけの不誠実さには何の期待感も持てません。これからの困難な諸問題をたとえ少しずつでも解決してゆくことが出来るのは地域に根ざした良心のある誠実な施策を一丸となって進めていくことだと思います。大きな視野に立って、春日井市民と心の絆で結ばれた学習活動をお願いします。
- ・高齢者が楽しんで学習している姿を若者が見れば、将来自分もやってみようと思う者が増えるのではないかと思います。大変だと思いますが、役所には、そんな取り組みをお願いしたいです。

⑭アンケートについて

- ・月1～2回の活動団体では、意見集約する時間が無く、思い付きの調査のよう。アンケート調査の方法を検討すべきだと思います。

⑮人材の確保・人材育成について

- ・まずは町内会の活発化のためのリーダー養成。その中から活発な交流が生まれ、活発な生涯学習

のきっかけが生まれると思います。

- ・私共のクラブの活動は 30 年以上続いており充実しています。しかし講師もご高齢になり、次の講師はどうするのか、選定をどうするのか、との思いがあります。
- ・私達のグループは、高齢化や会員確保で苦戦し、講師に支払う費用も大変です。今後も続けられるか、これから会員と話し合いをすることになる状態です。
- ・講師が 80 才半ばを超え、いつ講師不在になるか不安です。
- ・会員が高齢化しています。
- ・各団体とも若年者の入りが悪く、高齢化が進んでおり、一人一人の行動範囲が小さくなってきています。
- ・指導者の増加を求めます。その為にリーダー、指導者の育成が大事だと思います。
- ・耕作者の高齢化・後継者不足により、休耕地の拡大が著しいです。当会は 2 ha を借りて、そばの栽培を行っています。近隣の農地所有者から営農して欲しいとの要望を受けますが、耕作機械を持たない者には困難です。耕作機械のレンタル等についての制度を確立し、又、農地の集約化についての取組を進めて欲しいです。
- ・市内には各分野に於いて高度の才覚を持ったエキスパートがまだ多数おられる。情報を集め、そうした方々を見出して、多岐に亘る学習の講座設定をしていただきたいと思います。
- ・病気に掛らないようジムで運動しています。専門のインストラクターに指導して欲しい。

⑩その他

- ・他市の友人が春日井市の施設と講座の充実ぶりをうらやましがっています。小中学校の体育館の市民開放は良い方法です。
- ・公民館を利用させていただきありがとうございます。特に私たちの会には、要望はありません。但し、駐車場が困る場合があります。
- ・月 2 回練習をしています。指導頂いている先生もよく教えて頂き感謝しています。学習されている皆様も会える事を楽しみにしているようです。これからも体力が続く限り頑張っていきたいと思います。
- ・私達は、大好きなスポーツを通じて、他人とのコミュニケーションを保ち、楽しみながら、技術を高める為努力しています。このような場所があり、仲間に感謝しています。
- ・日ごろの当方活動に対し、施設等お心配りいただき感謝しています。
- ・高齢になっても「体を動かす」「頭を働かせる」の講座をずっと続けられるようお願いします。
- ・学習やスポーツ活動の中心だった団塊世代が本人の体調不良や介護などで、やむを得ず退会しています。これからも各団体とも会員が減っていくと思います。現在、生涯学習活動団体の認定が構成員 10 人以上を条件としていますが、8 人以上としていただきたいと思います。
- ・生涯学習講座が続くことを願っています。
- ・市民講座（知多、坂下、ハーモニー）での成果を施設、老人会等、10 数カ所で披露しています。楽しくも多忙な日々を過ごしています。
- ・子供が乳幼児の時に、このような活動から離れてしまいがちだと思います。小さい子連れでも利用しやすい施設（キッズスペース、トイレ、飲食に対応した室内等）であると少しは利用しやすいと思います。なお、予約の変更などに対して、規則や部屋の抽選会などの仕組みが、平日仕事をしている世代に対して不便に感じます。利用許可証の提示をしないと注意されますが、仕事を持った現役世代の集まりでは必ず持っている人が来られない事も理解して頂きたいです。こちら

もわかっているのに気分を害されます。

- 体育振興課主催の講座に出席し、終了後同好会を作り、今年で21年間過ぎました。70才代の人が多く、80才代、60才代の方達の高齢者にも関わらず、皆さん、とても元気にスポーツを楽しんでいます。21年間続けてきたおかげだと思っています。市の講座をきっかけに元気な限り、スポーツを生涯楽しみ、又、良い仲間に出会えた事に感謝しています。
- 現在、会員の申し込みは10名以上ですが、それ以下でも申し込めるようにしてほしい。
- 生涯学習の講師の方が、ほめて育てて下さるとやる気がおきると思います。
- 生涯学習のおかげで、健康を頂き日々感謝しています。
- 勤勉で活動的な指導者のもとで楽しんでいます。